

（仮称）富士山の恵み産業パーク

（沿道利便施設）

基本構想（案）

目次

1 「沿道利便施設」整備の背景と目的

- 1.1 整備の背景・目的3
- 1.2 基本構想検討フロー8
- 1.3 地域ニーズアンケート調査の概要.....9

2 整備に関する基礎調査

- 2.1 御殿場市の現況.....11
- 2.2 上位・関連計画における位置づけ.....22
- 2.3 社会的ニーズの整理.....26
- 2.4 御殿場市の魅力に関するアンケート調査.....30
- 2.5 沿道利便施設を検討する上で重要な視点.....34

3 コンセプト・基本理念

- 3.1 コンセプト・基本理念.....36
- 3.2 コンセプト・基本理念に関するニーズ調査.....38

4 整備候補地の選定・整備予定地の概要

- 4.1 整備候補地の選定.....40
- 4.2 整備予定地の概要.....45

5 導入機能・基本ゾーニング計画

- 5.1 導入機能・基本ゾーニングの考え方.....52
- 5.2 導入機能に関するニーズ調査.....54
- 5.3 基本ゾーニング計画.....59

6 整備および管理運営手法

- 6.1 整備および管理運営手法の考え方.....67
- 6.2 企業・団体ニーズ調査.....70

7 今後の検討事項

- 7.1 今後の検討事項.....74

8 参考資料

- 8.1 地域ニーズアンケート調査結果（詳細）76
- 8.2 企業・団体ニーズ調査結果（詳細）95
- 8.3 沿道利便施設庁内検討委員会.....110
- 8.4 画像出典元リスト.....111

1

「沿道利便施設」 整備の背景と目的

1.1 整備の背景・目的

- (1) 整備の背景
- (2) 整備の目的
- (3) 道の駅の概要
- (4) 道の駅的な機能を持つ施設とする理由

1.2 基本構想検討フロー

1.3 地域ニーズアンケート調査の概要

1.1 整備の背景・目的

(1) 整備の背景

平成29年に御殿場市の経済振興の代表的な担い手である御殿場市商工会が主体となり、従前の「道の駅」整備手法にとらわれず、民間資本の活用による整備検討を進めてきました。

また、令和3年に「御殿場市都市計画マスタープラン」における土地利用に関する方針において、「東名高速道路御殿場IC周辺にて、道の駅的な機能を有する沿道サービス施設などの誘致促進を検討する」ことが示されました。

沿道利便施設は今後、地域の特産品や観光資源を利用した地域振興や観光振興に大きく貢献する等、本市にとって観光、経済活性化の重要な拠点施設となることから、令和4年より本市が主体となり事業を進めることとなりました。

(2) 整備の目的

伊豆・箱根や富士五湖の玄関口に、富士山の恵みを最大限に生かした「御殿場型経済・観光活性化」の拠点となる「道の駅」的な機能を持つ施設を整備し、年間約1,500万人訪れる観光客を、通過型観光から着地型観光への促進を図っていくことで、本市の魅力をより向上させ、観光交流客数、関係人口の拡大や地域経済の活性化につなげていきます。

また、地域資源の発信の場や地域住民の交流の場として地域コミュニティの活性化に寄与し、訪れる人々にとっての親しみや地域への愛着を育むことで、「御殿場らしいひとづくり・まちづくり」に貢献していきます。

さらに、大雪等により高速道路が通行止めになった際の一時的な車両待避所としての役割や、大規模地震などにより帰宅が困難となった観光客の一時避難施設など、自然災害などへ対応できる防災の要となる施設とすることを目的としています。

(3) 道の駅の概要

沿道利便施設は道の駅的な機能を持つ施設を想定しています。本節では道の駅の概要を紹介します。

長距離ドライブが増え、女性や高齢者のドライバーが増加するなかで、道路交通の円滑な「ながれ」を支えるため、一般道路にも安心して自由に立ち寄れ、利用できる快適な休憩のための「たまり」空間が求められています。

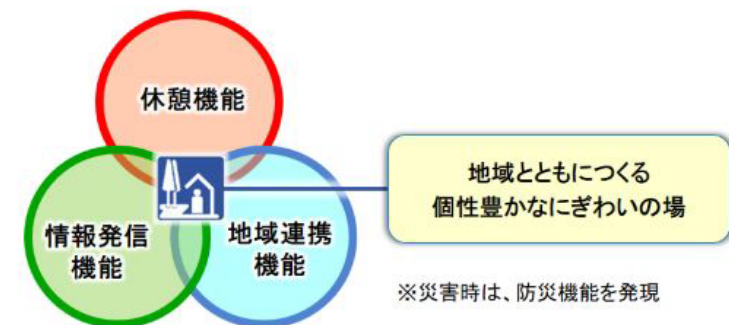
また、人々の価値観の多様化により、個性的でおもしろい空間が望まれており、これら休憩施設では、沿道地域の文化、歴史、名所、特産物などの情報を活用し、多様で個性豊かなサービスを提供することができます。

さらに、これらの休憩施設が個性豊かなにぎわいのある空間となることにより、地域の核が形成され、活力ある地域づくりや道を介した地域連携が促進されるなどの効果も期待されます。こうしたことを背景として、道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして道の駅

をきっかけに町と町とが手を結び活力ある地域づくりを共に行うための「地域の連携機能」、の3つの機能を併せ持つ休憩施設「道の駅」が誕生しました。

現在、国土交通省による道の駅の登録数は1,230駅になります（令和7年1月31日時点）。

休憩機能	・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
情報発信機能	・道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供
地域連携機能	・文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設



道の駅の基本コンセプト 【出典】国土交通省ホームページ

(4) 道の駅的な機能を持つ施設とする理由

本市では、沿道利便施設を国土交通省が登録する道の駅ではなく、道の駅的な機能を持つ施設の整備を目指しています。理由として、【1】道の駅の登録要件上の制約、【2】隣接する道の駅との距離、【3】民間活力の活用が最大化が挙げられます。

【1】道の駅の登録要件上の制約

道の駅では、利用者が無料で24時間利用できる十分な容量を持った駐車場整備が登録要件の1つとなっています。また、『「道の駅」登録・案内要綱』（国土交通省）において、「十分な容量の駐車場」とは、交通量・立地条件・施設内容に応じて利用需要に対応できると認められるもので、駐車台数概ね20台（大型車用は2台分に換算）以上のものとされています。

東名高速道路御殿場IC近傍は夜間の大型車ドライバーの休憩利用が想定されますが、周辺には住宅地が広がっているため、周辺住民の生活環境の保護(騒音、振動等)の観点から、原則24時間利用できる駐車場整備は行わないものとします。

【2】隣接する「道の駅」との距離

『「道の駅」配置計画実施要領（案）（建設省道路局国道課）』では、道の駅の設置間隔として、10～20kmを目安とし、最大でも25km程度とされています。

本市周辺では「すばしり」「ふじおやま」（静岡県小山町）「山北」（神奈川県山北町）の3つの「道の駅」が隣接しており、いずれも東名高速道路御殿場IC周辺から15km以内に位置しています。また、新たに近隣の市においても道の駅整備が計画されています。

以上より、既存の道の駅との差別化、より魅力的な施設とすることや、施設整備の自由度を高めるため、本市の沿道利便施設を道の駅として整備することへの蓋然性は低いものと考えています。

【3】民間活力の活用の最大化

全国では道の駅ではないものの、道の駅的な機能を持つ民間および公民連携施設が数多く存在します。これらの施設は導入機能や施設デザイン、ソフト面での運用等に民間事業者の創意工夫が施されており、本市の沿道利便施設整備にあたっては、最大限民間活力の活用を図る方針です。

なお、道の駅を整備する場合、各省庁等が募集している多くの交付金等の活用が想定されますが、道路事業以外も対象とした交付金等（例えば、社会資本整備総合交付金や新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金））の活用も検討していきます。

今後

（第2世代交付金（ソフト事業・拠点整備事業・インフラ整備事業）の新規事業及び継続・変更事業の合計）

	類型	交付上限額			補助率
		都道府県	中枢中核都市	市区町村	
第2世代交付金	ソフト事業	・1団体当たり国費15億円/年度	・1団体当たり国費15億円/年度	・1団体当たり国費10億円/年度	1/2
	拠点整備事業	・1団体当たり国費15億円/年度 ・1事業当たり国費15億円	・1団体当たり国費15億円/年度 ・1事業当たり国費15億円	・1団体当たり国費10億円/年度 ・1事業当たり国費10億円	1/2
	インフラ整備事業	・1団体当たり事業計画期間中の総国費 50億円 （単年度目安10億円）	・1団体当たり事業計画期間中の総国費 20億円 （単年度目安4億円）	・1団体当たり事業計画期間中の総国費 10億円 （単年度目安2億円）	1/2等 ※各省庁の交付要綱に従う

※ 拠点整備事業及びインフラ整備事業の各交付上限額は目安とする。

新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）交付上限額及び補助率

【出典】内閣府地方創生推進事務局ホームページ

道の駅的な機能を持つ民間および公民連携施設の事例

● 旅の駅 kawaguchiko base 民間施設

2022年6月に開業した複合商業施設。こだわりの地産・特産マルシェから、地産地食を味わうレストランまで、富士・山梨、近隣の魅力をまるごと楽める。

地元の野菜、山梨県産ワインのほか、プライベートブランド商品開発にも注力し、展開する。ワイナリーが併設されているほか、宿泊も可能。



所在地：山梨県南都留郡富士河口湖町

設置者：株式会社大伴リゾート

施設管理運営：株式会社大伴リゾート

【出典】旅の駅 kawaguchiko base ホームページ

● fumotto 南アルプス 公民連携施設

2024年6月に一部開業した体験型複合施設。「遊べる・食べる・買える」拠点として、山梨・南アルプス市ならではの店舗が出店する。

「もっとツナガル」をキーワードに、地域と繋がる機能を検討し、ここで生まれた賑わいがさらに市内に広がる場をつくることを目指している。



所在地：山梨県南アルプス市

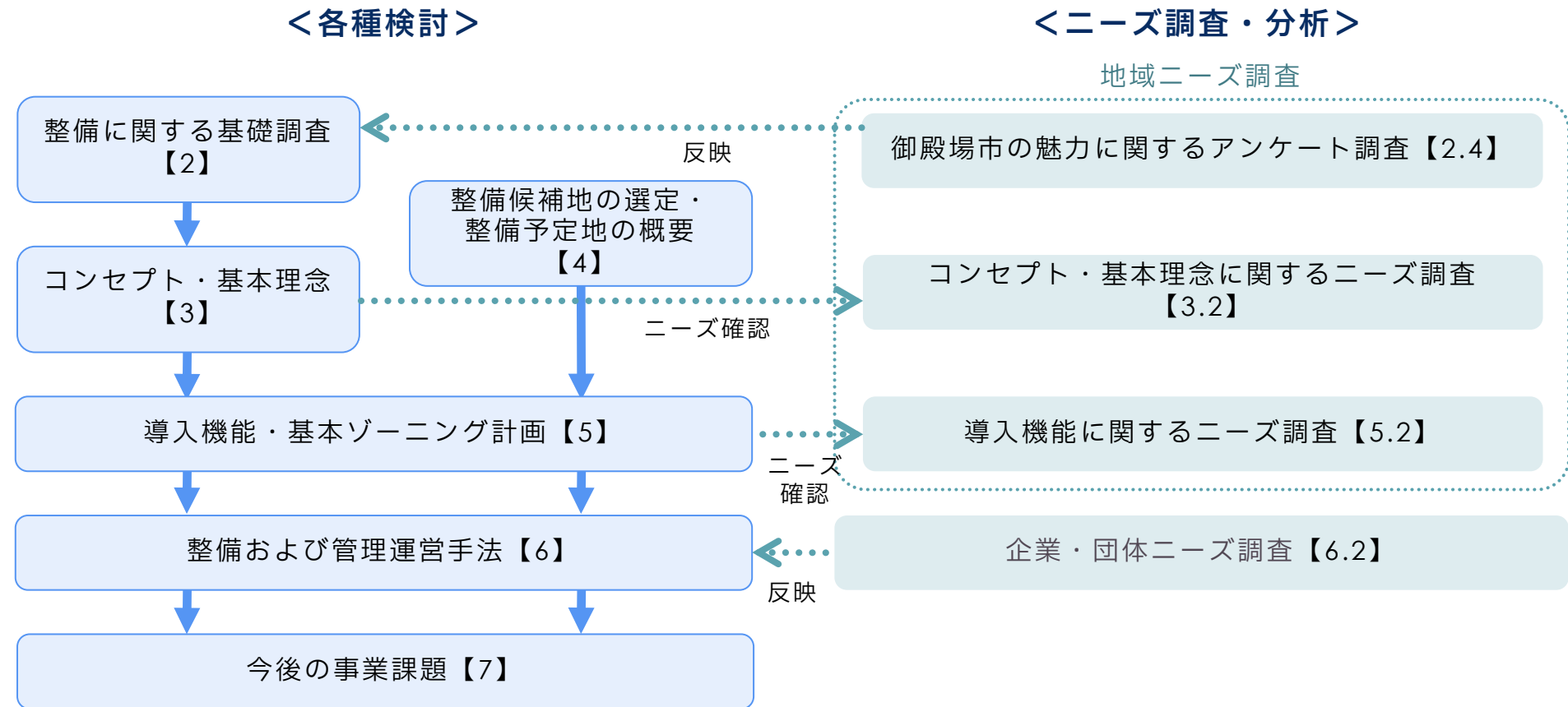
設置者：南アルプス市

施設管理運営：株式会社ヒカレヤマナシ

【出典】fumotto 南アルプス ホームページ

1.2 基本構想検討フロー

沿道利便施設基本構想の検討は、コンセプトと基本理念、導入機能等の＜各種検討＞と、地域および企業・団体ニーズを把握する＜ニーズ調査・分析＞を並行して進めてきました。



基本構想検討フロー（【】は章番号を示す）

1.3 地域ニーズアンケート調査の概要

地域ニーズを把握するために4回のアンケート調査を実施しました。調査内容は、御殿場市の魅力、コンセプト・基本理念に関する意見や、導入機能に関するニーズ調査となります。

調査結果は関連する各章に概要を、詳細は参考資料に記載しています。

地域ニーズアンケート調査の概要

地域 ニーズ アンケート 概要	調査 内容	御殿場市の魅力に 関するアンケート調査 【2.4】		○		
		コンセプト・基本理念に 関するニーズ調査 【3.2】			○	○
		導入機能に関する ニーズ調査【5.2】	○		○	○
	※【】は概要が掲載される章番号を示す					
実施期間		令和6年8月26日 ～8月31日	令和6年10月15日 ～10月25日	令和6年12月7日 ～12月8日	令和7年1月10日 ～2月3日	
対象者		アウトレット来訪者	御殿場市役所職員 アウトレット従業員	時之栖来訪者 富士山樹空の森来訪者 アウトレット来訪者	御殿場市民	
実施方法		Web	Web	対面	Web	
収集サンプル数		1033	561	564	79	

2

整備に関する基礎調査

2.1 御殿場市の現況

- (1) 市の概要
- (2) 人口
- (3) 歴史
- (4) 産業
- (5) 観光動向
- (6) 観光資源

2.2 上位・関連計画における位置づけ

2.3 社会的ニーズの整理

- (1) 社会的ニーズの整理
- (2) 「道の駅」第3ステージの考え方
- (3) 周辺の道の駅のコンセプト・取り組み事例

2.4 御殿場市の魅力に関するアンケート調査

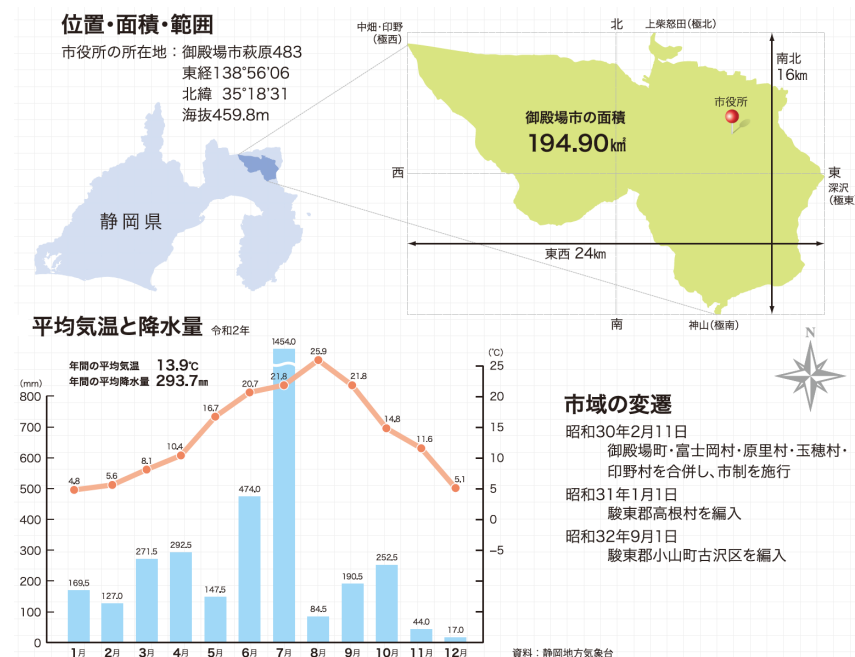
2.5 沿道利便施設を検討する上で重要な視点

2.1 御殿場市の現況

(1) 市の概要

本市は、霊峰富士の東麓に位置する緑豊かな高原都市です。日本一の高さと景観を誇る富士山は、御殿場を象徴する名所であり、四季折々の美しい景観、雄大な自然に囲まれて行うスポーツ環境、自然散策、歴史探訪など、ひと味違った楽しみを味わうことができます。

気候は高原のため、夏が涼しいことも特徴として挙げられます。



【出典】御殿場市 市勢要覧2022

市周辺の主要施設

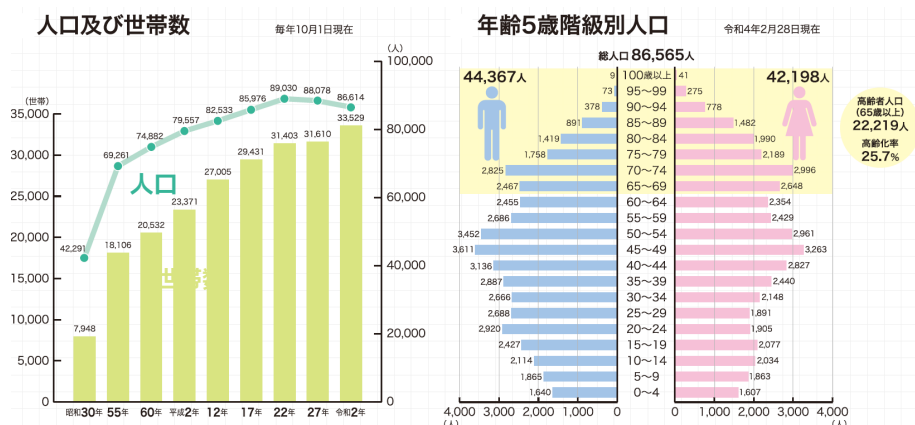


【出典】御殿場市観光ガイド「御殿場日記」

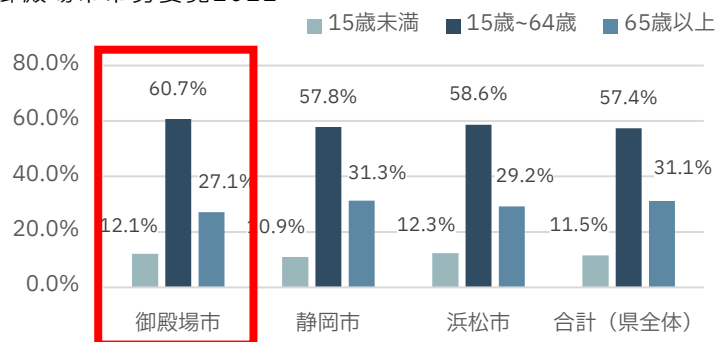
(2) 人口

本市の人口は令和7年3月31日現在で82,979人で、静岡県では中規模な都市として発展を続けています。人口は平成22年をピークに減少傾向にあります。世帯数は増加傾向にあります。また、年齢階級別人口は全国同様に少子高齢化の傾向がみられる一方で、年齢3区分別人口割合は静岡県内でもバランスのよい傾向にあります。

東洋経済新報社による「住みよさランキング」で県内1位（全国70位）に選出されているなど、移住・定住のポテンシャルが高くなっています。



【出典】御殿場市市勢要覧2022



【出典】令和5年静岡県推計人口年報

移住・定住先としての御殿場市の魅力

ゆっくり子育て

きれいな水と空、親子も自然の中で、充実した子育て支援と、地域で支える仕組みが、ゆったり子育てをサポートします。御殿場市は子育て日本一を目指します。

安心の医療体制

24時間365日安心して医療サービスを受けられる体制づくりを推進しています。また、医療・福祉機関と連携しながら、地域医療体制の確立にも取り組みます。

働く場所

富士山が育んだ素晴らしい環境と首都圏からの抜群の交通アクセスの良さ、充実した補助制度などにより、多くの優良企業が御殿場市内で操業しております。

地域や自然を通じて友達づくり

富士山の自然をいかしたスポーツツーリズムやキャンプ、登山、ハイキングなど様々なアクティビティを楽しんでください。ウォーキングのできる公園や運動場も数多くあります。

【出典】御殿場市ホームページ

(3) 歴史

御殿場の名は、江戸時代に徳川家康の宿泊所「御殿」を造営したことに由来します。また、本市は古くから交通の要衝として繁栄してきました。

●御殿場の地名の由来

徳川家康が江戸幕府を開くと、元和2年（1616）、沼津代官はこの地方の土豪「芹澤将監」に対し、家康が使う御殿の造営及びその周辺に新町を建設することを命じ、家康が実際に休憩所を使用することはありませんでしたが、御殿を中心に御殿新町が生まれました。「御殿場」という地名はこの「御殿」に由来しています。



御殿の跡地：吾妻神社
【出典】御殿場デジタル資料館



御殿の記載がある西田中村絵図
【出典】御殿場デジタル資料館

●交通の要衝としての御殿場

本市は箱根、山梨方面へ良好にアクセスできるなど、交通網の利便性に優れています。

8世紀以降、都と地方を結ぶ官道が整備されると、御殿場地方は都と東国（相模以东の諸国）及び甲斐国を結ぶ古代東海道の要所であるために、駿河国で最も大きな駅・横走駅が置かれました。近代に入ると富士山東表口登山道が開かれ、以後観光地として大いに宣伝されるようになりました。明治22年、東海道本線が開通し御殿場駅が設置されると、明治31年には新橋・須走間に御殿場馬車鉄道が走り、大量の物資が運ばれ、夏期には登山客で賑わうようになりました。昭和9年、丹那トンネルが開通すると、国府津駅から沼津駅間は御殿場線となりました。

昭和44年には東名高速道路が開通しました。令和9年度には新東名高速道路の東京方面開通が控えるなど、さらなる発展が期待されています。

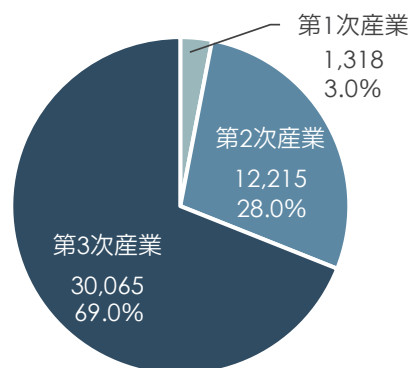


御殿場線と富士山

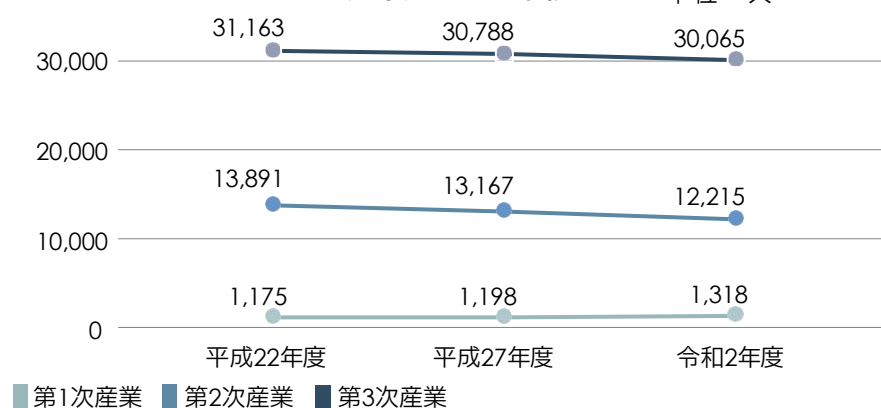
(4) 産業

本市の産業人口は第3次産業（69.0%）＞第2次産業（28.0%）＞第1次産業（3.0%）の順で多くなっていますが、産業分類で最も多い項目は「製造業」となっています。また、第1次産業のみ全体で微増しています。

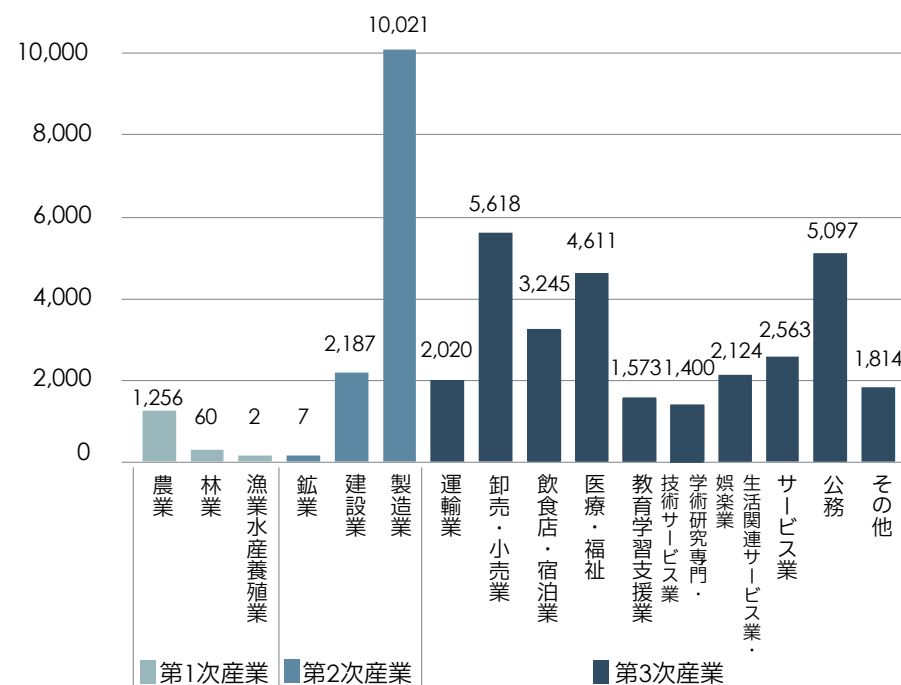
産業別人口（令和2年度） 10月1日現在
単位：人



産業別人口の推移 各年10月1日現在
単位：人



産業別人口の内訳（令和2年度） 10月1日現在
単位：人



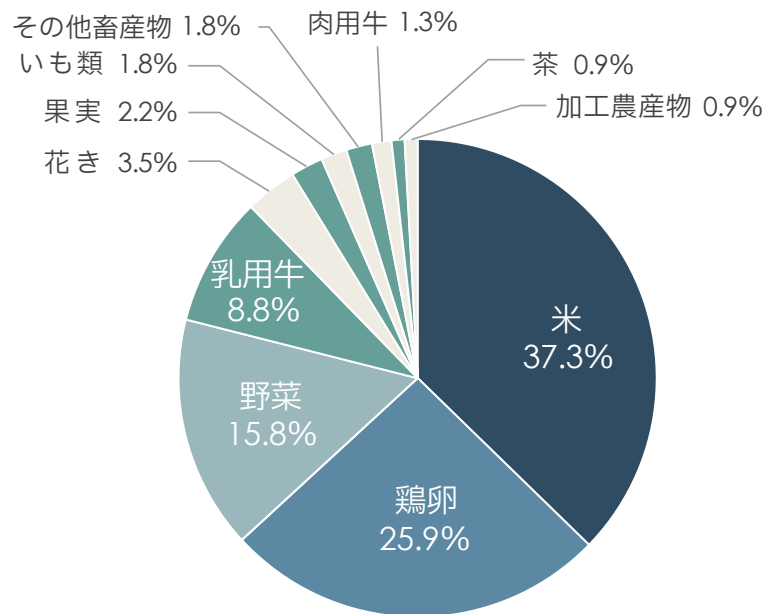
【出典】御殿場市統計書2022

● 御殿場市の農業

本市は冬寒く夏涼しい準高冷地域です。農業産出額の割合は米が37.3%を占めており、富士山の豊富な伏流水や湧き出した豊富な地下水を活かした御殿場コシヒカリが有名です。

また、年間を通して水温13度と安定した水温を保っているため、冬の田んぼでは水かけ菜の栽培が盛んです。他には鶏卵、わさび、さつまいも、キウイフルーツ、トマト、茶、牛、鶏、豚などが有名です。

農業産出額の割合（令和4年）



【出典】農林水産省 令和4年市町村別農業産出額（推計）

御殿場コシヒカリ



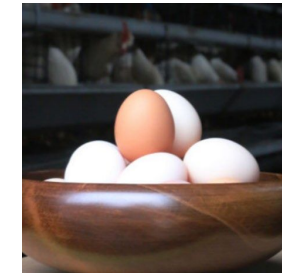
【出典】静岡県ホームページ

水かけ菜



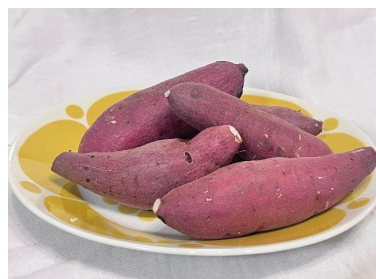
【出典】静岡県ホームページ

鶏卵



【出典】御殿場市ホームページ

さつまいも



わさび



【出典】静岡県ホームページ

ハム



【出典】御殿場市ホームページ

● 御殿場市の製造業

本市では、主に御殿場市商工会が中心となって市内の優れた商品を紹介し、広める活動を行っています。

御殿場こだわり推奨品

御殿場市商工会が、市内で生まれる優良な食品を「御殿場こだわり推奨品」に認定した商品を紹介しています。生産・販売者が地域産業に根差した商品として育成し、内外に普及させるようアピールしています。



御殿場
★★★★
こだわり推奨品



【出典】御殿場こだわり推奨品ホームページ

御殿場ものづくりブランド

市内製造業等の優れた製品・技術を発掘し、商工会が認定した「御殿場ものづくりブランド」として紹介しています。市内産製品などの優位性や潜在能力の高さを市内外へ情報発信し、競争力向上に寄与することを目的としています。

御殿場ものづくりブランド
GOTEMBA BRAND



認定されている製品（例）



食品カップ成型加工技術



3Dアジャストポラス

【出典】御殿場ものづくりブランドホームページ

(5) 観光動向

「静岡県観光交流の動向」（静岡県）によると、本市の観光交流客数は約1,500万人（令和5年度）で、静岡県内で第3位となっています。「御殿場市観光戦略プラン」（御殿場市）によると、本市の観光特性として、特定の施設にのみ立ち寄りそのまま市外へ出てしまう人の割合が高く、市内での滞在時間が短いことと、観光交流客数の約7割をアウトレットが占めているほか、時之栖などの団体を受け入れることが可能な大型施設のみを来訪する客層が多いとされています。

御殿場市の立寄観光施設と訪問割合（令和6年度）

項目		全体		日帰り客		宿泊客	
		合計	割合	合計	割合	合計	割合
		1,458	-	1,245	-	213	-
立寄観光施設 （※調査地点含む）	御殿場プレミアム・アウトレット	513	35.2%	394	31.6%	119	55.9%
	御殿場高原 時之栖	310	21.3%	203	16.3%	107	50.2%
	御殿場高原ビール	243	16.7%	213	17.1%	30	14.1%
	キリンディステラリー富士御殿場蒸留所	251	17.2%	224	18.0%	27	12.7%
	とらや工房	302	20.7%	248	19.9%	54	25.4%
	富士八景の湯	243	16.7%	206	16.5%	37	17.4%
	御胎内温泉健康センター	34	2.3%	29	2.3%	5	2.3%
	天然温泉 気楽坊	36	2.5%	23	1.8%	13	6.1%
	富士山樹空の森	63	4.3%	58	4.7%	5	2.3%
	富士山御胎内清宏園	3	0.2%	1	0.1%	2	0.9%
	秩父宮記念公園	16	1.1%	11	0.9%	5	2.3%
	東山旧岸邸	53	3.6%	40	3.2%	13	6.1%
	駒門風穴	11	0.8%	6	0.5%	5	2.3%
	御殿場市内の神社	8	0.5%	2	0.2%	6	2.8%
	御殿場市内のキャンプ場	14	1.0%	2	0.2%	12	5.6%
	御殿場市内のスポーツ施設	6	0.4%	3	0.2%	3	1.4%
	御殿場市内のゴルフ場／ゴルフ練習場	5	0.3%	3	0.2%	2	0.9%
	御殿場口登山道新五合目	14	1.0%	4	0.3%	10	4.7%
	その他	43	2.9%	40	3.2%	3	1.4%
	平均立寄観光施設数	1.49箇所		1.37箇所		2.15箇所	

【出典】令和6年度御殿場市観光実態調査
御殿場市観光戦略プラン

市内平均滞在時間（令和6年度）

項目		全体		日帰り客		宿泊客	
		合計	割合	合計	割合	合計	割合
		1,458	100.0%	1,245	100.0%	213	100.0%
到着時刻	0～5時台	3	0.2%	3	0.2%	0	0.0%
	6～11時台	775	53.2%	646	51.9%	129	60.6%
	12～17時台	650	44.6%	568	45.6%	82	38.5%
	18～23時台	30	2.1%	28	2.2%	2	0.9%
出発時刻	0～5時台	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	6～11時台	122	8.4%	106	8.5%	16	7.5%
	12～17時台	1,063	72.9%	897	72.0%	166	77.9%
	18～23時台	273	18.7%	242	19.4%	31	14.6%
平均滞在時間		7.5時間		3.6時間		30.3時間	

平均滞在時間の比較（御殿場市観光戦略プランより）

1つの自治体の滞在時間の比較（日帰り・宿泊全て含めた平均値）

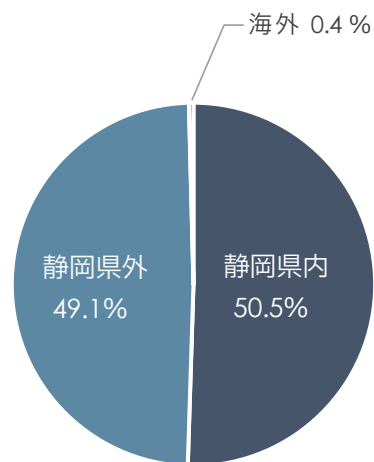
エリア	平均滞在時間（※）
静岡県全体	9:32
富士山周辺地域 （富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、清水町、長泉町、小山町）	5:13
御殿場市	3:25

出典：令和元年度 静岡デスティネーションキャンペーン観光客動態調査
※「平均滞在時間」は、当該自治体に入ってから出るまでの平均の滞在時間を示す。（当該自治体の住民や通勤者等、日常生活に関する部分は除く。）

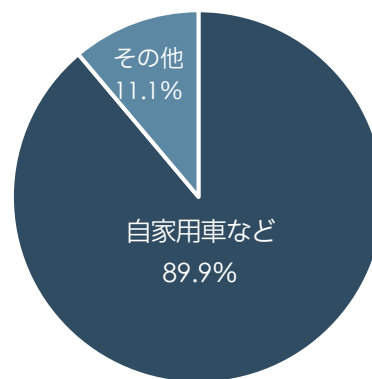
訪問者の特徴をみると、居住地は静岡県内が約50.5%、県外が約49.1%となっています。交通手段は自家用車がほとんどで、公共交通手段の利用割合が小さくなっています。

御殿場市への来訪回数が4回目以上との回答が約76.5%を占めており、リピーターの需要があることがわかります。

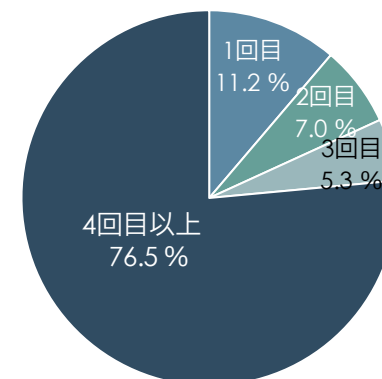
訪問者の居住地（令和6年度）



訪問者の利用交通手段（令和6年度）



御殿場市への来訪回数（令和6年度）



【出典】 令和6年度御殿場市観光実態調査

(6) 観光資源

富士山麓の恵まれた自然を活かした施設や各種公園、ゴルフ場、乗馬クラブといったスポーツ・レクリエーション施設、温泉施設が多くあります。都市型観光施設としては、アウトレットや時之栖といった大規模施設が含まれています。

御殿場市の観光資源

■ 自然



富士山御胎内清宏園

国の天然記念物である「複合溶岩樹型」の洞窟。内部が人体内部に似ていることから「御胎内」の名がつけられました。



駒門風穴

洞くつの入口に小さな3つの祠がありそれぞれ、安産・五穀豊穡・養蚕の神が祀られています。富士山が濾過してくれた湧水の一つです。

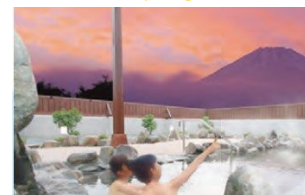
■ 歴史・文化



秩父宮記念公園

秩父宮雍仁親王殿下の御別邸。地元の人々とも交流を深めその人柄は広く親しまれておりました。大きなしだれ桜や四季の草花が出迎えてくれます。

■ 温泉・健康



富士八景の湯

霊峰富士と外輪山の大パノラマの自然美を堪能できる天然温泉。



木の花の湯

貸切風呂のあるプライベートな空間を提供可能な温泉。御殿場プレミアムアウトレットに隣接。

■ スポーツ・レクリエーション



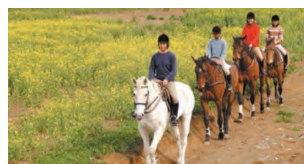
富士山 樹空の森

自然の中で遊んで学べる、国内最大級の富士山テーマパーク。ビジターセンターの「富士山天空シアター」では、展示や映像で富士山の成り立ちや歴史などが誰にでもわかりやすく学ぶことができます。屋外には、四季の花木がたくさんあります。



ゴルフ場

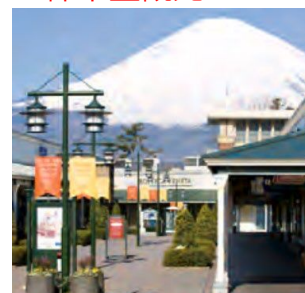
富士山が間近に見える歴史と伝統ある名コースが数多くあります。



馬遊び

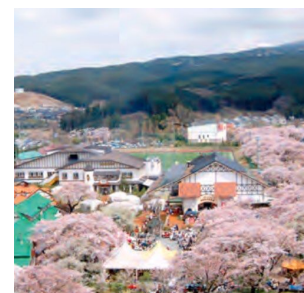
御殿場には乗馬クラブが10か所あり、その内4か所では富士山を眺めながら外乗り乗馬もできます。

■ 都市型観光



御殿場プレミアム・アウトレット

国内最大の店舗面積を誇るアウトレット。ジャンルも豊富でレストランも充実。



御殿場高原時之栖 御殿場高原ビール

美味しい地ビールと食事、温泉と宿泊、美術館、スポーツ施設、手づくり工房などが楽しめる複合リゾート施設。

御殿場市の観光資源マップ



【出典】御殿場市観光ガイド「御殿場日記」、地理院地図vector

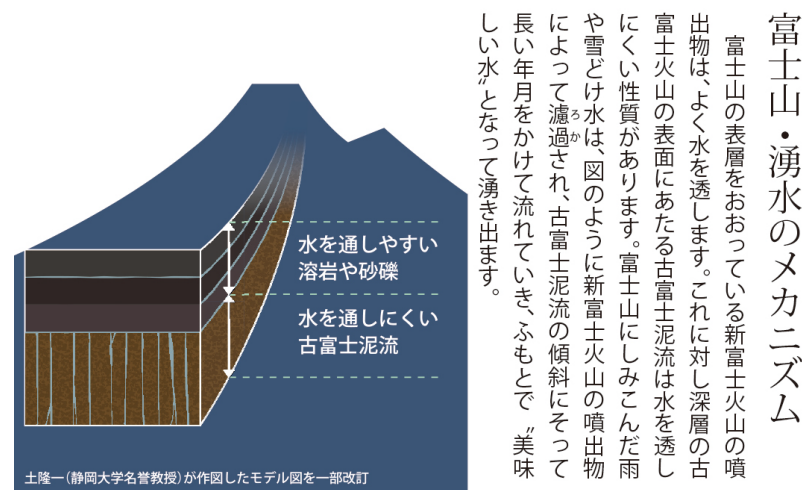
● 御殿場市と水

本市の地域資源として富士山からの伏流水が挙げられます。御殿場市の水道は、東洋一といわれる柿田川湧水の源である富士山の地下水を利用しています。

この地下水は、富士山に降った雨や雪が地下にしみ込み、自然の濾過や浄化作用を受けながら適度のミネラルを溶け込ませるなど、富士山の恵みをふんだんに受けたおいしい水になっています。

おいしい水の要件としては、1985年に厚生省が発足させた「おいしい水研究会」によって7項目の要件が示されていますが、御殿場市の水道水もこの要件に沿った水質であり、PH8前後の弱アルカリ性のまろやかな味を示しています。

2021年に市が実施した「市民が選ぶ御殿場市の魅力度アンケート」で、第三位に「御殿場市の水」がランクインするだけでなく、御殿場コシヒカリやわさび、水かけ菜をはじめとした農作物も市の水の恩恵を受けています。



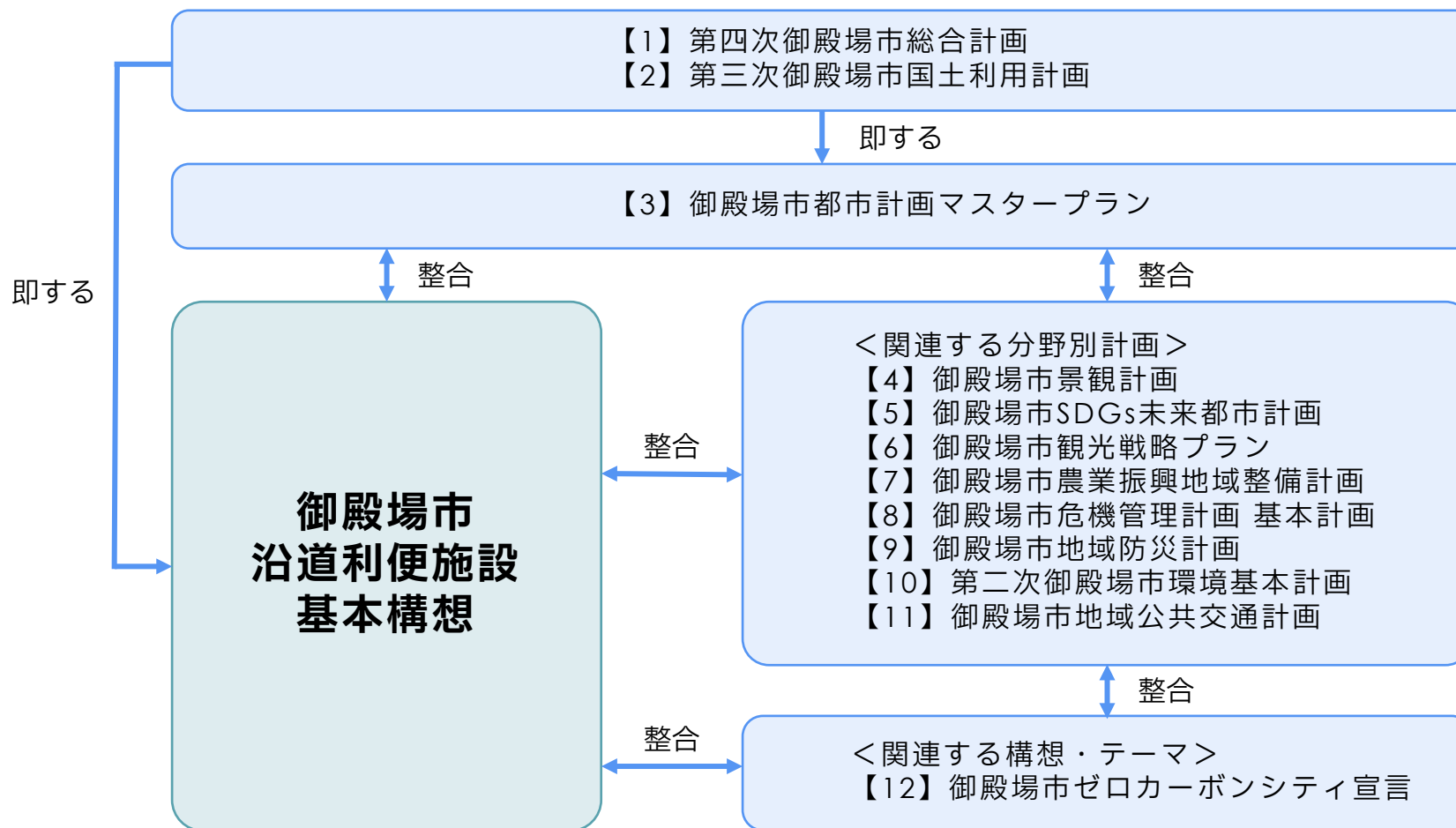
富士山の表層をおおっている新富士火山の噴出物は、よく水を透します。これに対し深層の古富士火山の表面にあたる古富士泥流は水を透しにくい性質があります。富士山にしみこんだ雨や雪どけ水は、図のように新富士火山の噴出物によって濾過され、古富士泥流の傾斜にそって長い年月をかけて流れていき、ふもとで「おいしい水」となって湧き出ます。

【出典】御殿場市 市勢要覧2016より抜粋

2.2 上位・関連計画における位置づけ

沿道利便施設の検討にあたり参照される上位・関連計画を以下に示します。

上位・関連計画における位置づけ



【1】第四次御殿場市総合計画（平成27年10月）

「第四次御殿場市総合計画」では、将来都市像を「緑きらきら、人いきいき、交流都市 御殿場」とし、世界の宝である富士山が与えてくれる豊かな自然を保全・活用し、誰もが生きがいと誇りを持って暮らすことのできるまちづくりを進め、本市の魅力に引かれ、人々が集うまちを表しています。

【2】第三次御殿場市国土利用計画（平成28年3月）

「第三次御殿場市国土利用計画」では、① 豊かな自然環境と共生するまちづくり、② 美しく快適なまちづくり、③ 災害に強い安全なまちづくり、④ 人が集い活力あふれるまちづくり、⑤ 皆で築くまちづくりを国土利用の基本方針としています。

【3】御殿場市都市計画マスタープラン（令和3年3月）

「御殿場市都市計画マスタープラン」では、将来都市像（都市づくりのテーマ）を「富士山のふもと 誰もが暮らしたくなるまち ～みんなに愛され、選ばれる持続

可能なまちづくり～」とし、① 誰もが快適に暮らし続けることのできる都市づくり、② 優れた交通利便性を活かした、産業の活力ある都市づくり、③ 多くの市民や来街者で賑わう観光と交流の魅力ある都市づくり、④ 豊かな自然環境・景観資源と調和する都市づくり、⑤ 安全・安心な暮らしを実現する防災・減災の都市づくりを理念としています。

【4】御殿場市景観計画（平成25年12月）

「御殿場市景観計画」では、景観形成の目標を「世界に誇る景観を育て、後世に伝えるまち 御殿場」とし、① 富士山とともに生きる眺望景観づくり、② 豊かな水と緑を守る自然景観づくり、③ 文化を受け継ぐ歴史景観づくり、④ おもてなしの心を育てる観光景観づくり、⑤ 市民の生きがいに向けた活動景観づくりを基本方針としています。

【5】御殿場市SDGs未来都市計画**（令和6年12月改定）**

令和4年5月、「誰もが輝ける 富士の麓の環境を守り育てるまち 御殿場」をテーマとした本市の提案が、内閣府の「SDGs未来都市」に選定されました。① 人が集い活力あふれる産業を育てるまち、② 笑顔あふれる健やか・福祉のまち、③ 誰もが安全で安心して暮らせるまち、④ 富士山のように大きな心を持った人の住むまち、⑤ 富士山の恵みを大切に作るまち、⑥ 富士山の麓にふさわしい美しく快適なまち、⑦ 雄大な富士と共に歩み続ける協働のまちを2030年のあるべき姿としています。

【6】御殿場市観光戦略プラン（令和4年2月）

「御殿場市観光戦略プラン」では、将来目標像（観光ビジョン）を「ひとがめぐり ひとがつながる 御殿場 ー豊かな自然を軸とした地域独自の風景や体験を通じて訪れる人や迎える人の輪が広がる観光地の形成を目指してー」とし、①コロナ禍からの回復に向けた取

組、②周遊・滞在を促すコンテンツや体制作り、③戦略的な情報発信と情報収集、④民間事業者の基盤強化・連携推進、⑤持続可能な観光地づくりを基本戦略として掲げています。

【7】御殿場市農業振興地域整備計画**（令和6年2月改定）**

「御殿場市農業振興地域整備計画」では、農業生産基盤である農地を確保・保全し、農業振興のための各種施策の計画的・集中的な実施を目指しています。今後の方向として、本市の農業を将来にわたり持続的に発展させていくため、ごてんばこしひかりをはじめ、水かけ菜やワサビ等の特産物の産地化及び6次産業化によるブランド力の強化や農業構造の改革の推進を示しています。

【8】御殿場市危機管理計画基本計画**（平成26年3月）**

「御殿場市危機管理計画」では、「第四次御殿場市総合計画」に定める将来都市像の実現を目指し、市民が

安全で安心して暮らせる地域づくりを推進するため、地震、風水害、国民保護、感染症や食の安全などの危機事案への網羅的な対策を定めています。

【9】御殿場市地域防災計画（令和6年2月改定）

「御殿場市地域防災計画」では、御殿場市の地域に係る災害対策全般に関し、御殿場市の処理すべき事務を中心として防災関係機関を含めた総合的な計画を定めています。これら防災活動の円滑な推進を図ることにより、市民の生命財産を災害から保護するとともに、積極的に災害の拡大防止と被害の軽減に努め、もって防災の万全を期することを目的としています。

【10】第二次御殿場市環境基本計画

（平成28年10月）

「第二次御殿場市環境基本計画」では、目指す環境像を「富士山のふもとで 自然と人が共生するまち 御殿場～未来輝く エコライフシティをめざして～」とし、①自然と人との調和をつくる、②安全・安心に暮らせる

まちをつくる、③ごみのないきれいなまちをつくる、④地球環境にやさしいまちをつくる、⑤御殿場の環境を後世につなぐことを環境目標としています。

【11】御殿場市地域公共交通計画（令和3年3月）

「御殿場市地域公共交通計画」では、新たな交通モード等を含めたさまざまな公共交通や輸送資源を活用し、それらが相互に補完し合い、利便性の高い持続可能な交通システムを目指すため、本市の地域公共交通に関する方針や目標、施策を示しています。

【12】御殿場市ゼロカーボンシティ宣言（令和2年2月）

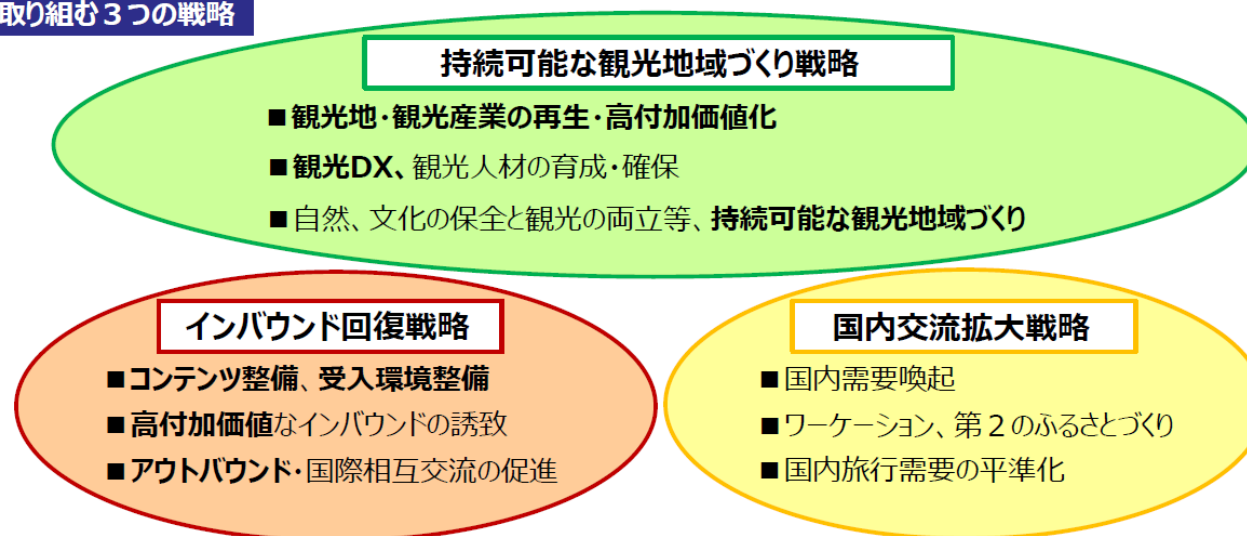
「御殿場市ゼロカーボンシティ宣言」では、御殿場市が国際社会の一員として、また、世界遺産富士山の麓にふさわしいエコガーデンシティを目指しSDGsに取り組む都市として、市民や事業者の皆さんと共に、脱炭素社会の実現に貢献するため、2050年までに市内のCO2排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」へ挑戦することを宣言しています。

2.3 社会的ニーズの整理

(1) 社会的ニーズの整理

「観光立国推進基本計画（第4次）」（観光庁）によると、持続可能な観光地域づくりのための観光地・観光産業の再生、高付加価値化、インバウンド向けのコンテンツや受入環境の整備、ワーケーションや第2のふるさとづくりによる国内交流の拡大等が基本方針として示されており、観光の質の向上、観光産業の収益力・生産性の向上、交流人口・関係人口の拡大が望まれています。

取り組む3つの戦略



※個別の施策については、主な内容を記載

観光立国推進のための3つの戦略
【出典】観光庁 観光立国推進基本計画（第4次）

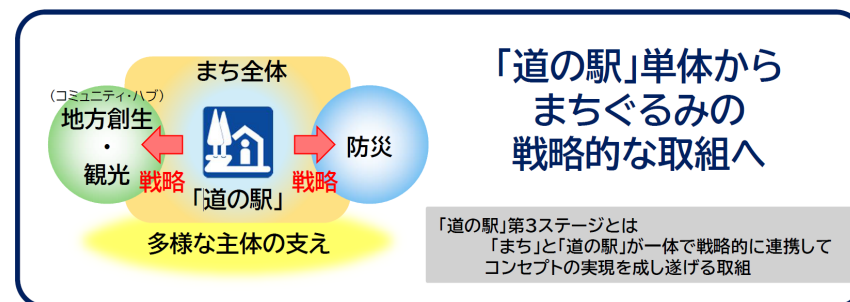
(2) 「道の駅」第3ステージの考え方

社会的ニーズの捉え方として、本市の沿道利便施設では、国土交通省にて提示されている「道の駅」第3ステージの考え方をもとに検討を進めるものとします。

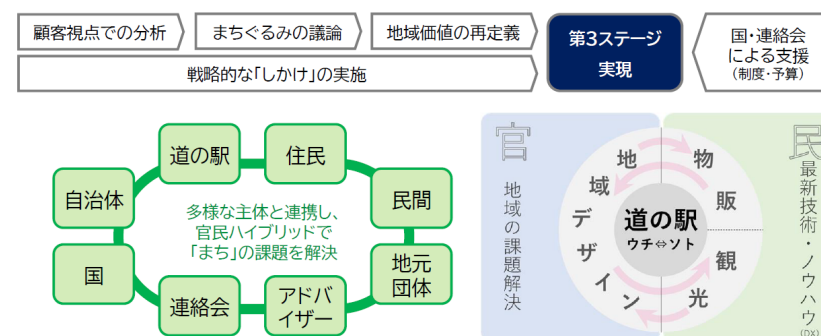
道の駅の機能は、通過する道路利用者へのサービス提供が主たる機能である「第1ステージ」、「道の駅」自体が目的地となる「第2ステージ」を経て、2020年から「地方創生・観光」を加速する拠点を目指す、「第3ステージ」が進行中の段階にあります。

「第3ステージ」では、「まち」全体を中心にコンセプトを共有し、「まち」と「道の駅」が戦略的に一体で発展していくことを目指し、その上で、多様な主体と連携し、官民ハイブリッドでの課題解決が求められています。

第3ステージの姿



第3ステージ実現のために



「道の駅」第3ステージ 中間レビューと今後の方向性
「道の駅」第3ステージ推進委員会（2024/7）

【出典】国土交通省ホームページ

(3) 周辺の道の駅のコンセプト・取り組み事例

本市周辺で、近年に開業または開業を予定している道の駅におけるコンセプト内容や特徴的な取り組み事例を分析しました。本市の沿道利便施設のコンセプト策定にあたっては、周辺の道の駅におけるコンセプト内容や取り組み事例の考え方を参照しながら、周辺施設との差別化も意識して検討するものとします。

道の駅の特徴あるコンセプト事例（1/2）

● 道の駅「湘南ちがさき」（神奈川県茅ヶ崎市）

コンセプト：

ALOHA湘南初！茅ヶ崎発！潮風薫る“ちがさき愛”
いっぱい交流拠点

2025年7月のオープンを見据え、茅ヶ崎市では現在「再発見、茅ヶ崎。」をコンセプトにまちの「宝物」を再び見つけて発展させていくブランディング活動を進めている。



【出典】茅ヶ崎市ホームページ

● 裾野市道の駅（静岡県裾野市）

コンセプト：

裾野に来て、寄って
ヒト・モノ・コトがつながる クロスステージ
ふじみ四季彩の郷

2024年7月に策定された「裾野市道の駅基本構想」では、季節ごとに様々な風景を見せてくれる富士山を裾野市らしさとして重視し、整備目的の1つとして

「富士山と富士山の恵みをPRする場の創出」を掲げている。また、導入機能の一つとして、富士山に関連する美術館や資料館の導入が検討されている。

【出典】裾野市ホームページ

道の駅の特徴あるコンセプト事例（2/2）

● 道の駅・川の駅「伊豆ゲートウェイ函南」 （静岡県函南町）

コンセプト：

地域の人たちと創り続ける循環型の施設

2019年に開業した「伊豆ゲートウェイ函南」では、狩野川を活かした敷地で、カヤック・SUPなど様々なアクティビティによる体験を通して、学び、遊び、地域とのつながりが生まれるような施設となっている。



【出典】函南町ホームページ

● 道の駅（仮）かりやど（静岡県藤枝市）

コンセプト：

賑わいと交流溢れる食と農の体感空間

～食と農のアンテナエリアのゲートウェイ～

2023年3月に策定された『藤枝市「道の駅（仮）かりやど」基本構想』にて、「食と農のアンテナエリア」の一拠点として、地域ならではの「食と農」を核とした地域情報の発信や地域間交流の推進、また地域産業の活性化を進めるとともに、水害や土砂災害のハザードエリアを含まないという立地特性を活かして広域防災の拠点化を図り「観光・防災のゲートウェイ」を目指すことが掲げられている。

【出典】藤枝市ホームページ

2.4 御殿場市の魅力に関するアンケート調査

市職員、アウトレット従業員を対象としたアンケートにおいて、本市の魅力に関するアンケート調査を行いました。本市のおすすめスポットは「富士山」「アウトレット」との回答が最も多くみられ、魅力としては交通アクセスのよさ、自然・公園の豊かさ、水・食材関連の回答がみられました。

御殿場市の魅力・おすすめスポット上位一覧

- ① 富士山
- ② アウトレット
- ③ 交通アクセス
- ④ 時之栖
- ⑤ 富士山樹空の森
- ⑥ 自然
- ⑦ 公園

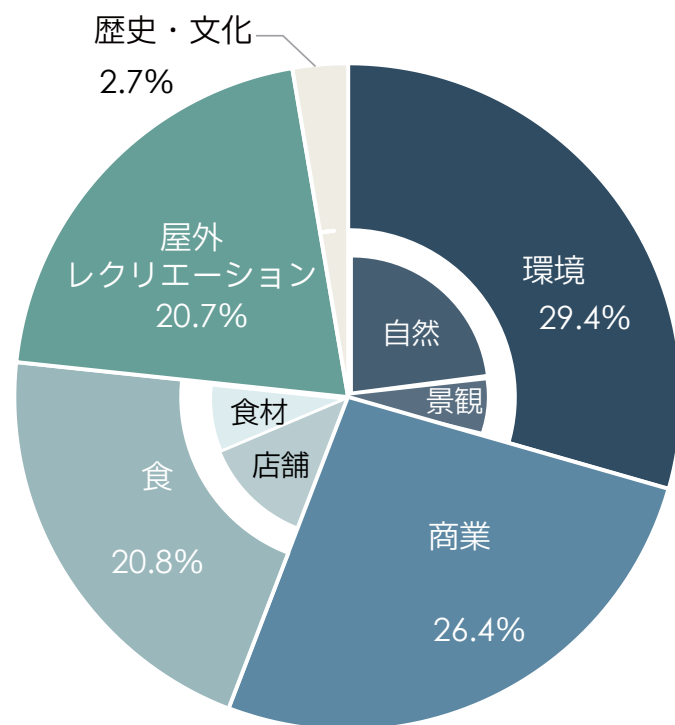
- ⑧ とらや工房
- ⑨ 温泉施設
- ⑩ 秩父宮記念公園
- ⑪ Maison KEI
- ⑫ 東山エリア
- ⑬ 遊RUNパーク玉穂
- ⑭ ほどよい田舎
- ⑮ 神場山神社
- ⑯ ファーマーズ御殿場
- ⑰ 湧水
- ⑱ コシヒカリ
- ⑲ パン屋

青：特定の施設 オレンジ：魅力・その他

※ アンケート回答の出現回数が5回以上の単語を回数順に記載しています。

※ 文字の大きさは概ねの回数に比例して記載しています。

本市の魅力をどのように捉えているかを分析するため、分野別の集計を行いました。回答の分類を行ったところ、環境、商業、食、屋外レクリエーション、歴史・文化の5つの分野に分けられました。



御殿場市の魅力 分野別の回答割合

※() は回答数を示す

■ 環境 (154) 自然 (120) ・ 景観 (34)

環境に関わる項目。富士山を中心とした景観と、冷涼な気候、美しい自然、水資源を魅力に感じている人が多くみられました。

■ 商業 (138)

御殿場の商業施設に関わる項目。アウトレットを魅力に感じている回答が8割となった。残りは温浴施設に関するもので、市全体のまちおこしとして知名度が上がっているとの意見がありました。

■ 食 (109) 店舗 (67) ・ 食材 (42)

御殿場の食に関わる項目。店舗ではパン屋、スイーツ、ラーメンの回答が多くみられた。食材では『御殿場市の水』が最も回答が多く、そのほかの項目も水に関わる食材が多くみられました。

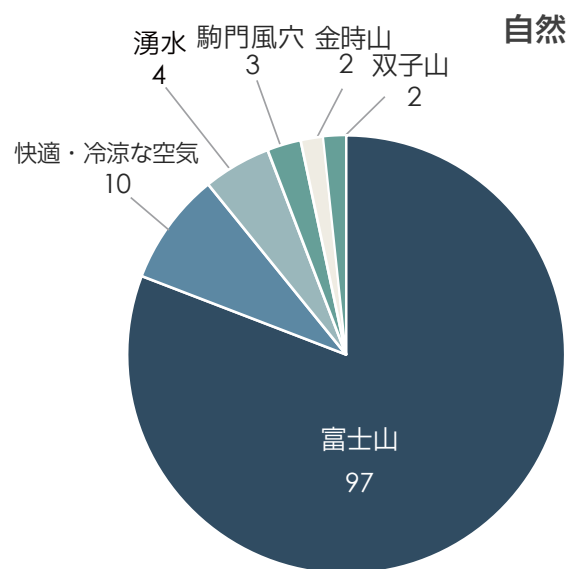
■ 屋外レクリエーション (108)

御殿場の屋外活動に関わる項目。一定施設の偏りは見られず御殿場市内の様々な施設が挙げられていた。『広々とした公園がたくさんあること』を魅力としている回答が18件見られ、多くの人が特定の公園に限らず屋外空間を魅力として捉えています。

■ 歴史・文化 (14)

地元で愛されている神社やロケ地などが見られた一方で、地元の人のみが知っているような穴場な場所についても多く挙げられていました。

環境（自然・景観）の回答内容をみると、自然環境として湧水や河川などの『御殿場の水』を魅力を挙げている人が多くみられ、PRしてもらいたいという意見がみられました。景観に関して富士山単体でなく、取り巻く環境とセットで魅力を感じている人が多く、写真家に人気のあるフォトスポットが市内で点在していることが分かりました。

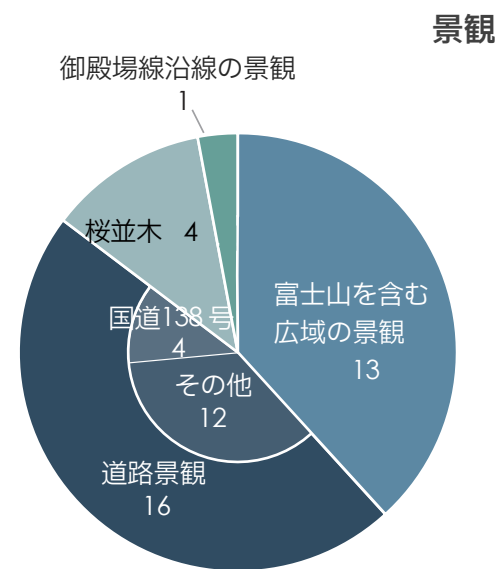


富士山



【出典】御殿場市ホームページ

- ・ 御殿場市の象徴である
- ・ その場所でしか味わえない知る人ぞ知る絶景がある



富士山を含む広域の景観



【出典】静岡県ホームページ

- ・ 逆さ富士など富士山と御殿場の特徴ある撮影スポットが多くある

快適・冷涼な空気



【出典】御殿場市ホームページ

- ・ 夏は海岸部に比べて涼しく冬も寒くない
- ・ 空気がおいしい

湧水(沼田、二子)



【出典】御殿場市観光協会ホームページ

- ・ 富士山の恵みを感じる
- ・ こんなに美しいのに知られておらずPRしてほしい

国道 138 号



【出典】御殿場市ホームページ

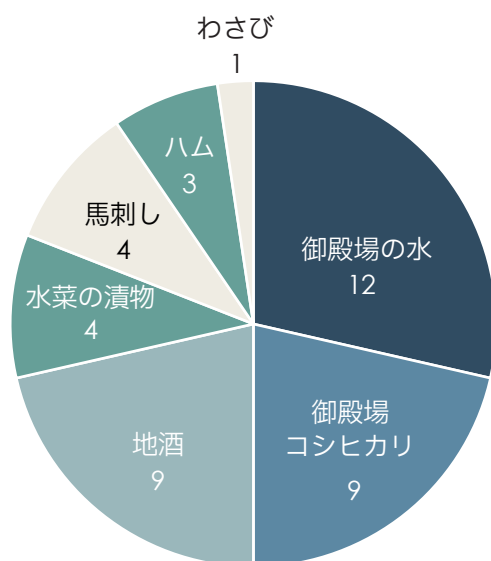
- ・ 富士山御殿場市を一望できる

御殿場線沿線の景観



- ・ 人に愛される素晴らしい風景

次に、食の食材の回答内容をみると、飲み水としての『御殿場の水』を挙げている人が多くみられました。その他においても『御殿場の水』に関連した回答や、肉やハムを御殿場の誇りとした回答も多くみられました。



御殿場の水



【出典】御殿場市ホームページ

- 水道水まで美味しいと暮らしの中で感じる
- 地場産業にも活かされている

御殿場 コシヒカリ



【出典】静岡県ホームページ

- とても美味しいと感じる
- 田園風景も美しい

地酒



【出典】ハローナビ静岡Blog (静岡県観光公式サイト) ホームページ

- 生産量が少ないが個性的なものが多い
- 地元食材との愛称が良いと感じる

水菜の漬物



【出典】小山町観光協会ホームページ

- 御殿場産の漬物は絶品
- ソウルフード

馬刺し



【出典】山崎精肉店ホームページ

- 御殿場を感じられる食材

ハム



【出典】御殿場市ホームページ

- 御殿場を代表するもの
- 市外の人からも良いと聞き人気度の高さを感じる

わさび



【出典】静岡県ホームページ

- 水がきれいなことを感じさせる

2.5 沿道利便施設を検討する上で重要な視点

沿道利便施設整備に関する基礎調査の内容から、沿道利便施設を検討する上で重要な視点を整理しました。地域性、俯瞰的かつ多面的な視点、地域ニーズを最大限反映したコンセプト・基本理念の構築を行います。

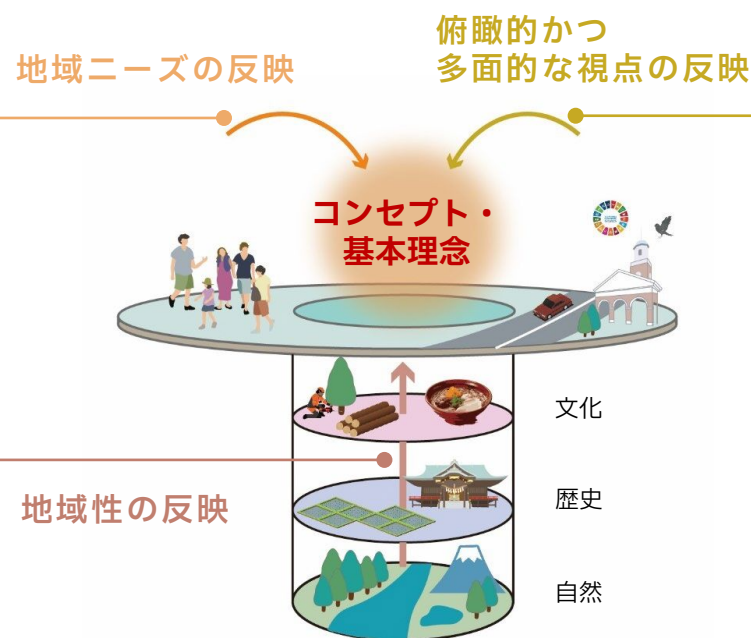
沿道利便施設を検討する上で重要な視点とコンセプト・基本理念の構築イメージ

【2.4】御殿場市の魅力に関するアンケート調査

- 御殿場市の魅力は富士山、アウトレット、交通アクセスのよさ、自然・公園の豊かさ、水・食材関連
- 景観と食のどちらの分類に関しても、「御殿場の水」がランクイン

【2.1】御殿場市の現況

- 古くからの交通の要衝
- 富士山の豊富な伏流水や湧き出した豊富な地下水と農業
- 観光交流客数約1,500万人（静岡県内第3位）
- 自然を活かした施設群
- 箱根、山梨方面への交通の利便性



【2.2】上位・関連計画における位置づけ

- 富士山の麓である立地特性を活かし、豊かな自然環境と共生し、人が集い活力あふれるまちづくりを目指す

【2.3】社会的ニーズの整理

- 持続可能な観光地域づくり
- インバウンド向けコンテンツ
- まち全体の魅力を高める沿道利便施設
- 周辺の道の駅との差別化

3

コンセプト・基本理念

3.1 コンセプト・基本理念

(1) コンセプト

(2) 基本理念

3.2 コンセプト・基本理念に関するニーズ調査

3.1 コンセプト・基本理念

(1) コンセプト

基礎調査をふまえて、御殿場を象徴する名所である富士山と、おいしい水に着目してコンセプトを策定しました。

富士山の伏流水が食材、風景、アクティビティ、暮らしなどすべての基盤となってこれまでの御殿場市を発展、支えていることから、沿道利便施設のコンセプトの柱にふさわしいものと考えました。

水麓（すいろく）は、麓と水をかけ合わせた造語となっています。



(2) 基本理念

沿道利便施設の整備検討を進めていくための基本理念として、コンセプトに基づき水の動きに着目した5つのキーワードを示します。

水の動きに着目した5つのキーワードをもとに、沿道利便施設の整備検討を進めていきます

1 わきでる

SPORTS TOWN 御殿場としてのポテンシャルや自然を活かした御殿場ならではの体験を通じて多様な活動が**わきでる**場づくりを目指します。



2 ながれる

古くからの交通の要衝としての機能を発展させ御殿場市内外の観光施設などと連携し、人々が**ながれる**ゲートウェイを目指します。



3 ゆらめく

富士山や水の動きを活かしたランドスケープを通じて来訪者の心が**ゆらめく**ようなゆったりとした心と和む空間づくりを目指します。



【出典】軽井沢観光協会ホームページ

4 うるおう

水を代表する豊富な地域資源を活かした地場産のマルシェや個性豊かな飲食店により、来訪者や地域が**うるおう**場づくりを目指します。



5 しみこむ

地域と連携した御殿場ブランドの創出や御殿場らしい文化・芸術の発信などを通じて、地域に**しみこむ**コミュニティづくりを目指します。



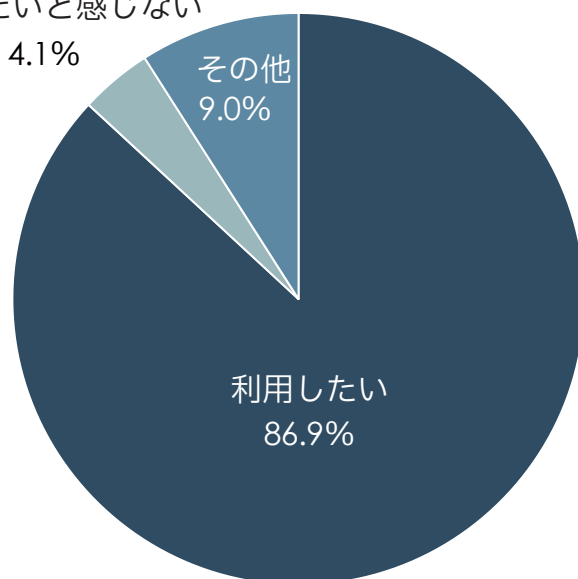
3.2 コンセプト・基本理念に関するニーズ調査

観光客、市民を対象としたアンケートにおいて、コンセプト・基本理念に関するニーズを確認しました。
沿道利便施設のコンセプトに示すような場所を利用したいという回答割合は、観光客を対象としたアンケートで約87%、
市民を対象としたアンケートで約70%となりました。

Q. コンセプトに示すような場所を利用したいと感じますか

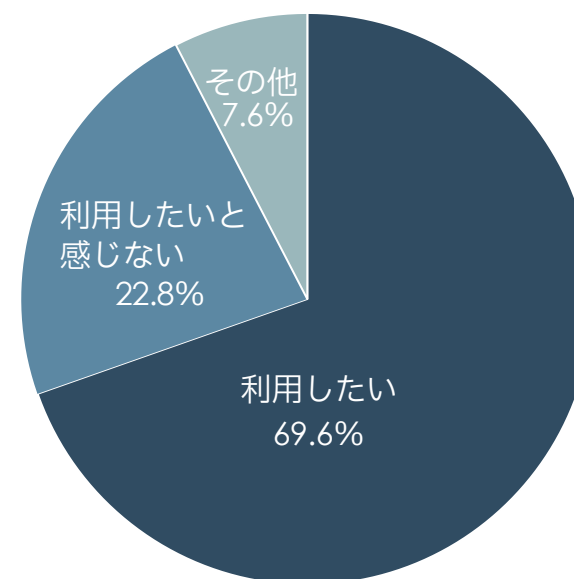
観光客を対象としたアンケート

利用したいと感じない
4.1%



市民を対象としたアンケート

利用したいと感じない
22.8%



4

整備候補地の選定・ 整備予定地の概要

4.1 整備候補地の選定

- (1) 整備候補地選定フロー
- (2) 配置計画対象路線の選定
- (3) 整備候補地の選定

4.2 整備予定地の概要

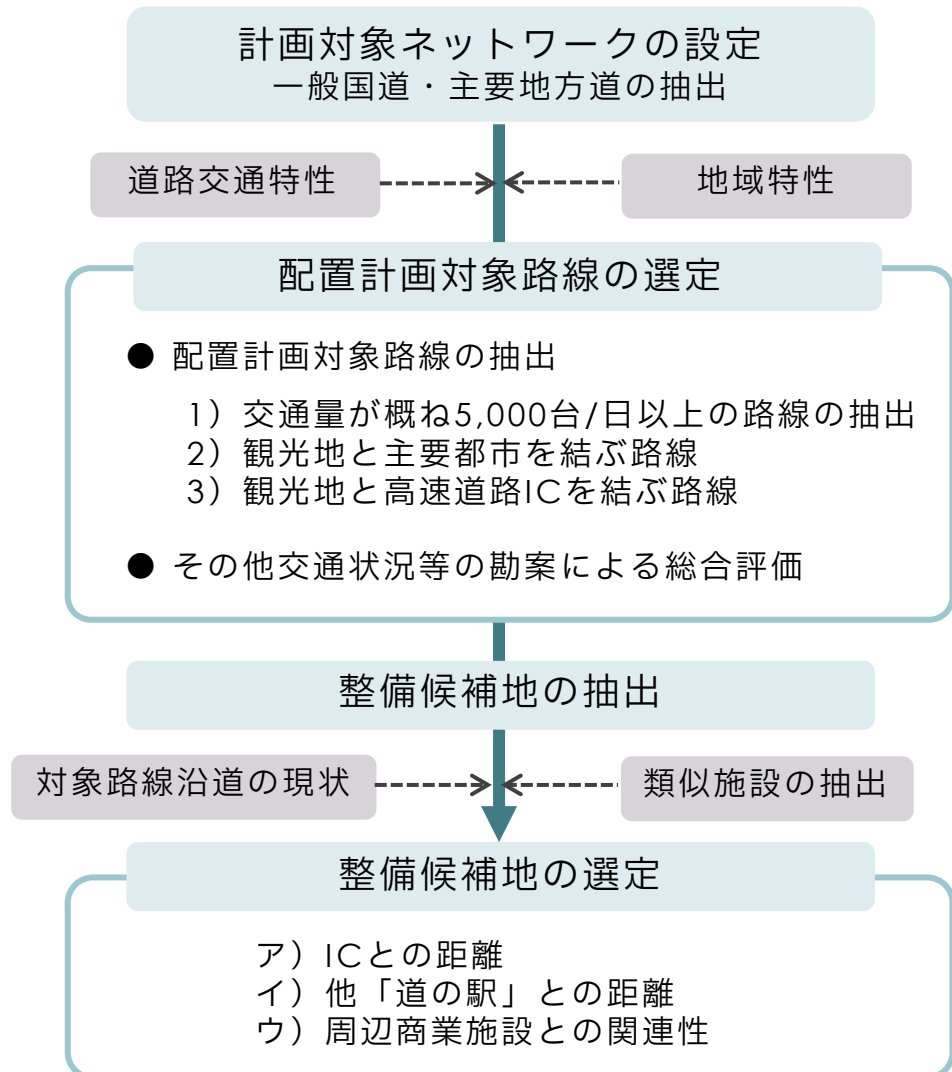
- (1) 整備予定地の敷地概要
- (2) 整備予定地周辺の交通状況
- (3) 整備予定地周辺のハザード状況

4.1 整備候補地の選定

(1) 整備候補地選定フロー

沿道利便施設整備候補地の選定にあたり、「道の駅」の設置基準である『道路設計要領設計編 休憩施設（中部地方整備局）』・『「道の駅」配置計画実施要領（案）（建設省道路局国道課）』における休憩施設の配置計画フロー等に準じた検証を行いました。

フローの概要として、はじめに一般国道と主要地方道から計画対象ネットワークを設定します。次に道路交通や地域特性などをもとに計画対象路線を決定します。その後、決定した路線の中から候補地を抽出後、沿道利便施設として最も適した整備候補地の選定を行いました。



(2) 配置計画対象路線の選定

ネットワーク圏域について、『「道の駅」配置計画実施要領(案)（建設省道路局国道課）』で明記されている「道の駅」の設置間隔（設置間隔が10～20kmを目安とし、最大でも25km程度）を参考とし、本市中心部（御殿場市役所とする）から約15 km圏内とします。

ネットワーク路線として、圏域内の一般国道と都道府県道のうち交通需要が多い路線（概ね5,000台/日以上）の路線）を想定しました。

それにより5つの対象路線候補を選定しました。候補Aは国道138号、候補Bは国道246号、候補Cは国道469号、候補Dは主要地方道御殿場富士公園線、候補Eは主要地方道御殿場大井線です。

配置計画対象路線の位置



【出典】地理院地図vector

選定した5つの路線候補を対象に、交通量のほか、観光地と主要都市を結んでいる路線があるかどうか、観光地と高速道路ICを結ぶ路線があるかどうかの3つの条件のもと対象路線の抽出を行いました。その結果、対象候補Aである国道138号と対象候補Bである国道246号が条件と一致しました。さらに、新東名高速道路の開通などの将来的な交通体系の変化を考慮し、最も効率的・効果的な施設整備が期待できるとして、対象候補Aである国道138号を対象路線に選定しました。

配置計画対象路線の選定

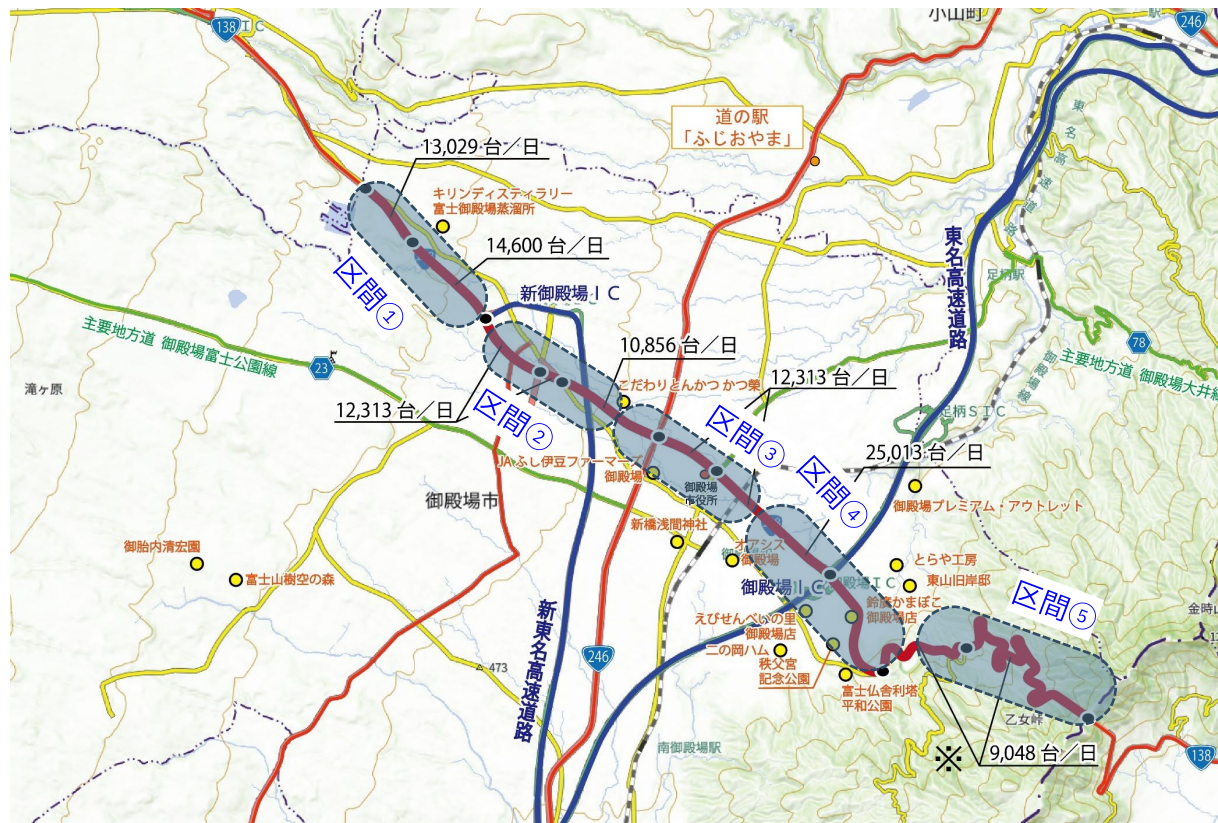
抽出条件	対象路線候補				
	候補A	候補B	候補C	候補D	候補E
一般国道・主要地方道の抽出	国道138号	国道246号	国道469号	主要地方道 御殿場富士公園線	主要地方道 御殿場大井線
1) 交通量が概ね5,000台/日以上 の路線の抽出	平日： 9,000台/日～ 25,000台/日 (R3道路交通セーフティ)	平日：22,000台/日 (R3道路交通セーフティ)	平日： 4,000台/日～ 14,100台/日 (R3道路交通セーフティ)	平日：5,000台/日以下 (800台/日) (R3道路交通セーフティ)	平日： 4,800台/日～ 12,200台/日 (R3道路交通セーフティ)
2) 観光地と主要都市を結ぶ路線	○	○	△	×	△
	御殿場市と小田原市・富士方面を結ぶ主要路線	御殿場市と三島市・伊豆方面を結ぶ路線	—	御殿場市と富士山を結ぶ主要路線	—
3) 観光地と高速道路ICを結ぶ路線	○	○	×	○	×
	富士方面と東名高速道路「御殿場IC」、新東名高速道路「新御殿場IC」を結ぶ主要路線	—	—	—	—
	○ 新東名高速道路：2027年度に東京方面が開通予定	×	×	×	×

(3) 整備候補地の選定

次に、対象路線である国道138号から候補地を決定します。2つのIC周辺を境界に①～⑤の5区間に区分しました。

位置づけとして①は新東名高速道路より須走側、②は新東名高速道路周辺、③は市街地周辺、④は東名高速道路周辺、⑤は東名高速道路より箱根側として2～3kmの区間として設定しました。

整備候補地の位置



：区間

約2～3km

○台/日

：2つの●で挟まれた区間の平日日交通量

※ 2つの●で挟まれた区間の平日日交通量：
交通センサスにおける基本区間台数は
令和3年交通センサスにおける各区間
の平日日交通量

【出典】地理院地図vector

5区間において、3つの評価軸として、ア) ICとの距離においてより近い、イ) 既存の道の駅と距離としてより一定の間隔が保たれている、ウ) 周辺商業施設との関連性がより強い、にて検証した結果、候補地として有効性の高い区間を区間④の国道138号沿い東名高速道路周辺と判断しました。なお、御殿場市都市計画マスタープランで位置づけられている沿道サービス施設の整備検討位置は区間④に相当し、沿道利便施設としての設置候補地としての妥当性は高いと判断しています。

以上のフローにより、『国道138号沿い東名高速道路周辺』が沿道利便施設として適切であると判断しました。

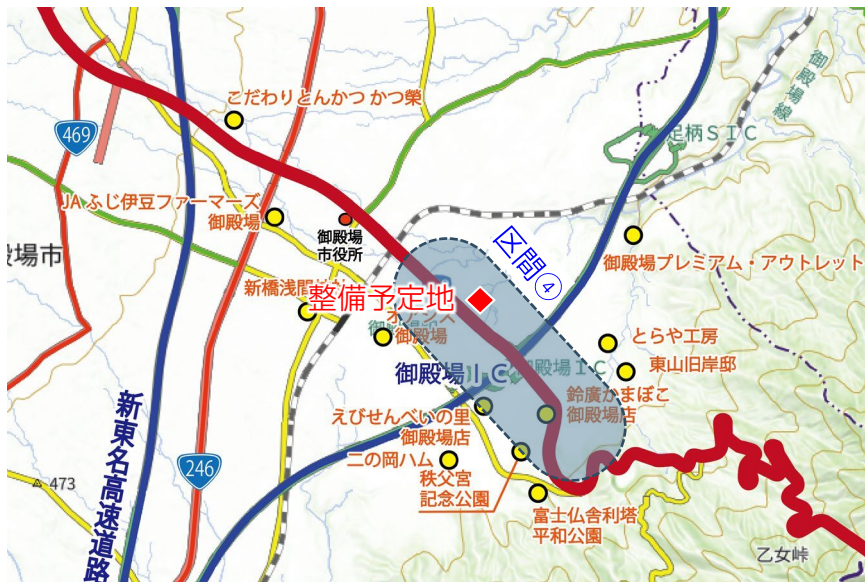
整備候補地の選定

抽出条件	対象区間				
	区間①	区間②	区間③	区間④	区間⑤
候補地の抽出	新東名高速道路より須走側	新東名高速道路周辺	市街地周辺	東名高速道路周辺	東名高速道路より箱根側
ア) ICとの距離	—	新東名高速道路 「新御殿場IC」に隣接	—	東名高速道路 「御殿場IC」に隣接	—
	△	○	△	○	△
イ) 他「道の駅」 との距離	道の駅「すばしり」との 距離が近い	道の駅「すばしり」との 距離が近い	道の駅「ふじおやま」との 距離が近い	—	—
	△	△	△	○	○
ウ) 周辺商業施設 との関連性	—	—	アウトレットなど 主要な商業施設に近い	アウトレットなど 主要な商業施設に近い	アウトレットなど 主要な商業施設に近い
	△	△	○	○	○

4.2 整備予定地の概要

(1) 整備予定地の敷地概要

整備予定地は一定の交通量があり、富士山と東名・新東名高速道路の両ICに接続する国道138号沿いに位置しています。アウトレットなど主要な観光施設にも近接する立地となっており、計画地は約4haを想定しています。



整備予定地と周辺施設

【出典】地理院地図vector



整備予定地周辺航空写真

整備予定地と富士山との距離は約21kmで、富士山は西北西方向に位置しています。整備予定地から良好に富士山を眺望することができます。



整備予定地と富士山の位置関係

【出典】地理院地図vector



整備予定地からの富士山の眺望
(アングル1・道路レベル)

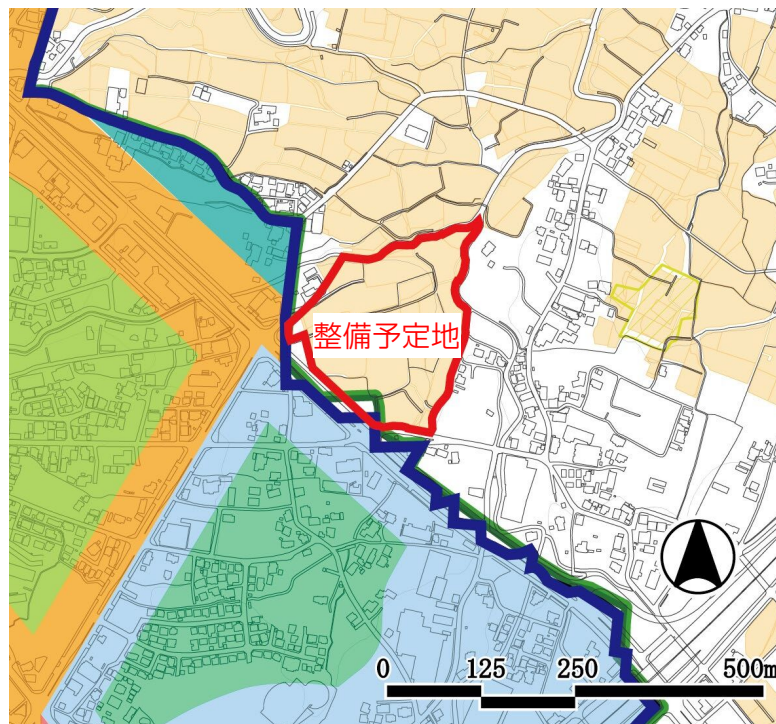


整備予定地からの富士山の眺望
(アングル2・上空レベル)

整備予定地は市街化区域の境に近い市街化調整区域に位置しており、第一種低層住居専用地域、第二種住居地域、準工業地域に隣接しています。

また、整備予定地は農業振興地域の農用地区域に指定されています。今後、沿道利便施設の整備のためには、農用地区域から除外する手続きが必要です。

整備予定地周辺の用途地域



市街化区域

市街化区域内用途地域凡例

- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域

市街化区域外法規制凡例

- 農業振興地域
- 農用地区域
- 地域森林計画対象民有林
- 保安林指定区域
- 砂防指定地
- 該当なし
- 急傾斜地崩壊危険区域
- 該当なし
- 地滑り防止区域
- 土砂災害警戒区域
- 土砂災害特別警戒区域

【出典】地理院地図vector
静岡県都市計画基礎調査（御殿場市、令和3年2月作成）
御殿場市都市計画図（平成31年2月8日現在）

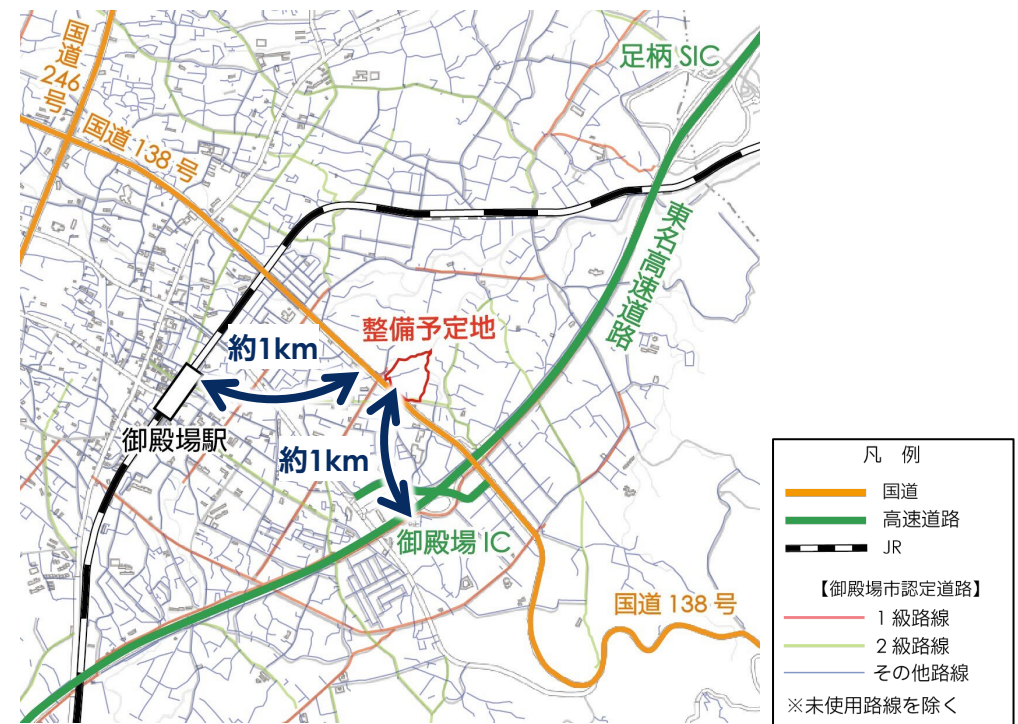
(2) 整備予定地周辺の交通状況

整備予定地は国道138号沿いに位置し、JR御殿場線御殿場駅、東名高速道路の御殿場ICは共に1km内外と各種交通網にアクセスしやすい立地です。国道138号は箱根と富士五湖を結ぶ広域の観光動線を担っており、誘客のポテンシャルが高い道路となっています。広域では、東京都心から御殿場駅までのアクセスが電車・高速バスとも約1～1.5時間で、良好なアクセス性をもっています。

整備予定地周辺への交通アクセス



【出典】御殿場市ホームページ

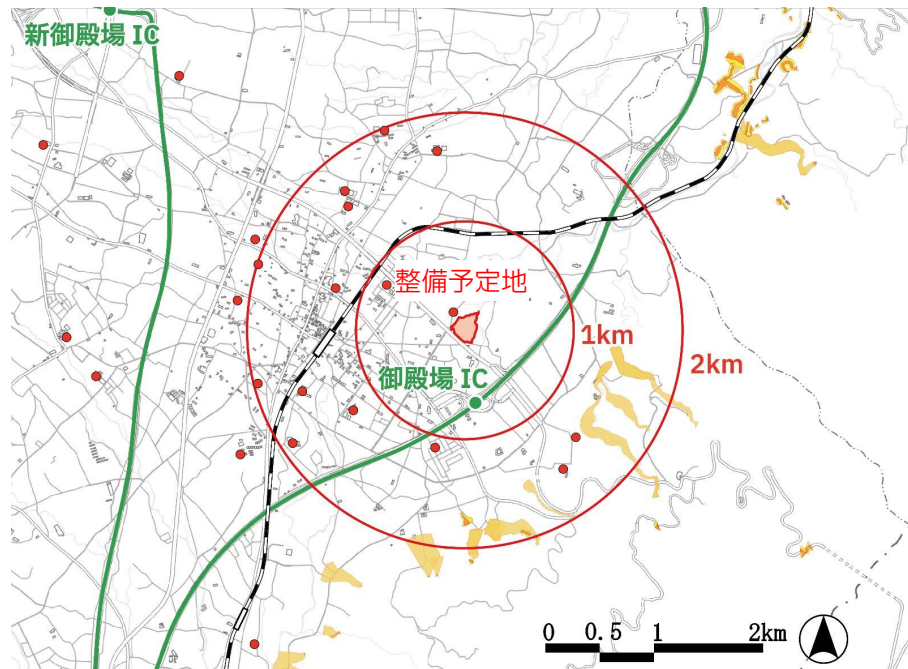


【出典】御殿場市認定路線網図
地理院地図vector

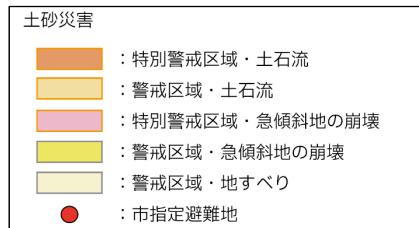
(3) 整備予定地周辺のハザード状況

整備予定地周辺は土砂災害警戒区域、洪水浸水想定区域の何れにも含まれていません。

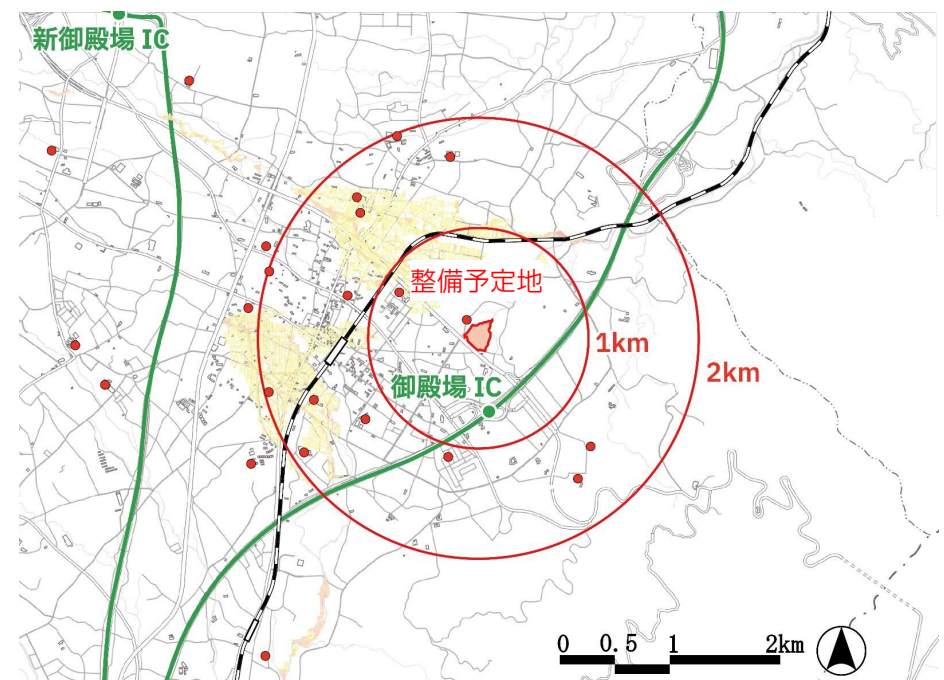
ハザード状況：土砂災害



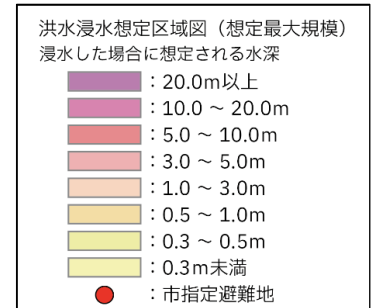
【出典】地理院地図vector
静岡県地理情報システム
御殿場市避難地マップ



ハザード状況：洪水・浸水

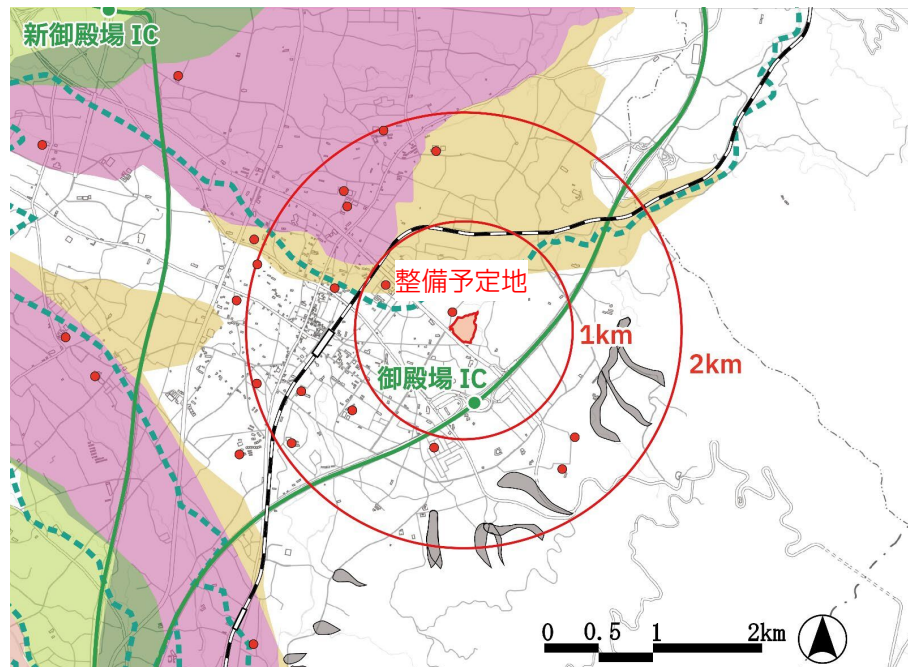


【出典】地理院地図vector
静岡県地理情報システム
御殿場市避難地マップ



富士山ハザードマップの溶岩流、土石流の整備予定地が含まれていません。また、避難可能な一時集結地の小中学校や公園などが点在しており、整備予定地に防災機能が加わることで、市内全域の防災強化を図ることが可能となります。以上より、整備予定地は防災機能整備のポテンシャルが高いといえます。

ハザード状況：富士山溶岩流、土石流



【出典】地理院地図vector
御殿場市富士山火山
防災マップ
御殿場市避難地マップ

富士山ハザードマップ

- 溶岩流が3時間で到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が12時間で到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が24時間で到達する可能性がある範囲
- 溶岩流が7日で到達する可能性がある範囲
- 最終的に溶岩流が到達する可能性がある範囲
- 土石流
- 融雪型火山泥流
- 市指定避難地

ハザード状況：富士山降灰



【出典】地理院地図vector
静岡県地理情報システム
御殿場市避難地マップ

降灰可能性

- 降灰堆積深 50cm
- 市指定避難地

5

導入機能・ 基本ゾーニング計画

- 5.1 導入機能・基本ゾーニングの考え方
 - (1) 基本理念とゾーニング
 - (2) 各ゾーンのイメージ
- 5.2 導入機能に関するニーズ調査
 - (1) アウトレット周辺に望まれる導入機能
 - (2) 沿道利便施設に望まれる導入機能
- 5.3 基本ゾーニング計画
 - (1) 駐車場規模・建物延床面積の考え方
 - (2) 施設配置の考え方
 - (3) 施設整備イメージパース

5.1 導入機能・基本ゾーニングの考え方

(1) 基本理念とゾーニング

基本理念のキーワードをもとにした5つのゾーンから導入機能群を検討しました。ゾーン名はキーワードをもとに、水の動きに合わせて来訪者の心が動かされるような表現としています。

基本理念の
キーワード

ゾーン名

ゾーンごとの機能イメージ

わきでる

わくわく
ゾーン



御殿場ならではの
ワクワクする体験や
活動の場

イベント（フェス）

- ・スポーツ
- ・アウトドア
- ・音楽
- ・飲食
- ・風物詩
- ・多様性
- ・国際交流
- ・自衛隊
- ・防災 etc.

ながれる

うきうき
ゾーン



新たなゲートウェイの
誕生で人流と情報の
起終点となる場

情報発信

- ・総合案内所
- ・多言語対応（通訳）
- ・施設内アプリ提供

交通拠点

- ・スマートモビリティ
- ・物流拠点
- ・ドローン基地
- ・駐車場、駐輪場 etc.

ゆらめく

ゆらゆら
ゾーン



ゆらめく水や灯りの中で
ゆっくりと心和む
癒しの場

樹林の活用

- ・デイキャンプ
- ・ドッグラン
- ・自然体験
- ・富士山の伏流水汲み
- ・木陰のライブラリー
- ・木工工房
- ・木育体験
- ・カフェ etc.

うるおう

いきいき
ゾーン



水の恵みを楽しむ
味わい満たされる
活力の源となる場

マルシェ

- ・天然水と関連品
- ・特産品
- ・国際交流品

飲食

- ・レストラン
- ・カフェ
- ・ベーカリー
- ・醸造所（ビールほか） etc.

しみこむ

じわじわ
ゾーン



御殿場らしさを体現する
地域のブランドを
創造する場

原風景と農業

- ・富士山と水田
- ・魅せる田畑
- ・栽培～収穫～加工
- ・食育、環境教育
- ・伝統農業
- ・御殿場ブランド etc.

(2) 各ゾーンのイメージ

わくわくゾーン

御殿場ならではのワクワクする体験や活動の場

- ・富士山の眺望を楽しめる多目的芝生広場が各ゾーンを繋ぐ
- ・日常的な利用から大規模イベントまで開催



【出典】fumotto 南アルプス ホームページ



うきうきゾーン

新たなゲートウェイの誕生で
人流と情報の起終点となる場

- ・交通と情報発信の拠点
- ・周辺の観光施設を結ぶ



【出典】奥三河観光協議会ホームページ



【出典】三菱地所設計ホームページ

ゆらゆらゾーン

ゆらめく水や灯りの中で
ゆっくりと心と癒しの場

- ・樹林を生かした場づくり
- ・揺らめく水や灯りの演出



【出典】軽井沢観光協会ホームページ

いきいきゾーン

水の恵みを享受し味わい
満たされる活力の源となる場

- ・常設や仮設（屋台）の店舗、飲食
- ・イベント、マルシェ展開



じわじわゾーン

御殿場らしさを体現する
地域のブランドを創造する場

- ・御殿場ブランドを発信
- ・シビックプライドの醸成

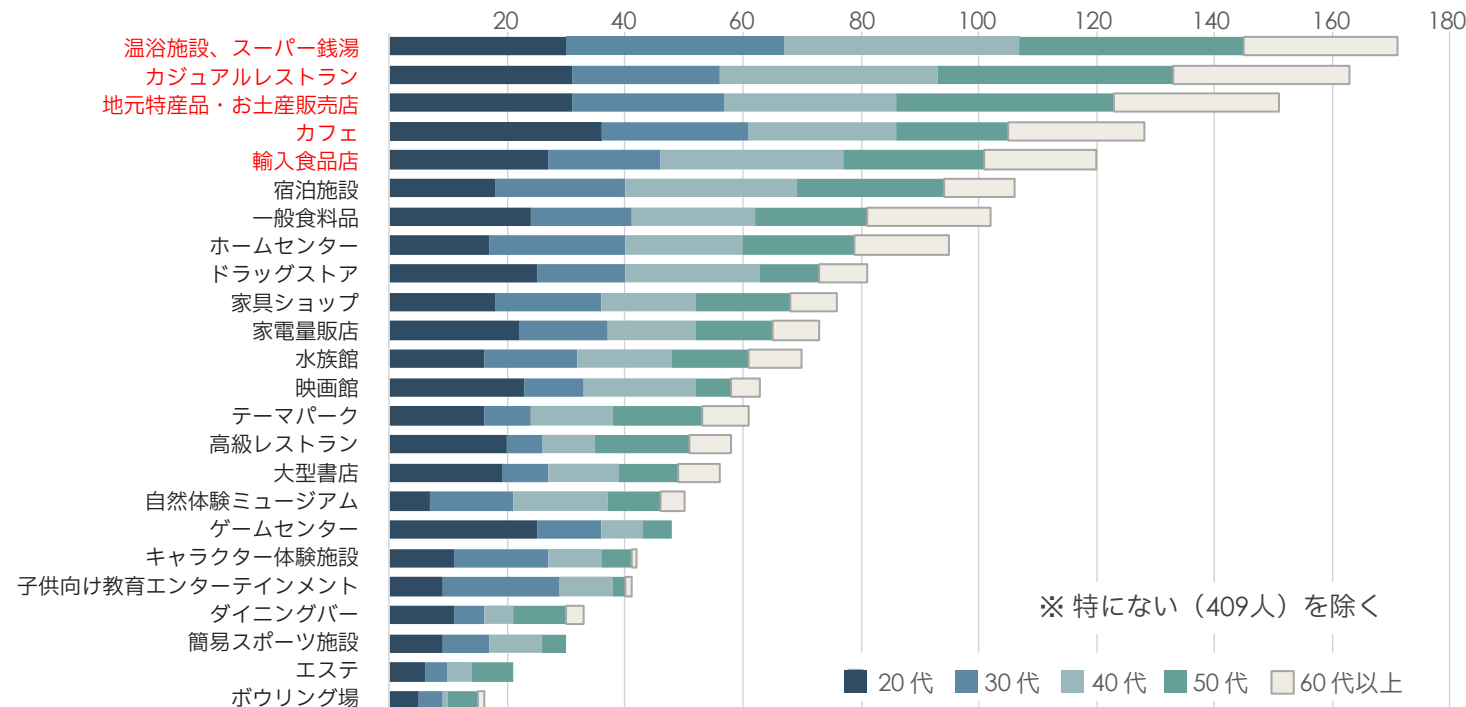


5.2 導入機能に関するニーズ調査

(1) アウトレット周辺に望まれる導入機能

アウトレット来訪者を対象に、アウトレット施設の周辺において、今後どのようなジャンルや店舗が充実されればもっと利用したいと思うかについてアンケート調査した結果、最もポイントが高かった施設は「温浴施設、スーパー銭湯」、次いで「カジュアルレストラン」、「地元特産品・お土産販売店（道の駅等）」など食を楽しむ施設に関わる項目が上位を占めました。

Q. アウトレット施設の周辺において、今後どのようなジャンルや店舗が充実されればもっと利用したいと思いますか

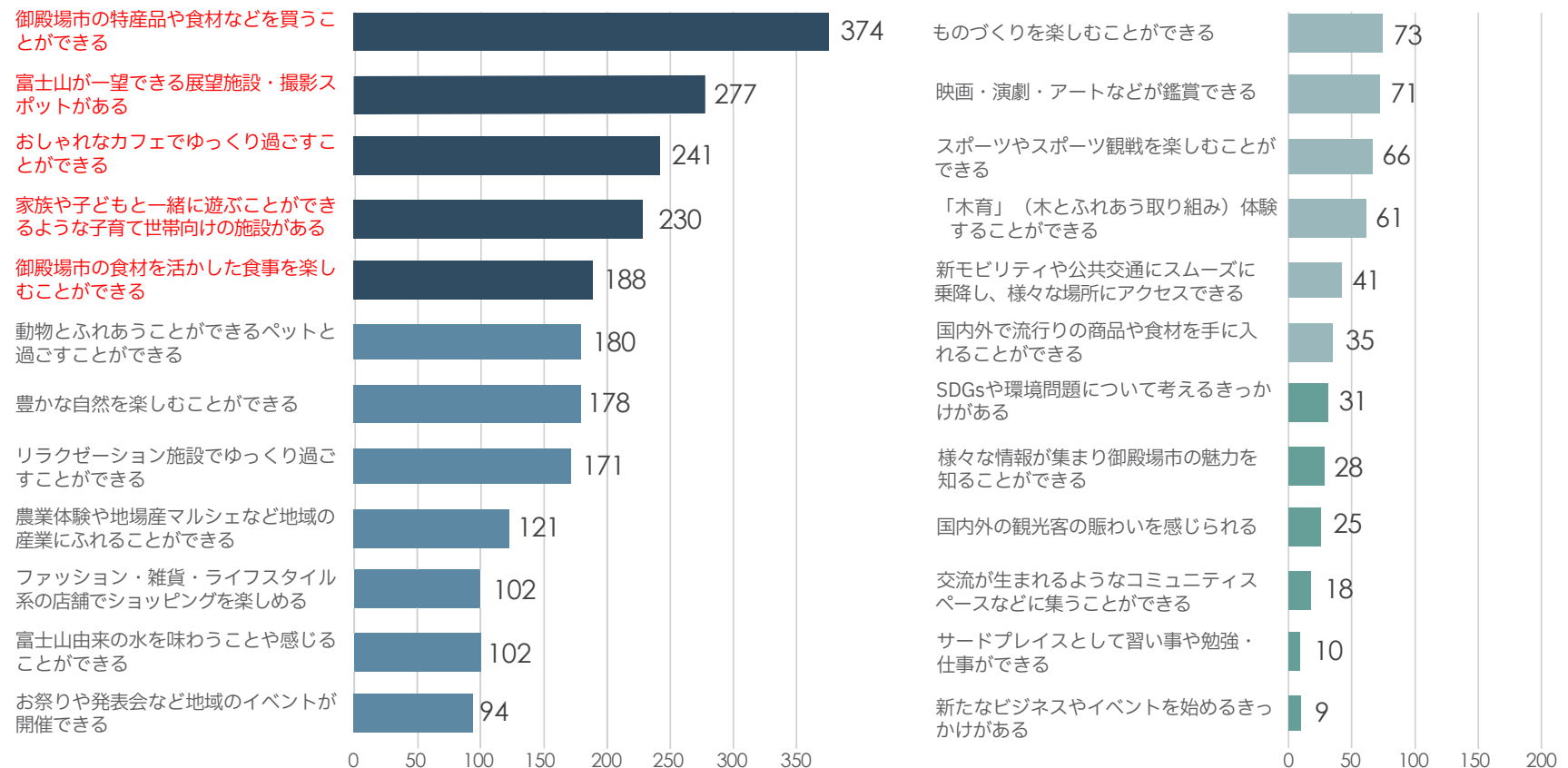


(2) 沿道利便施設に望まれる導入機能

沿道利便施設への導入が想定される24の機能イメージを作成し、観光客および市民アンケートでニーズを調査しました。観光客を対象としたアンケートでは、「御殿場市の特産品や食材などを買うことができる」「富士山が一望できる展望施設・撮影スポットがある」「おしゃれなカフェでゆっくり過ごすことができる」などが上位を占めています。

Q. 沿道利便施設にどのような機能があるとよいと思いますか

観光客を対象としたアンケート



年代別にみると、例えば全年齢と比較して若い世代では「豊かな自然を楽しむことができる」「リラクゼーション施設でゆっくり過ごすことができる」「動物とふれあうことができる/ペットと過ごすことができる」との意見が上位になりましたが、年代別で傾向に大きな差はみられませんでした。

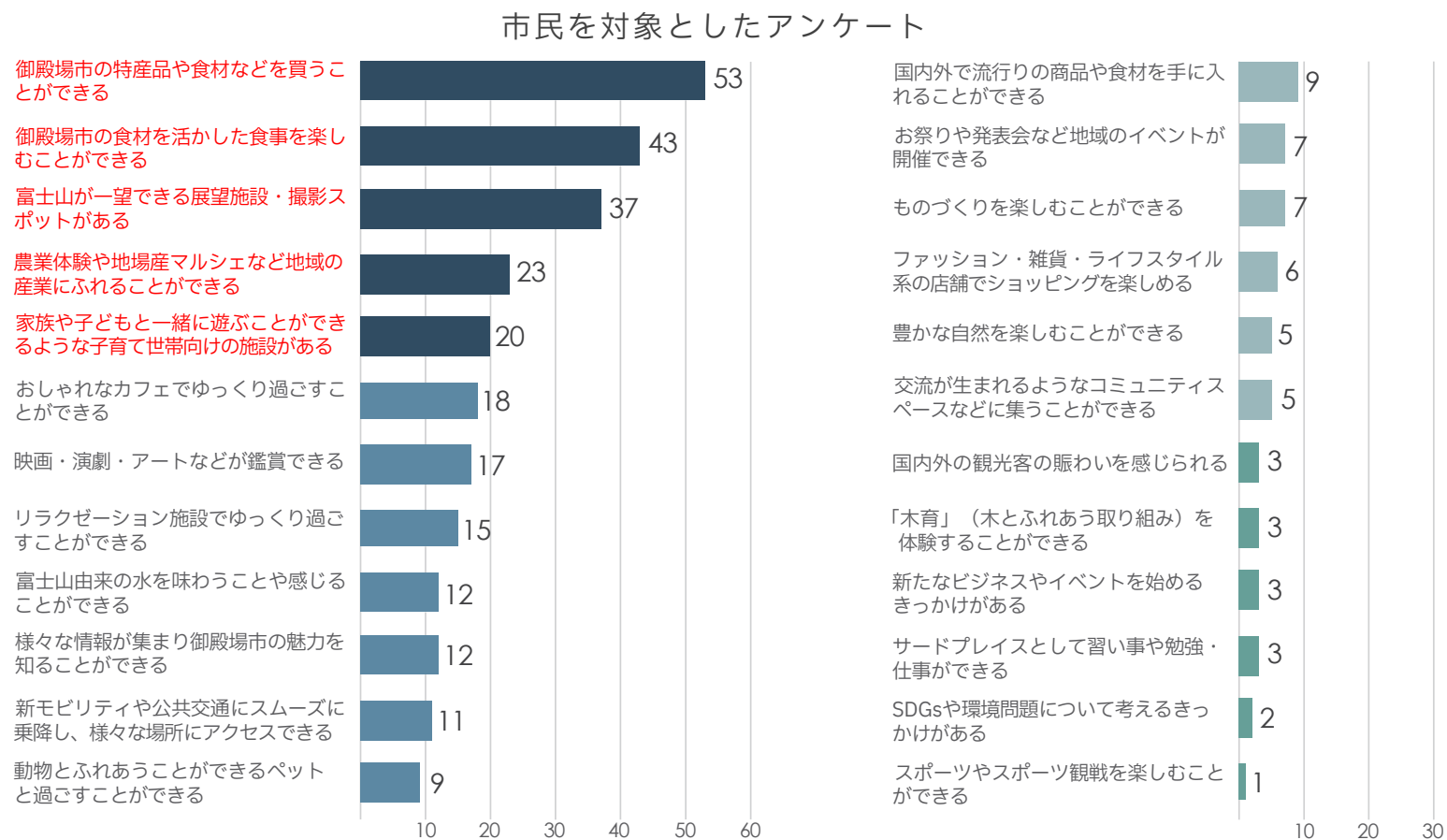
Q. 沿道利便施設にどのような機能があるとよいと思いますか

観光客を対象としたアンケート（年代別上位）

	全年齢	～30代	40代・50代	60代～
 1位	御殿場市の特産品や食材などを買うことができる	御殿場市の特産品や食材などを買うことができる	御殿場市の特産品や食材などを買うことができる	御殿場市の特産品や食材などを買うことができる
2位	富士山が一望できる 展望施設・撮影スポットがある	おしゃれなカフェで ゆっくり過ごすことができる 家族や子どもと一緒に 遊ぶことができるような 子育て世帯向けの施設がある	富士山が一望できる 展望施設・撮影スポットがある	富士山が一望できる 展望施設・撮影スポットがある
3位	おしゃれなカフェで ゆっくり過ごすことができる	富士山が一望できる 展望施設・撮影スポットがある	おしゃれなカフェで ゆっくり過ごすことができる	御殿場市の食材を活かした 食事を楽しむことができる
4位	家族や子どもと一緒に 遊ぶことができるような 子育て世帯向けの施設がある	豊かな自然を 楽しむことができる	家族や子どもと一緒に 遊ぶことができるような 子育て世帯向けの施設がある	動物とふれあうことができる/ ペットと過ごすことができる
5位	御殿場市の食材を活かした 食事を楽しむことができる	リラクゼーション施設で ゆっくり過ごすことができる 動物とふれあうことができる/ ペットと過ごすことができる	リラクゼーション施設で ゆっくり過ごすことができる 動物とふれあうことができる/ ペットと過ごすことができる	家族や子どもと一緒に 遊ぶことができるような 子育て世帯向けの施設がある

市民を対象としたアンケートでは、「御殿場市の特産品や食材などを買うことができる」「御殿場市の食材を活かした食事を楽しむことができる」「富士山が一望できる展望施設・撮影スポットがある」などが上位を占めています。上位の機能は観光客アンケートと大きな差はみられず、観光客と市民の求めるニーズに差異が少ないことがわかります。

Q. 沿道利便施設にどのような機能があるとよいと思いますか



年代別にみると、観光客を対象としたアンケートと比較して、「農業体験や地場産マルシェなど、地域の産業にふれることができる」「映画・演劇・アートなどが鑑賞できる」といった意見が上位になりましたが、同じく年代別で傾向に大きな差はみられませんでした。

Q. 沿道利便施設にどのような機能があるとよいと思いますか

市民を対象としたアンケート（年代別上位）

	全年齢	～30代	40代・50代	60代～
 1位	御殿場市の特産品や食材などを買うことができる	御殿場市の特産品や食材などを買うことができる	御殿場市の特産品や食材などを買うことができる	御殿場市の特産品や食材などを買うことができる
2位	御殿場市の食材を活かした食事を楽しむことができる	御殿場市の食材を活かした食事を楽しむことができる	御殿場市の食材を活かした食事を楽しむことができる	富士山が一望できる 展望施設・撮影スポットがある
3位	富士山が一望できる 展望施設・撮影スポットがある	映画・演劇・アートなどが鑑賞できる	富士山が一望できる 展望施設・撮影スポットがある	御殿場市の食材を活かした食事を楽しむことができる
4位	農業体験や地場産マルシェなど、地域の産業にふれることができる	家族や子どもと一緒に遊ぶことができるような子育て世帯向けの施設がある	農業体験や地場産マルシェなど地域の産業にふれることができる	リラクゼーション施設でゆっくり過ごすことができる
5位	家族や子どもと一緒に遊ぶことができるような子育て世帯向けの施設がある	おしゃれなカフェでゆっくり過ごすことができる 富士山が一望できる 展望施設・撮影スポットがある リラクゼーション施設でゆっくり過ごすことができる	おしゃれなカフェでゆっくり過ごすことができる	家族や子どもと一緒に遊ぶことができるような子育て世帯向けの施設がある

5.3 基本ゾーニング計画

(1) 駐車場規模・建物延床面積の考え方

沿道利便施設の駐車場必要台数について、類似事例での算定式をもとに算出すると小型車94台、大型車24台、障がい者用3台、合計121台、必要面積は約0.84haと算出されます。

小型車

対象区間延長	15 km
計画交通量	21,172 台/日
立寄率	0.007
ラッシュ率	0.1
駐車場占有率	0.42
必要数（整数値）	94 台

大型車

対象区間延長	15 km
計画交通量	3,841 台/日
立寄率	0.008
ラッシュ率	0.1
駐車場占有率	0.50
必要数（整数値）	24 台

障がい者用

必要数（整数値）	3 台
----------	------------

総駐車場台数200台以下の場合、全体の1/50

必要ます数・必要面積（算定式ベース）

	小型車	大型車	障がい者用	合計	単位
必要ます数	94	24	3	121	台
1台あたり必要面積	24.4	141.9	24.4		m ² /台
必要面積	4,880	3,406	73	8,360	m ²

※算出の考え方

計画中の「道の駅」における駐車場規模の算定方法を参照し、「道路設計要領 設計編」（国土交通省中部地方整備局）における「道の駅」の駐車台数の算出方法、パラメータおよび「設計要領 第六集 建築施設編」（東・中・西日本高速道路株式会社）におけるSAでの駐車場占有率を用いて算出した。

障がい者用の必要数は「道路の移動等円滑化整備ガイドライン」（国土交通省）を参照した。

※対象区間延長は周辺の「道の駅」との距離、計画交通量はR3道路交通センサスより設定した。

※1台あたり必要面積は、駐車角90° かつ・前進駐車の場合の基準値を採用した。

本市の沿道利便施設と敷地面積の近い道の駅では、類似事例での算定式をもとに算出する台数より小型車で2.0～2.5倍程度多く整備しています。よって、駐車場面積および建物の延床面積は類似事例の平均をもとに設定し、駐車場面積はモビリティの乗降機能等を合わせて約1.3ha（整備予定地の約1/3程度）、建物の延床面積は約2,500㎡～3,000㎡程度とします。

敷地面積の近い「道の駅」における駐車ます数・駐車場面積・建物床面積

名称（敷地面積の小さい順）	敷地面積 (㎡)	駐車ます数（台）		駐車場面積（㎡）	延床面積（㎡）
		小型・普通車	大型車		
道の駅 猪苗代（福島県耶麻郡）	32,988	166	16	11,381	2,053
道の駅 かつらぎ（奈良県葛城市）	33,000	77	25	12,708	
道の駅 津島やすらぎの里（愛媛県宇和島市）	33,674	278	7	9,117	3,639※3
道の駅 なみえ（福島県双葉郡）	34,000	106	22	10,943	
道の駅 京丹波 味夢の里（京都府船井郡）	34,000	150	36	6,724	
道の駅 あがの（新潟県阿賀野市）	34,210	140	17	11,300※1	1,600※1
道の駅 かさま（茨城県笠間市）	35,365	416	16	17,157	
道の駅 サシバの里いちかい（栃木県芳賀郡）	39,000	167	12	6,684	1,174※2
道の駅 まくらがの里 こが（茨城県古河市）	41,000	355	37	18,242	2,500※4
道の駅 川場田園プラザ（群馬県利根郡）	49,537	850	5	25,000※5	4,800※6
平均値	36,677	271	19	12,926	2,628

【出典】各道の駅ホームページほか

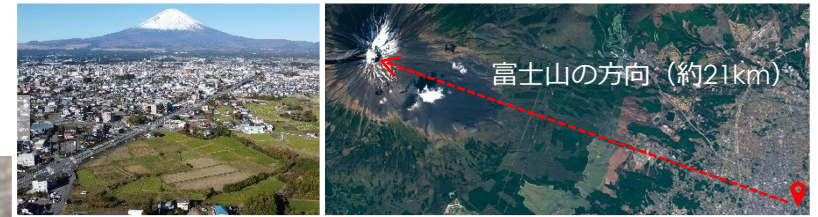
※1 計画段階 ※2 床面積は、物販やお手洗面積を足したもの ※3 床面積は改修前のもの、倉庫などを含む建物床面積

※4 床面積は地域振興施設＋情報交流施設の合計 ※5 駐車場面積はCAD求積による

※6 「川場村公共施設等総合管理計画」に記載の関連施設の床面積の合計

(2) 施設配置の考え方

基本ゾーニング図 富士山の眺望を最大限に楽しめる計画としています。



うきうきゾーン

物流と人流の起終点となる場

- ・富士山の眺望を邪魔しない交通拠点を東部幹線沿いに配置



うきうき

わくわくゾーン

ワクワクする体験や活動の場

- ・敷地の中心に芝生広場を配置することで、多目的に利用可能
- ・芝生広場の外周に全てのゾーンを繋げる回廊（園路）を配置

わくわく

いきいきゾーン

水の恵みを享受し、味わい満たされる活力の源となる場

- ・うきうきゾーンに直結し、幹線道路へ賑わいのしみだし効果の期待できる配置

いきいき

ゆらゆら

ゆらゆらゾーン

ゆらめく水や灯りの中で心と癒しの場

- ・憩いと休息の場を配置

芝生広場を囲むように富士山を眺望できるデッキと一体となった建物を配置

じわじわ

じわじわゾーン

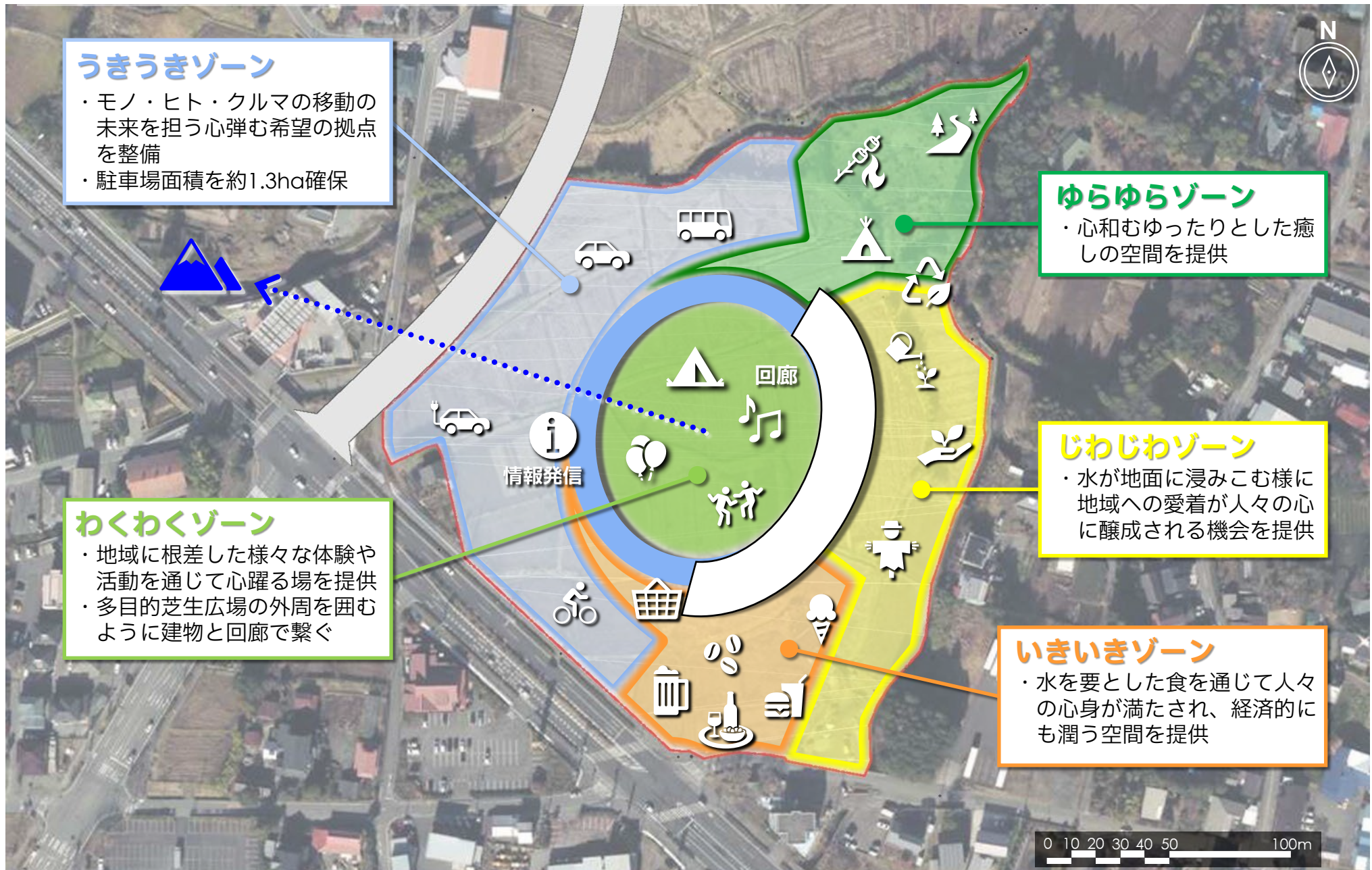
御殿場らしさを体現し、地域のブランドを創造する場

- ・原風景でもある水田の残るエリアを配置

0 10 20 30 40 50 100m



配置イメージ 基本ゾーニング図に基づき配置を計画しました。



(3) 施設整備イメージパース

全体鳥瞰パース



わくわくゾーン（広場）と回廊のイメージ



建物と広場のイメージ



6

整備および管理運営手法

6.1 整備および管理運営手法の考え方

- (1) 整備および管理運営手法の比較
- (2) 整備および管理運営における基本方針

6.2 企業・団体ニーズ調査

- (1) 調査概要
- (2) アンケート調査結果
- (3) ヒアリング調査結果

6.1 整備および管理運営手法の考え方

(1) 整備および管理運営手法の比較

沿道利便施設の整備・管理運営手法については、施設の整備及び管理と運営をそれぞれ公共が行うか民間が行うかによって様々なパターンが考えられます。沿道利便施設は公共性と事業性の二つの面を併せ持つことから、施設機能に応じて、適切な主体を選定し組み合わせることが重要です。

道の駅の整備・管理運営手法によく見られる下記の5つの方法を対象に手法の比較を行いました。

- ・ 市が直接管理・運営する従来方式（公設公営）
- ・ 第3セクター又は民間事業者による指定管理方式（公設民営）
- ・ 維持管理・運営者を先行決定し、設計、建設を分離発注するEOI方式（公設民営）
- ・ 施設の設計及び建設、運営業務を包括的に民間事業者に委託するDBO方式（公設民営）
- ・ 民間事業者に資金調達から施設整備、管理・運営まですべてを任せるPFI方式（民設民営）

整備および管理運営手法の比較

	資金調達	設計・建設	維持管理・運営
従来方式 (公設公営)	市	市 ↓ 設計 ↓ 建設 民間 民間	市 ↓ 運営 ↓ 維持管理 民間 民間
指定管理方式 (公設民営)	市	市 ↓ 設計 ↓ 建設 民間 民間	民間※
EOI方式 (公設民営)	市	市 ↓ 設計 ↓ 建設 民間 民間	民間 (先行決定) 意向反映
DBO方式 (公設民営)	市	民間	民間
PFI方式 (民設民営)	民間	民間	民間

※要求水準書等による性能発注の場合と仕様発注の場合がある。

整備・管理運営手法ごとのメリット・デメリットは表に示す通りとなります。基本計画以降にて、整備および管理運営における基本方針に適合した整備・管理運営手法を検討していきます。優れた民間事業者の活力を、最大限発揮できるよう、EOI方式やDBO方式、PFI方式など様々な可能性を探ります。

整備および管理運営手法ごとの比較・特徴

	従来方式（公設公営）	指定管理者方式（公設民営）	EOI方式（公設民営）	DBO方式（公設民営）	PFI方式（民設民営）
概要	- 市が資金調達し、設計・建設・維持管理・運営を市が主体で行う事業方式 - 民間事業者は、テナントとして入居する	市が資金調達し、市が設計・建設を行い、民間事業者に維持管理・運営を委託する事業方式	- 市が資金調達し、市が設計・建設を行い、民間事業者に維持管理・運営を委託する事業方式 - 維持管理・運営者を先行決定し、設計・建設に関与させる	市が資金調達をし、民間事業者が設計・建設・維持管理・運営を一括で担わせる事業方式	PFI法に基づき、市が民間事業者に資金調達、設計・建設・維持管理・運営を一括で担わせる事業方式
委託期間	単年度	短期間（5年程度）	短期間（5年程度）	長期間（10～20年程度）	長期間（15～20年程度）
建設費	市が負担	市が負担	市が負担	市が負担	民間事業者が負担（事業者が資金調達）
発注方法	委託が必要な業務を仕様発注	性能発注	性能発注	性能発注	性能発注
対価払い	個別業務ごとに一括で支払い	維持管理・運営業務を一括で支払い	維持管理・運営業務を一括で支払い	個別業務ごとに一括で支払い	委託期間中に平準化して支払い
メリット	- 安定した運営が可能 - 市の政策意図を反映しやすく公益性も担保できる	- 市の政策意図を反映した上で、維持管理・運営面での民間事業者の創意工夫も発揮されやすい - 安定した維持管理・運営が可能 - 維持管理・運営面で適切なリスク分担が可能	- 市の政策意図を反映した上で、維持管理・運営面での民間事業者の創意工夫も発揮されやすい - 安定した維持管理・運営が可能 - 運営を見据えた設計が可能である - 維持管理・運営面で適切なリスク分担が可能	- 設計・建設・維持管理・運営面において一定のコスト削減が期待できる - 運営を見据えた設計が可能である - 長期的な視点での維持管理・運営計画が立てやすい - 適切なリスク分担が可能	- 設計・建設・維持管理・運営面において一定のコスト削減が期待できる - 運営を見据えた設計が可能である - 長期的な視点での維持管理・運営計画が立てやすい - 適切なリスク分担が可能 - 事業費負担に対する市の財政負担の平準化が見込まれる
デメリット	- 他事業方式に比べて、コスト削減が期待しづらい - 柔軟な運営が期待しづらい - 維持管理は事後修繕となりやすい - 全てのリスクを行政が負担	- DBO方式、PFI方式に比べて、コスト削減が期待しにくい - 各フェーズの事業者を個別で選定する為、一貫性は確保できない - 運営を見据えた設計が難しい - 長期的な視点での管理運営計画が立てにくい	- DBO方式、PFI方式に比べて、コスト削減が期待しにくい - 各フェーズの事業者を個別で選定する為、一貫性は確保できない - 長期的な視点での管理運営計画が立てにくい	- 設計・建設等において、分割発注とならないため、地元事業者が参画しにくくなる可能性がある - 事業の継続性に対してリスクがあり、事業契約等に基づく適切なモニタリングを行う必要がある	- 資金調達者の意向が強くなる傾向がある - PFI導入可能性調査や事業者選定により事業期間が長期化する
総合評価	△	△	○	○	◎

(2) 整備および管理運営における基本方針

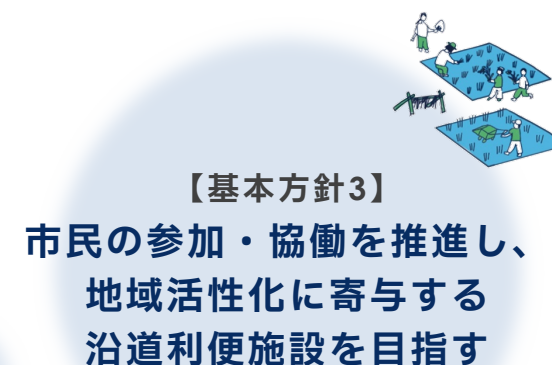
沿道利便施設のコンセプト・基本理念をふまえ、沿道利便施設の整備効果を最大限活かすための整備および管理運営における基本方針を示します。



収益施設や公益的施設を含め、多種多様な機能・サービスを利用者に提供していくことが求められる施設であることをふまえて、個々の施設における利用者ニーズに対応しつつ、コンセプトに沿った施設全体としての統一的な空間の魅力発揮を目指します。



施設計画の早期の段階から民間事業者が関わることで、民間事業者の創意工夫やノウハウを発揮しやすくとともに、提供するサービスに応じた各機能の適正な規模や利用者に応じた適切な動線配置、効率的にメンテナンスできるような設備配置など、管理運営を見据えた施設整備を行うことを目指します。



御殿場市ならではの地域資源を活かし、地域住民や利用者の意見が最大限反映され、地域課題の解決とともにこれからのまちづくりに向けた地域の拠点となるような施設整備および管理運営を目指します。



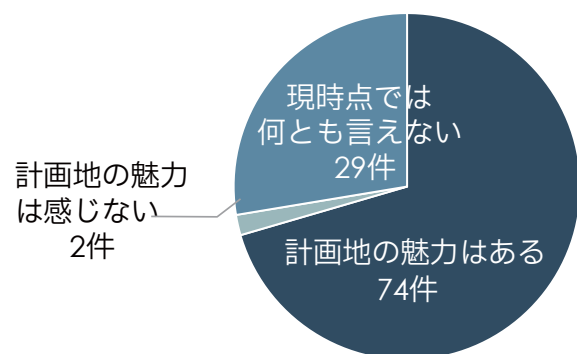
6.2 企業・団体ニーズ調査

沿道利便施設のコンセプトや運営に関する方針の参考にするため、御殿場市内外の企業・団体を対象としたアンケート調査を行いました。

(1) アンケート調査結果

約7割の企業・団体が、ICや駅、観光施設などからのアクセスの良さやコンセプトとの関連性から、「計画地の魅力はある」と回答しています。また、「コンセプトに対して魅力はある」と回答した割合は約5割となり、農作物や加工品との関連性に可能性を感じると回答があった一方、抽象的であることや御殿場市に水のイメージがないとの回答もみられました。

計画地の魅力について



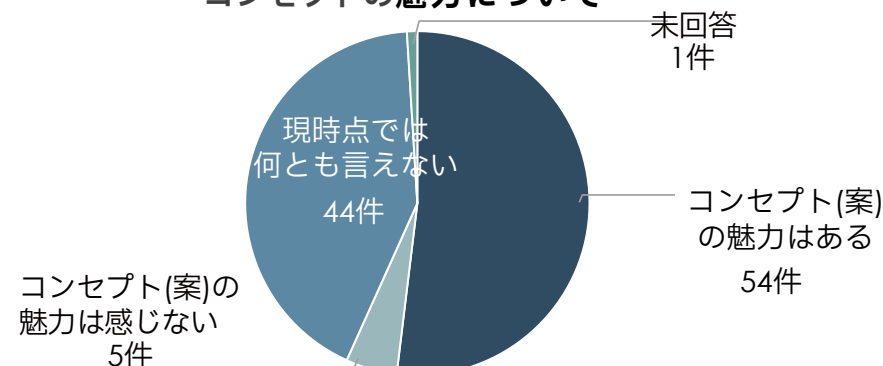
■ 魅力はある

- ・ ICや駅、観光施設などとの立地環境からのアクセスの良さ
- ・ コンセプトとの関連性
- ・ 商業地としてポテンシャルの高さから観光都市への足掛かりが期待できる

■ 何とも言えない

- ・ 駅周辺商店との関係性
- ・ 近接する商業空間とのバランス調査が必要に感じる
- ・ 下りの高速道路を利用する人の動線に懸念がある

コンセプトの魅力について



■ 魅力はある

- ・ 地域連携の可能性を感じられる
- ・ 水だけでなく農作物や加工品との関連性に可能性を感じる
- ・ 地域の特徴を発揮できるコンテンツであるとともに、水資源の保全も重要である

■ 何とも言えない

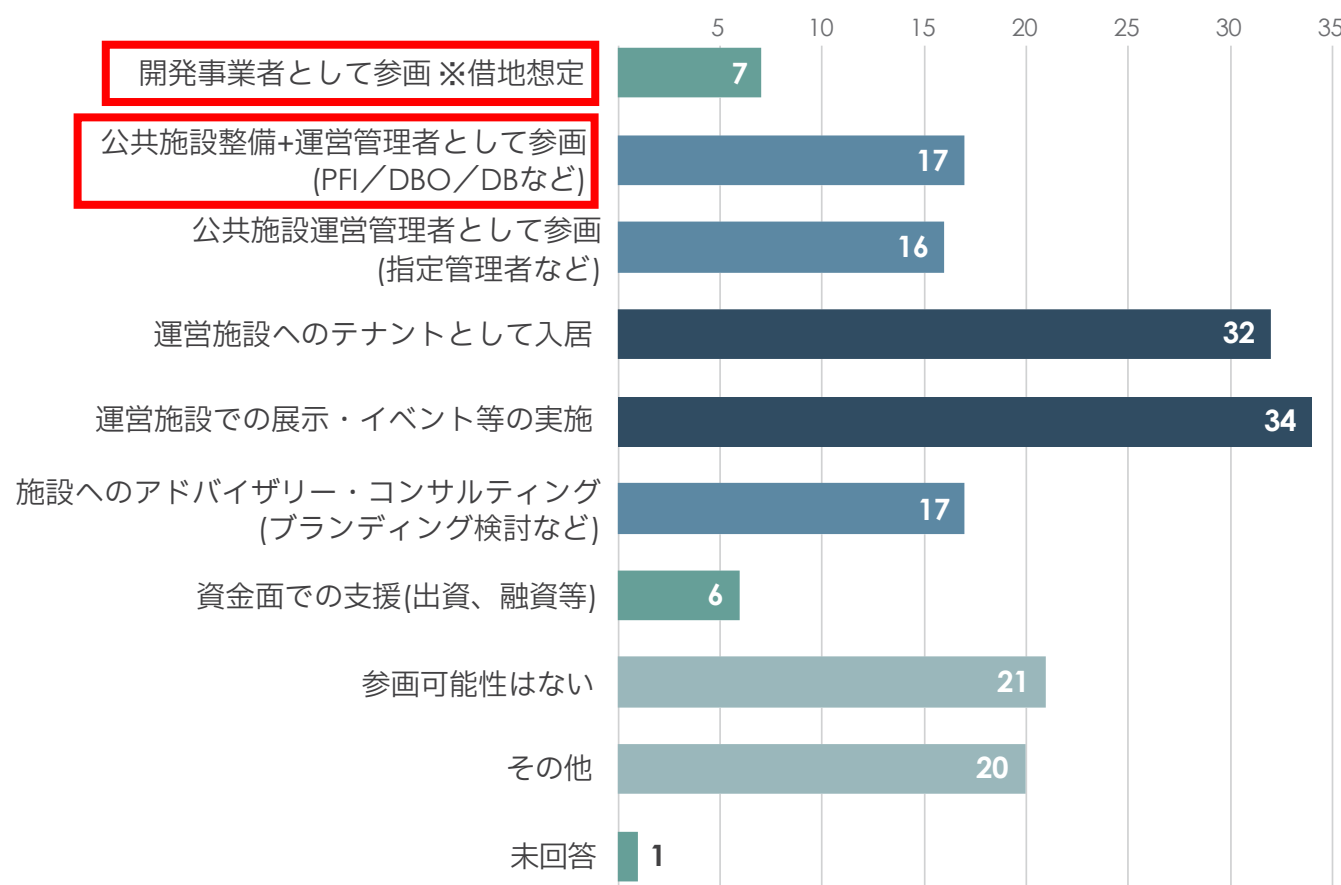
- ・ 抽象的である
- ・ 御殿場市に水のイメージがない
- ・ もう少し広義の意味で様々な発想があってもよいと感じる

■ 魅力は感じない

- ・ 周辺商店街からすると施設として魅力を感じない

沿道利便施設への参画の仕方として、約8割の企業・団体から参画の可能性があると回答しています。参画の関わり方は「運営施設へのテナントとしての入居」や「展示・イベント等の実施」が最も多かった一方、「開発事業者として参画」や「公共施設整備+運営管理者として参画」が可能との回答も一定数みられました。

沿道利便施設への参画の仕方について



(3) ヒアリング調査結果

アンケート調査への回答のあった企業・団体のうち、公民連携施設の整備・運営またはアドバイザリーの実績がある市外企業と、主要な市内企業・団体を任意に抽出し、ヒアリング調査を行いました。主な意見は以下の通りです。

● 計画地の魅力・ポテンシャルについて

アウトレットに近く、かつ観光動線であることから、国内外の観光客問わず魅力的な立地との意見が多くありました。

● 御殿場の水に着目したコンセプトについて

水をテーマに魅力的な場所にできるとの意見があった一方で、御殿場には有名な川や滝がなく、水はイメージしづらいとの意見もありました。

● ゾーニング・導入機能について

アウトレットとの連携や、渋滞対策と駐車場の充実化に関する意見がありました。導入機能に関して、市の魅力を発信できる場の整備、観光農園、宿泊施設、ドッグラン、理美容コンテンツなどのアイデアがありました。

● 整備・運営計画について

基本設計前までにある程度の事業体制や運営方針を決定し、設計者と共にコミュニケーションが取れる体制や、行政と適切にリスク分担されるスキームが望ましいとの意見がありました。また、道の駅登録への再検討や、段階整備など将来計画まで見据えた整備検討の必要についても意見がありました。

7

今後の検討事項

7.1 今後の検討事項

7.1 今後の検討事項

沿道利便施設基本計画（令和7～8年度策定予定）に向けて、今後の検討事項を以下に示します。

- 整備予定地は、市街化調整区域の農地となっているため、農地法や都市計画法等の各種法令について関係部署と事前に調整を行い、手戻りなく施設計画等を進める必要があります。
- 基本計画では、基本構想時点のコンセプト・基本ゾーニング・導入機能に対する地域および企業・団体からの意見を受け止め、検討を深度化する必要があります。加えて、沿道利便施設の商品企画に関する検討（マーケティングやブランディングなど）を行い、基本計画レベルの施設配置への反映が必要です。
- 運営管理を見据えて沿道利便施設の検討を進めるためには、事業の早期に整備および管理運営手法を決定し、運営管理候補者を選定する必要があります。そのため、整備および管理運営手法を決めるための検討内容を早期に整理する必要があります。
- 近年では基本設計時に運営管理候補者が内定しているケースがみられますが、基本計画策定直後に基本設計を行う場合は、基本計画期間中に運営管理候補者の選定手続きが必要となります。引き続き企業・団体へのサウンディング調査を行い、ニーズを確認する必要があります。
- 基本計画期間中に整備および管理運営手法が決まることによりスケジュールが決定します。
- 沿道利便施設に対する市民の参加・協働を推進する体制、市内企業等との協力体制の構築も必要となります。

8

参考資料

- 8.1 地域ニーズアンケート調査結果（詳細）
 - (1) アウトレット来訪者を対象としたアンケート
 - (2) 御殿場市役所職員、アウトレット従業員を対象としたアンケート
 - (3) 観光客を対象としたアンケート
 - (4) 市民アンケート
- 8.2 企業・団体ニーズ調査結果（詳細）
 - (1) アンケート調査
 - (2) ヒアリング調査
- 8.3 沿道利便施設庁内検討委員会
- 8.4 画像出典元リスト

8.1 地域ニーズアンケート調査結果（詳細）

（1）アウトレット来訪者を対象としたアンケート

■ アンケート概要

目的 : 沿道利便施設コンセプト検討のための導入機能に関する意見収集

対象者 : 御殿場プレミアム・アウトレットを利用したことのある方を対象

実施期間 : 2024年 8月26日～8月31日

収集サンプル数 : 1033サンプル

設問内容 : 「利用したことがあるプレミアム・アウトレット施設の『周辺において』、今後更にどのようなジャンルや店舗が充実（あるいは新設） されればもっと利用したいと思うようになりますか。」

回答選択肢)

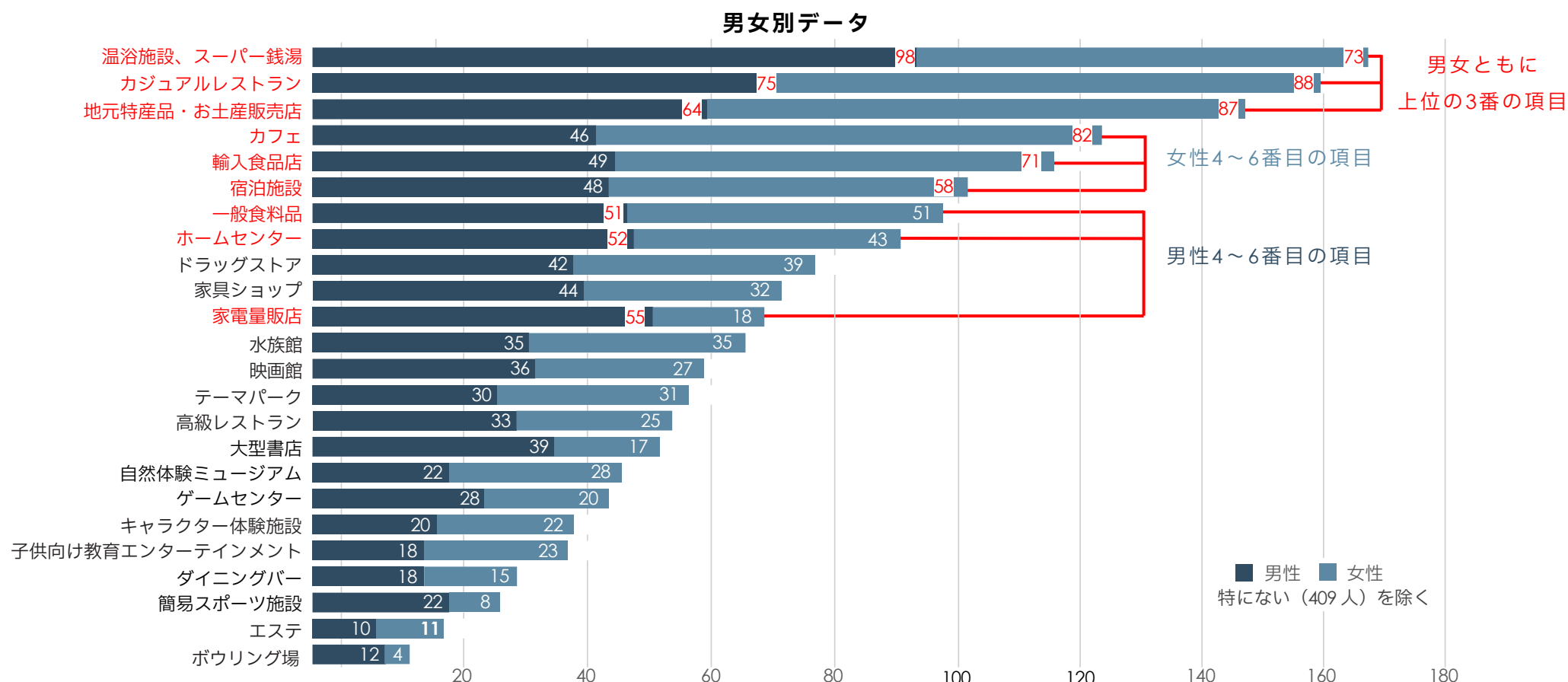
1_ホームセンター、2_家具ショップ、3_家電量販店、4_大型書店、5_ドラッグストア、6_一般食料品（食品スーパー等）、7_輸入食品店、8_地元特産品・お土産販売店（道の駅等）、9_高級レストラン、10_カジュアルレストラン、11_カフェ、12_ダイニングバー、13_映画館、14_ゲームセンター（ビデオゲーム、体験ゲーム等）、15_温浴施設、スーパー銭湯、16_宿泊施設（ホテル）、17_エステ、18_ボウリング場、19_簡易スポーツ施設、20_水族館、21_キャラクター体験施設 ※人気キャラクターの展示やショーを行う施設、22_子供向け教育エンターテイメント ※知育、職業体験ができる施設、23_自然体験ミュージアム ※アスレチック、植物、昆虫との触れあい、クラフト体験ができる施設、24_テーマパーク、25_その他【 】、26_何もない

※参考資料編では、本編に未掲載のアンケート結果を紹介します。

■ アンケート結果：男女別データ

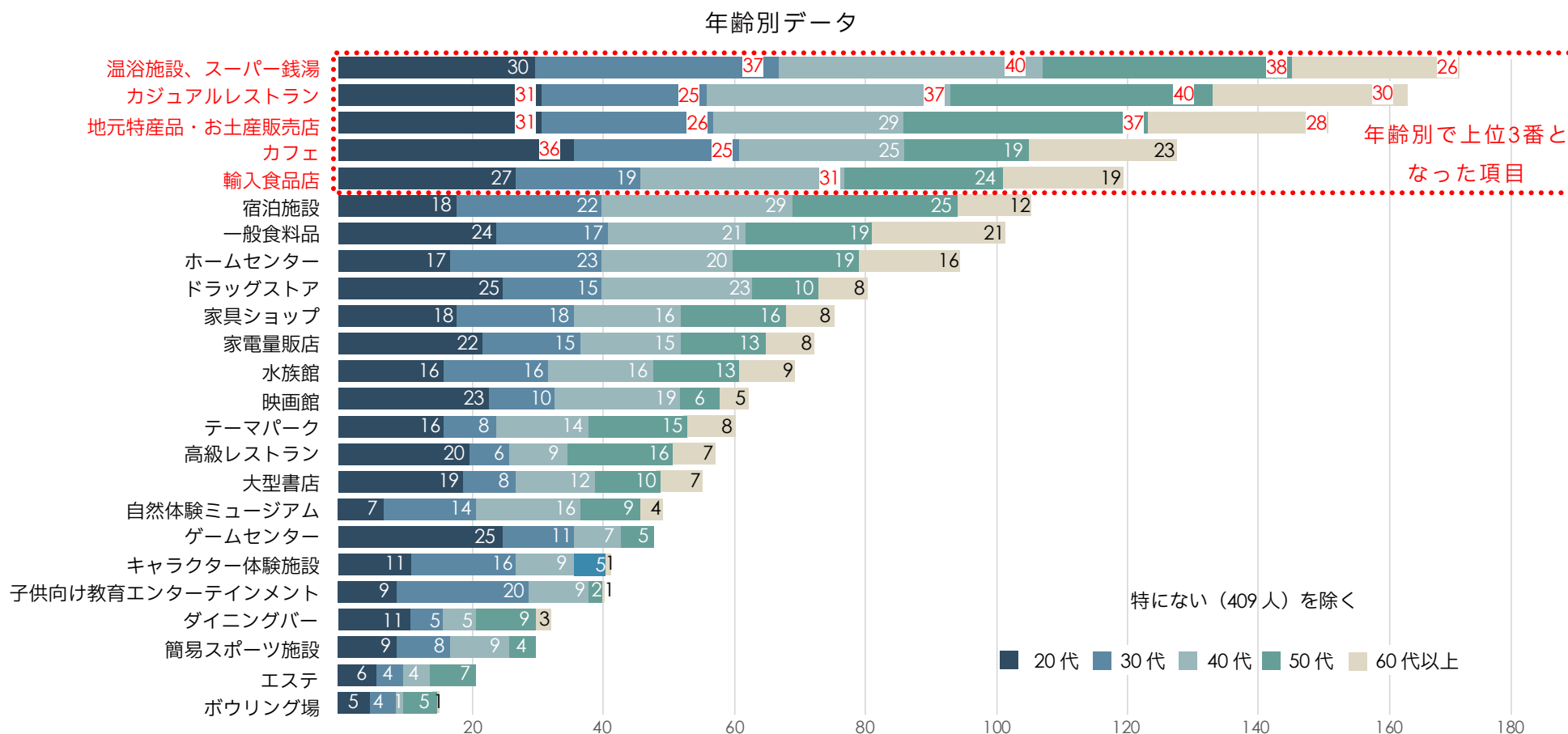
男性・女性ともに上位3番目までの項目は、「温浴施設、スーパー銭湯」「カジュアルレストラン」「お土産販売店」で一致していました。

違いがみられた上位4～6番目の項目は、女性は「カフェ」「輸入食品店」「宿泊施設」の趣味として楽しむことができる施設、男性は「家電量販店」「ホームセンター」「一般食品店」の日常的な生活で必要となる施設が挙げられました。



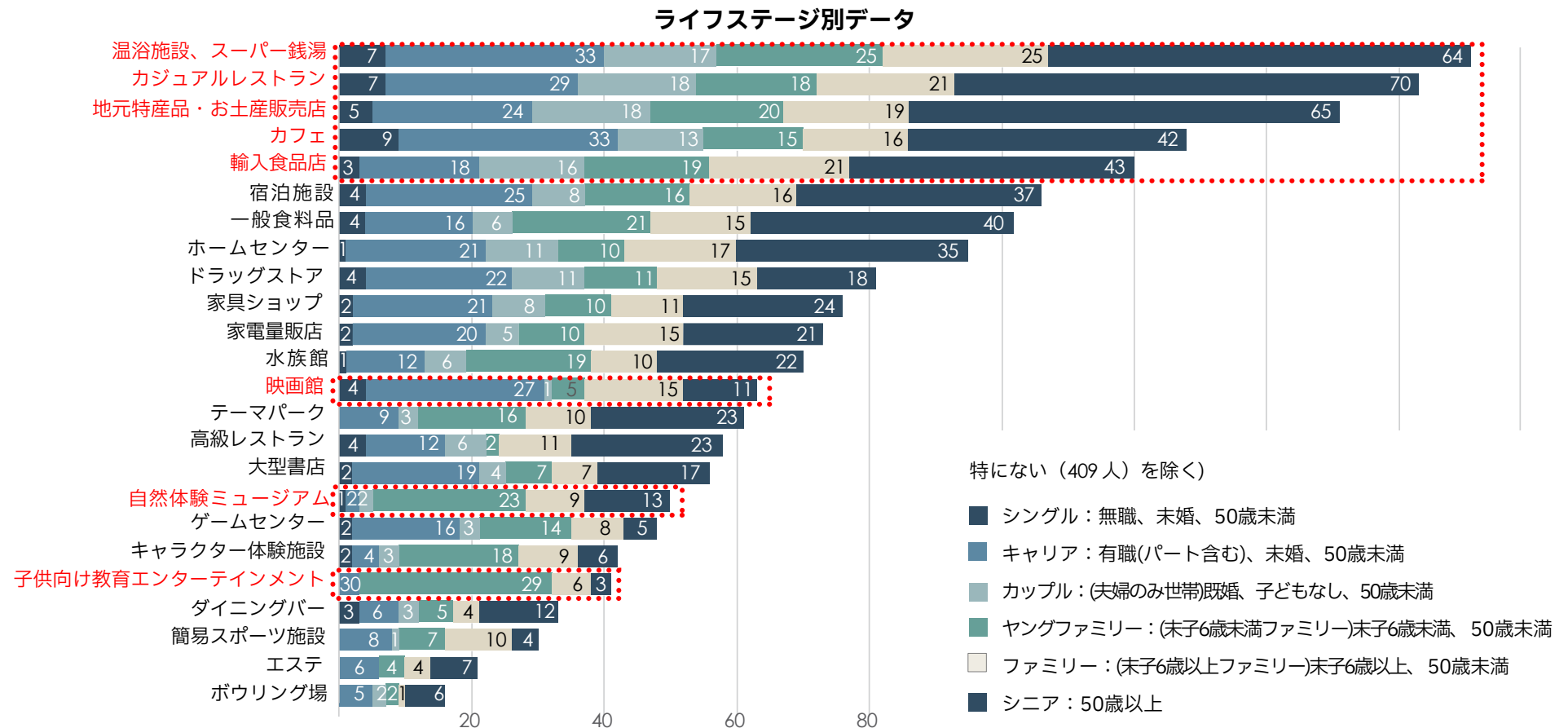
■ アンケート結果：年齢別データ

ポイントが高い施設は、すべての年代において多くの回答があることが分かります。一方で、ポイントが低い施設に関しては20代、30代、40代グループでは、「ボウリング場」や「エステ」「ダイニングバー」などの娯楽施設が多く、50代、60代グループでは子供に関わる施設を選択していない傾向があります。



■ アンケート結果：ライフステージ別データ

シングルは「温浴施設」や「カジュアルレストラン」「カフェ」などのリフレッシュできる施設の回答が多く、生活のための施設の回答が少ない傾向があります。キャリア、カップル、ファミリー、シニアにおいてもシングルと同様の傾向があり、キャリアに関しては「映画館」の回答が特に多くみられます。ヤングファミリーでは「子供向け教育エンターテインメント」や「自然体験ミュージアム」等、子供と楽しめる施設の回答が多くみられます。



(2) 御殿場市役所職員、アウトレット従業員を対象としたアンケート

■ アンケート概要

目的 : 沿道利便施設コンセプト検討のための導入機能に関する意見収集

対象者 : 御殿場市役所職員、御殿場プレミアム・アウトレット従業員

実施手法 : LoGoフォーム/Microsoft Formsを使用したwebアンケート

実施期間 : 2024年10月15日 ~ 10月25日

収集サンプル数 : 561サンプル

(御殿場市役所職員：432サンプル + 御殿場プレミアム・アウトレット従業員：129サンプル)

設問内容 : ◆あなた自身についてお聞きします。

Q1 性別について教えてください。

Q2 年齢について教えてください。

Q3 お住まいについて教えてください。

Q4 家族構成について教えてください。

◆御殿場市の魅力についてお聞きします。

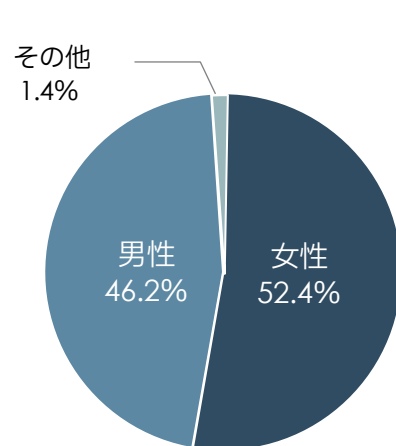
Q5 御殿場市に在住または在勤されているみなさまにとっての、御殿場市の魅力やおすすめスポットについて、理由と合わせて教えて下さい。(自由回答)

※参考資料編では、本編に未掲載のアンケート結果を紹介します。

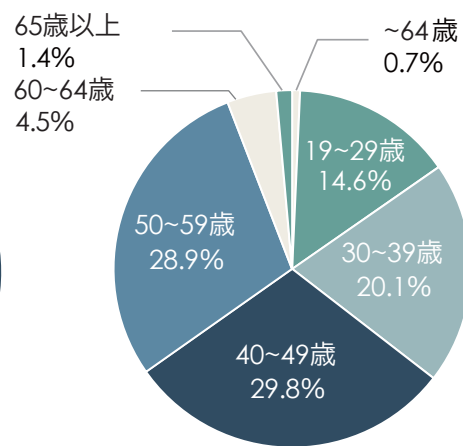
■ アンケート結果：Q1～Q4 性別・年齢・住まい・家族構成

アンケートは幅広い年代からバランスよく回答が得られました。回答者の住所は御殿場市内が約8割を占めており、その他も静岡県内が多くなっています。

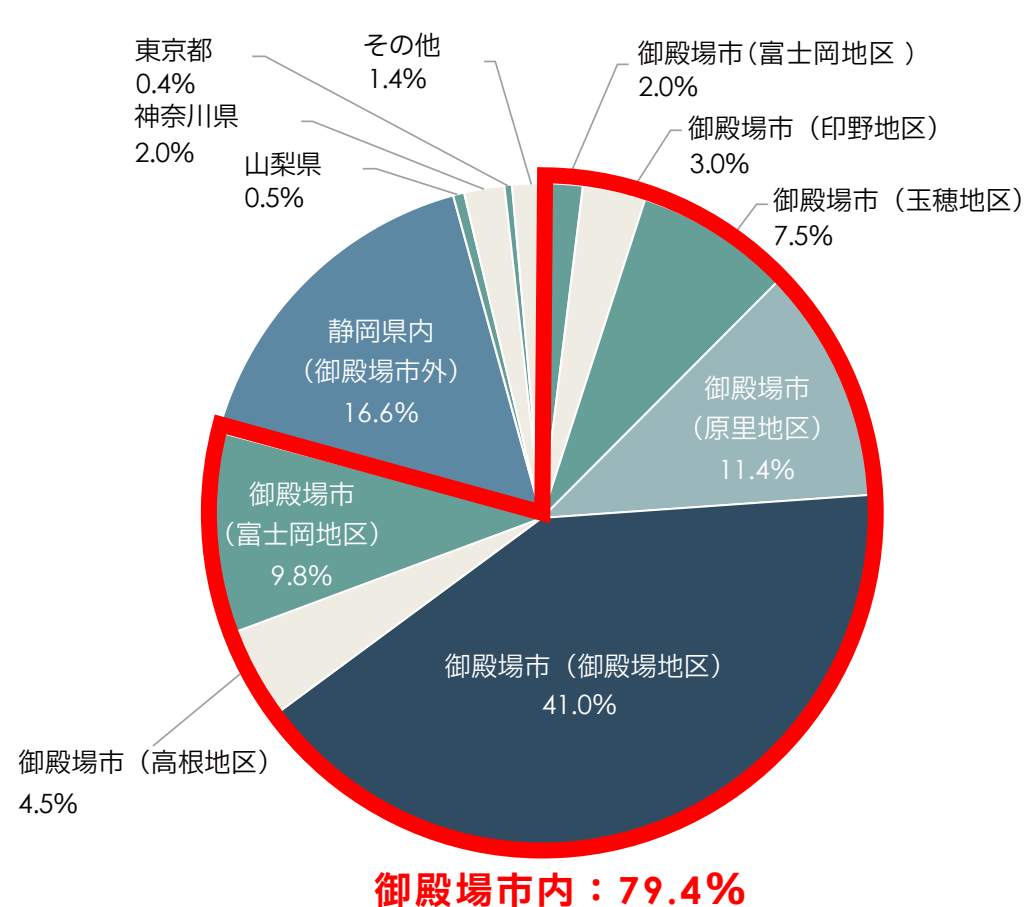
Q1 回答者性別割合



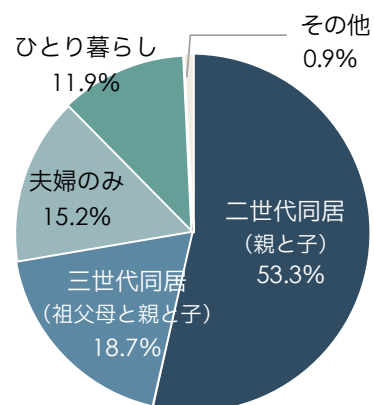
Q2 回答者年齢別割合



Q3 回答者住所別割合



Q4 回答者家族構成

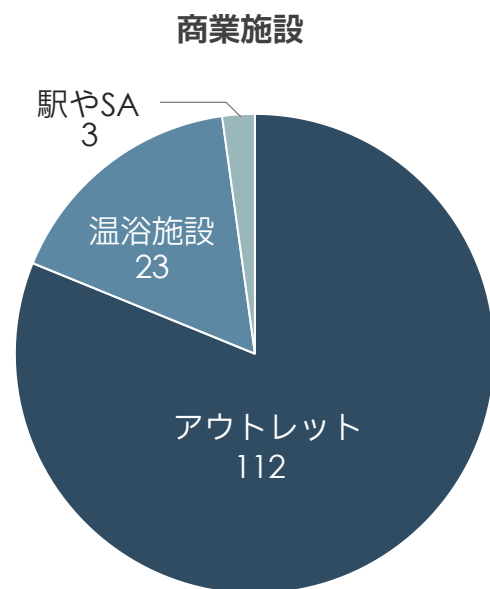


■ アンケート結果：Q5 分野別集計（商業施設）

商業施設に関する魅力やおすすめスポットについては8割の回答がアウトレットとなりました。その他2割は温浴施設に関するもので、様々な施設の回答がありました。

市が温浴施設をPRすることに対して賛成意見が多くありました。

御殿場市の魅力・おすすめスポット分野別一覧（商業施設）



アウトレット



【出典】静岡県ホームページ

- ・利便性がよく、店舗も充実している
- ・買い物だけでなく、富士山も楽しめる
- ・自然豊かな場所で買い物ができる
- ・一日中飽きずに楽しむことができる
- ・多くの観光客が訪れる場所

温浴施設



御胎内温泉



木の花の湯

【出典】御殿場市観光協会ホームページ

- ・日帰り利用で立ち寄りやすい
- ・町おこしの知名度が上がっていると感じる
- ・富士山も楽しむことができる
- ・御殿場の自然の恵みの代表

駅やSA



御殿場駅



足柄SA

【出典】御殿場市ホームページ

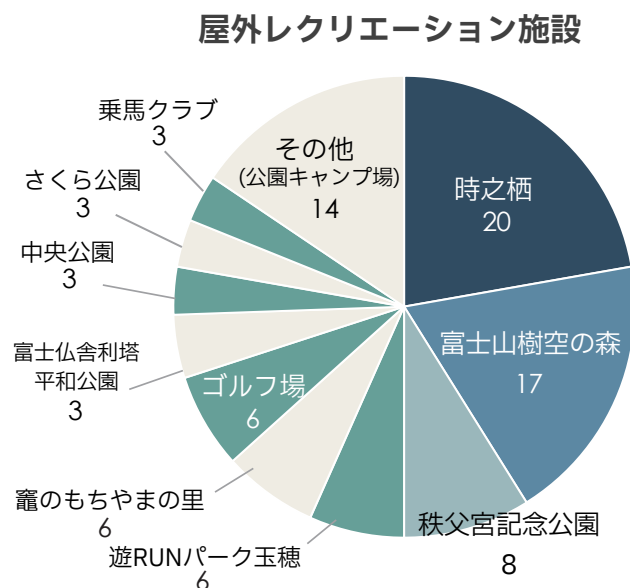
【出典】ETC総合情報ポータルサイト

- ・多彩な飲食店があり、様々な楽しみ方ができる
- ・人口の割には居酒屋等が多く、週末は活気がある
- ・足湯、温泉、ドッグランがあり、ご飯も食べられ、子供と一日過ごせる

■ アンケート結果：Q5 分野別集計（屋外レクリエーション施設）

偏りなく、市内の様々な施設が挙げられました。『広々とした公園がたくさんあること』を魅力としている回答があり、多くの人が屋外空間を魅力として捉えられていました。

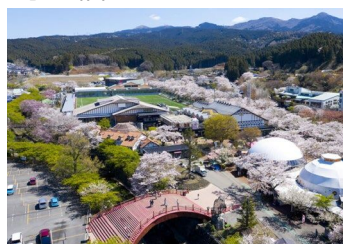
御殿場市の魅力・おすすめスポット分野別一覧（屋外レクリエーション施設）



その他施設 一覧

東山湖	神山自然公園
乙女森林公園	箱根芦ノ湖展望公園
第2キャンプ場	ポッポ広場
御胎内清宏園	あまだトンボ池
富士山友愛パーク原里	高根ふれあい広場・中郷館
高根西ふれあい広場	

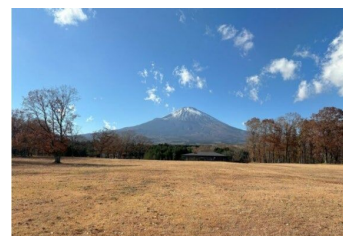
時之栖



【出典】時之栖ホームページ

- ・様々な施設があり子供から大人まで楽しむことができる
- ・季節ごとに楽しめるイベントを行っている

遊RUNパーク玉穂



【出典】御殿場市ホームページ

- ・自然の中でトレーニングするための十分な施設がある
- ・富士山の眺望が素晴らしい

富士山樹空の森



【出典】御殿場市ホームページ

- ・様々な施設があり子供から大人まで楽しむことができる
- ・富士山の歴史を学ぶことができる

ゴルフ場



【出典】富士カントリークラブホームページ

- ・リタイア後の余暇活動の場として過ごせる
- ・都心からのアクセスも良く、涼しい

秩父宮記念公園



【出典】御殿場市観光協会ホームページ

- ・桜並木や紅葉など、いつの季節に訪れても美しい
- ・とても落ち着く空間

富士山樹空の森



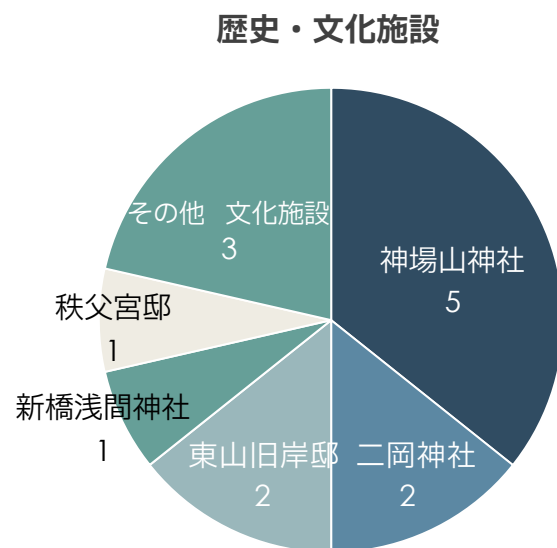
【出典】御殿場市観光協会ホームページ

- ・富士山と御殿場市内を一望できる
- ・四季折々の景観が楽しめる

■ アンケート結果：Q5 分野別集計（歴史・文化施設）

地元で愛されている神社の他、ロケ地として使われた場所の回答がありました。市の歴史と自然が融合した場所に魅力を感じている回答が、多くみられました。

御殿場市の魅力・おすすめスポット分野別一覧（歴史・文化施設）



神場山神社



【出典】御殿場市観光協会ホームページ

- ・ 地元の人なら知る人ぞ知る
パワースポット

二岡神社



【出典】御殿場市ホームページ

- ・ 歴史を感じられる
- ・ 映画やドラマで使われた
スポット

東山旧岸邸



【出典】御殿場市観光協会ホームページ

- ・ 一年中、すがすがしく散策
できる
- ・ 近くの東山湖では釣りも楽
しめる

新橋浅間神社



【出典】御殿場市観光協会ホームページ

- ・ 富士山の神様が祭られており、
富士山の伏流水である「木の
花名水」も楽しめる

秩父宮邸



【出典】御殿場市ホームページ

- ・ 自然豊かなところ

中央青少年交流の家(その他)



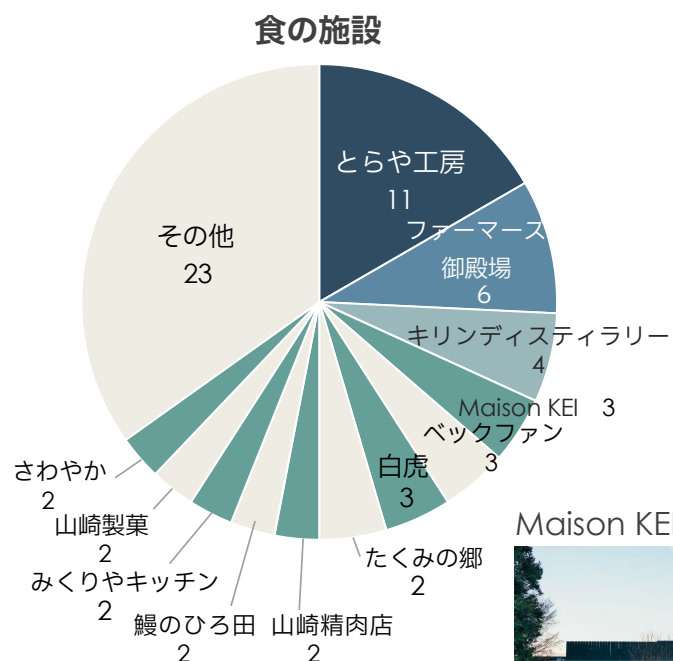
【出典】国立中央青少年交流の家ホームページ

- ・ 日本初の国立青少年教育施設

■ アンケート結果：Q5 分野別集計（食の施設・魅力）

スイーツ系（パン、和菓子、洋菓子）やラーメン、ハンバーグなどが多く挙げられていました。御殿場らしい魅力として県外から訪れる場所も多く回答がありました。地場産のものを扱う店舗が多く挙げられています。

御殿場市の魅力・おすすめスポット分野別一覧（食の施設）



とらや工房



【出典】御殿場市観光協会ホームページ

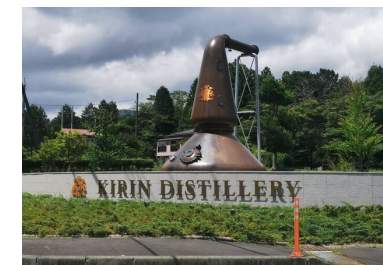
- ・ 自然豊かな癒しの空間で和菓子を楽しめる
- ・ 味がとてもおいしい

ファーマーズ御殿場



- ・ 御殿場市の旬で新鮮な野菜がそろっている

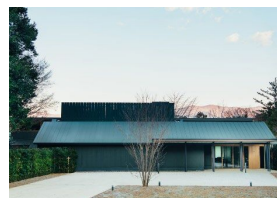
キリンディスティラリー



【出典】キリンホームページ

- ・ 地元産のウィスキーを楽しめる

Maison KEI



【出典】Maison KEI ホームページ

- ・ 御殿場に今までなかった空間
- ・ 本格フレンチが楽しめる

バックファン



【出典】ブランジェ バックファン ホームページ

- ・ 塩あんバターロールとカレーパンがとてもおいしい
- ・ 県外からも買いに来る人がいる

白虎



【出典】つけ麺白虎ホームページ

- ・ とてもおいしい
- ・ いつも賑わっている

山崎精肉店



【出典】山崎精肉店ホームページ

- ・ 希少な金華豚を取り扱っている
- ・ ハムソーセージだけでなく、馬刺し、揚げ物もおいしい

(3) 観光客を対象としたアンケート

■ アンケート概要

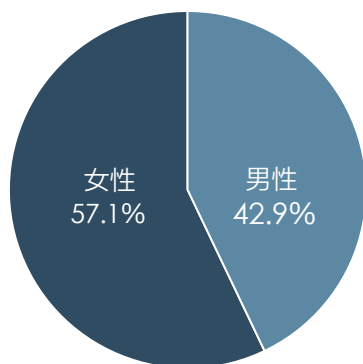
- 目的** : 沿道利便施設コンセプト検討のための導入機能に関する意見収集
- 対象者** : 時之栖、富士山樹空の森、御殿場プレミアム・アウトレット訪問客
- 実施手法** : 調査員による観光客への対面アンケート
- 実施期間** : 時之栖：2024年12月7日 13：00～22：00、 富士山樹空の森：2024年12月7日 11：00～18：30、
御殿場プレミアム・アウトレット：2024年12月8日 11：00～18：00
- 収集サンプル数** : 564サンプル
(時之栖：120サンプル + 富士山樹空の森：120サンプル + 御殿場プレミアム・アウトレット：324サンプル)
- 設問内容** : ◆あなた自身についてお聞きします。
- Q1 性別について教えてください。
 - Q2 年齢について教えてください。
 - Q3 お住まいについて教えてください。
 - Q4 家族構成について教えてください。
- ◆沿道利便施設に求める機能についてお聞きします。
- Q5 沿道利便施設のコンセプト（案）のような場所を利用したいと感じますか。
また、その他どのような施設が利用したいかについてアイデアや、コンセプト案について意見等があればお答えください。
 - ※Q6 沿道利便施設にどのような機能があるとよいと思いますか。（24個の選択肢から5個以内で回答）
 - Q7 その他、本取り組みにご意見があればお願いします。（自由回答）

※本編に結果を掲載しています。

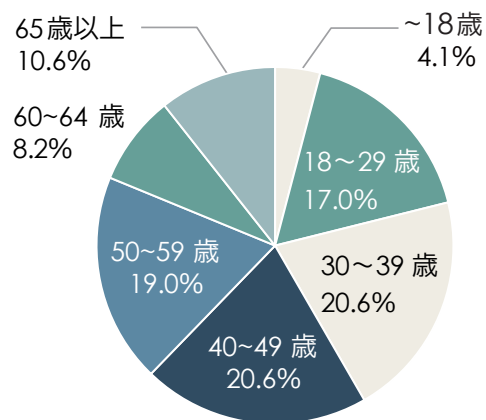
■ アンケート結果：Q1～Q4 性別・年齢・お住まい・家族構成

男女比、年齢共にバランスよく回答を収集しました。家族構成は子供の家族が多くみられました。回答者の住所は市外からの観光客が多く占めた結果となりました。

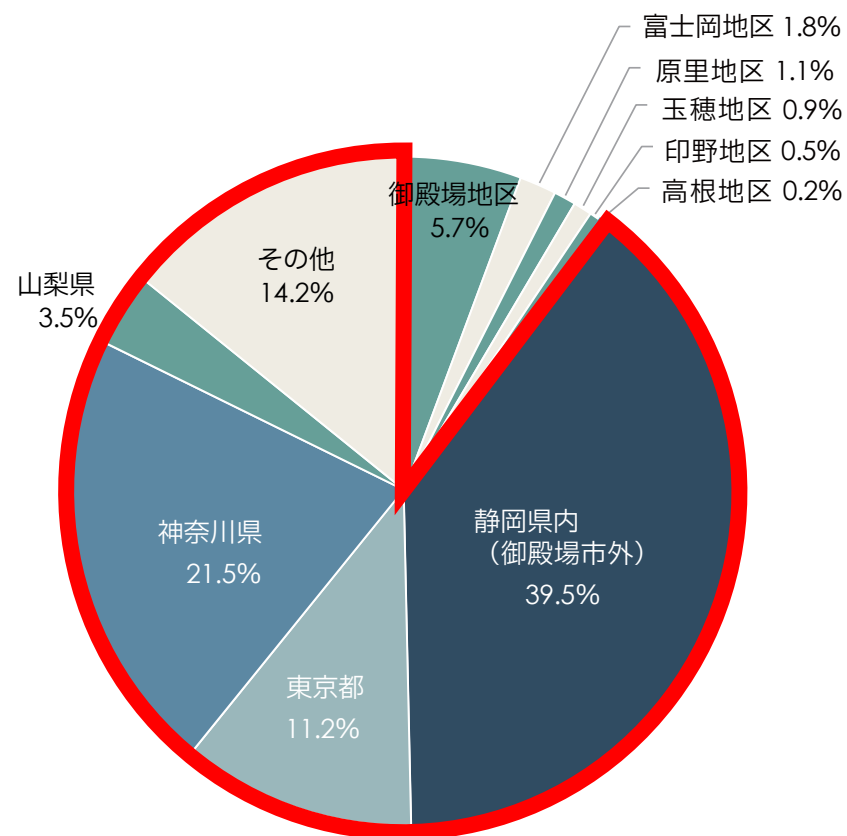
Q1 回答者性別割合



Q2 回答者年齢別割合

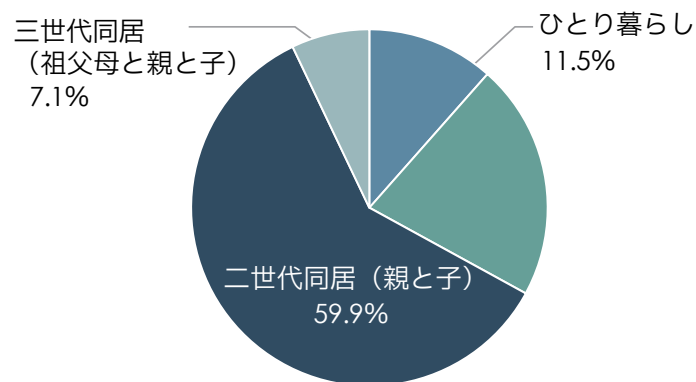


Q3 回答者住所別割合



県内(御殿場市外)及び首都圏：89.8%

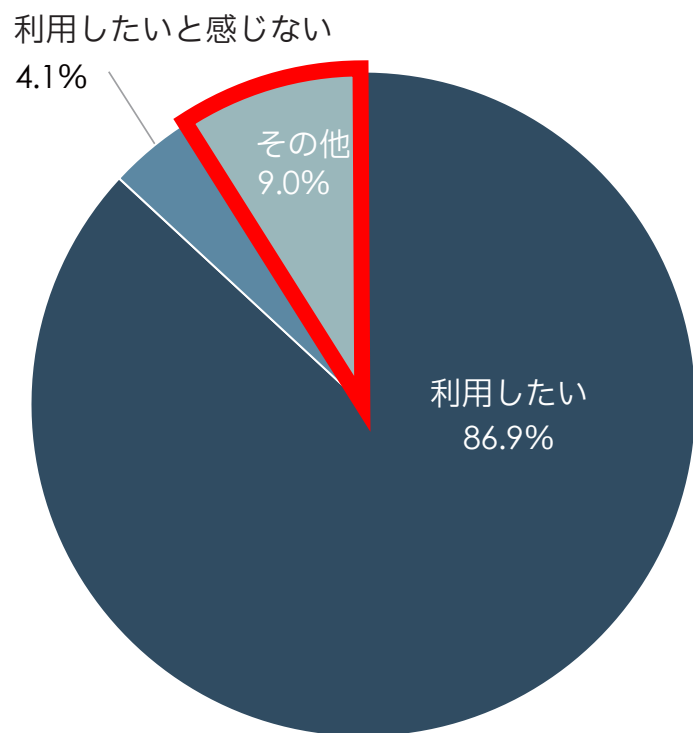
Q4 回答者家族構成



■ アンケート結果：Q5 沿道利便施設のコンセプト（案）のような場所を利用したいと感じますか。

沿道利便施設のコンセプト（案）のような場所を利用したいという回答が約87%を占めています。自由回答では、地場産品の購入と子供の楽しめる場所に関連した回答が多くみられました。また、“水”に関連した回答もありました。

自由回答：【その他(9.0%)】



農産物やお土産の購入

- ・ 特産物を買えるお店がほしい
- ・ 名産の飲食店があると良い
- ・ 産直のような新鮮な食材が手に入る場所
- ・ おいしい水を使った料理があると良い
- ・ 米を使った特産品がほしい

子どもの楽しめる場所

- ・ 子どもの遊び場
- ・ キャンプや水あそびができるとよい
- ・ 子どもが体を動かせる場所
- ・ 冬でも水が感じられる場所
- ・ ファミリーが楽しくすごせる場所

温浴施設

- ・ 温泉（足湯）があれば良いと思う
- ・ 温泉施設があると良い、くつろげる施設が良い
- ・ 富士の水を利用した露天風呂施設

交通関係

- ・ RVパークがあるとよい
- ・ シャトルバスや広い駐車場があるとよい

ペットと過ごせる場所

- ・ 動物も一緒に過ごせる施設
- ・ ペットや家族とお散歩できるコース。

イベント・情報発信

- ・ イベント実施が集客につながると感じる
- ・ ハブ的な特性を生かした情報発信の拠点

その他施設

- ・ 自衛隊の車輛展示
- ・ 美術館がほしい
- ・ 富士山が見える場所

その他意見

- ・ 動線上にあれば利用したい
- ・ 水の流れに着目したプロジェクトは面白い

■アンケート結果：Q7 自由回答

収集した63件の自由回答意見について、AIでの文章要約・ワードクラウド作成によって以下のまとめを作成しました。

沿道利便施設に対しての多様な要望がありました。

具体的には、

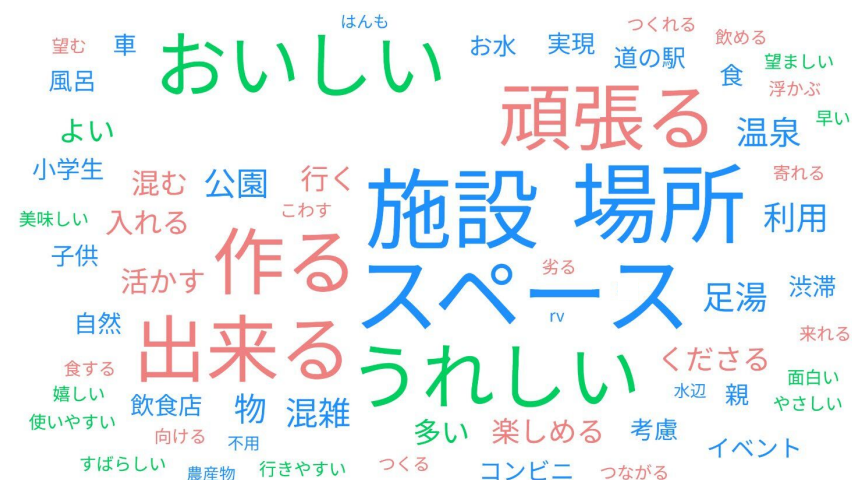
- ・キャンプや散歩、ヨガ、釣りができる自然を感じられる場所
- ・親子で楽しめる遊具や授乳スペースなどを備えた施設
- ・温泉や足湯などの温浴施設の設置

の回答が多く見られました。

さらに地域活性化を促進するための飲食店や特産品販売の施設、地元の農業や富士山の景観などの地域資源を活かした場所にしたいという希望が見受けられました。ほかには、RVパークやイルミネーション、空飛ぶ車のデモイベントといったこの場所ならではの革新的な施設やイベントのニーズも見受けられました。

一方で、課題となっている交通渋滞を考慮した設計や駐車スペースの確保が求められ、市民が手軽に訪れて楽しめる場所としてほしいとの期待が込められています。

完成度の高い施設として、早期の実現を期待している意見が多く寄せられています。



☒ 名詞
 ☒ 動詞
 ☒ 形容詞

ユーザーローカルAIテキストマイニングによる分析
(<https://textmining.userlocal.jp/>)

(4) 市民アンケート

■ アンケート概要

目的 : 沿道利便施設コンセプト検討のための導入機能に関する意見収集

対象者 : 御殿場市民

実施手法 : LoGoフォーム(御殿場市HP、SNS、1/20号の広報紙に案内を掲載)

実施期間 : 2024年1月10日 ~ 2月3日

収集サンプル数 : 79サンプル

設問内容 : ◆あなた自身についてお聞きします。

Q1 性別について教えてください。

Q2 年齢について教えてください。

Q3 お住まいについて教えてください。

Q4 家族構成について教えてください。

◆沿道利便施設に求める機能についてお聞きします。

Q5 沿道利便施設のコンセプト(案)のような場所を利用したいと感じますか。

また、その他どのような施設が利用したいかについてアイデアや、コンセプト案について意見等があればお答えください。

※Q6 沿道利便施設にどのような機能があるとよいと思いますか。(24個の選択肢より5個選択)

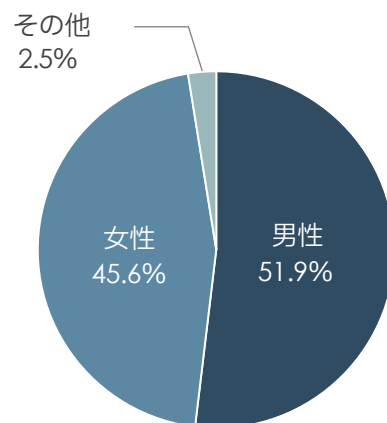
Q7 その他、本取り組みにご意見があればお願いします。(自由回答)

※本編に結果を掲載しています。

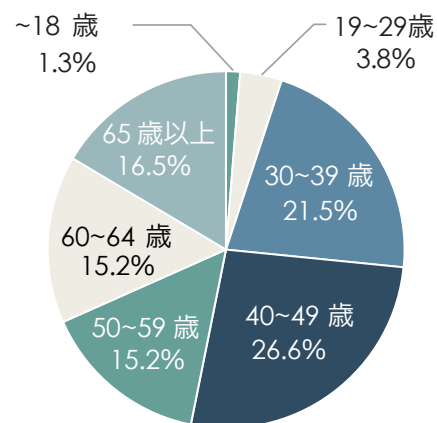
■ アンケート結果：Q1～Q4 性別・年齢・住まい・家族構成

男女比、年齢共、回答者家族にバランスよく回答を収集しました。

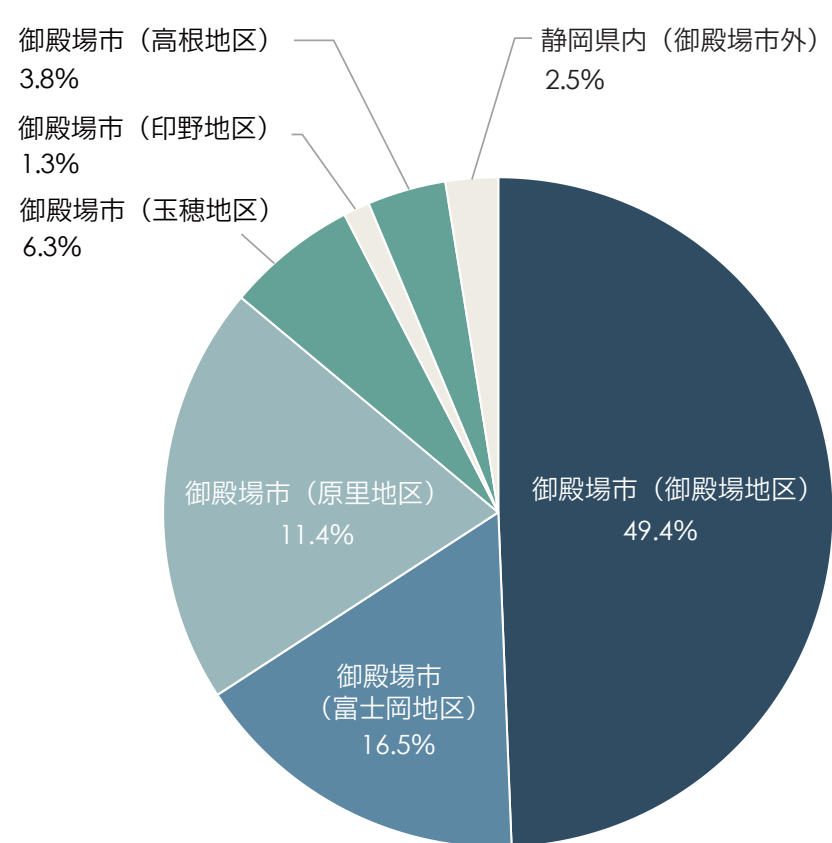
Q1 回答者性別割合



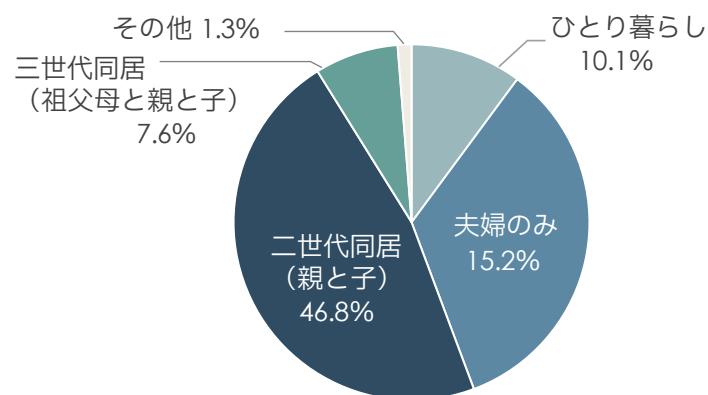
Q2 回答者年齢別割合



Q3 回答者住所別割合



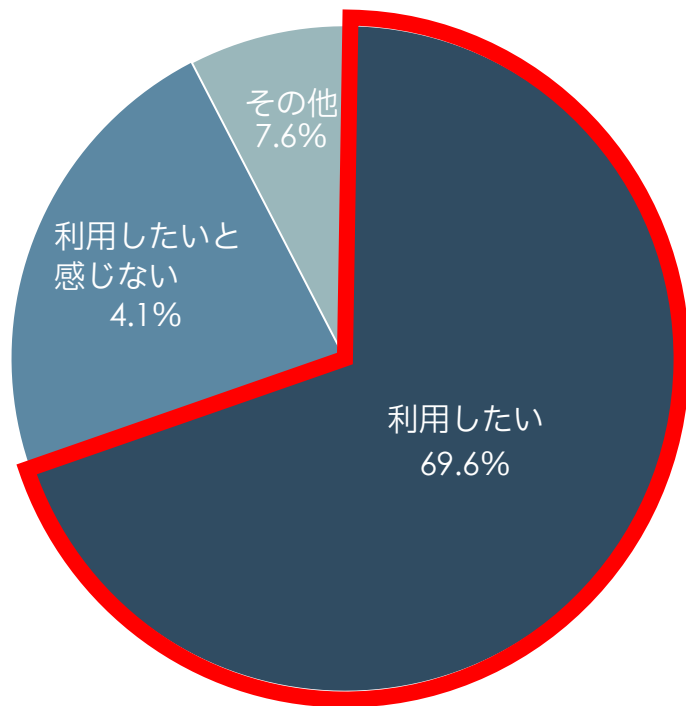
Q4 回答者家族構成



■ アンケート結果：Q5 沿道利便施設のコンセプト（案）のような場所を利用したいと感じますか。

沿道利便施設のコンセプト（案）のような場所を利用したいという回答が約70%となりました。『利用したい』と回答した方の自由回答では、地場産品の購入、子供の楽しめる場所に関する回答が多くみられました。さらに実際の“水”を利用した空間に対しての要望も多く見られました。

自由回答：【利用したい(69.6%)】



景観・環境 について

- ・富士山の裾野迄見える見晴台
- ・富士山を借景にした御殿場らしい空間
- ・品質、算出量ともに日本最高である「茅」を利用した、茅葺屋根の建物

地元特産品・農産品 について

- ・地元の農産物などの商品の購入
- ・直売所
- ・特産物などを味わえる場所
- ・農業体験などで収穫ができる場所
- ・御殿場産ジビエが楽しめる場所

施設・設備 について

- ・観光客だけでなく地元住民が日常使いでき楽しめる施設
- ・障がい者も参加できる雇用形態
- ・イベントスペース(広場)
- ・温泉施設
- ・RVパーク
- ・防災拠点
- ・周囲の交通環境を示す案内板

水 について

- ・水の流れを再現してほしい
- ・美味しい湧水を利用した遊び・楽しめる場所
- ・水汲み場（道の駅ふじよしだのような）
- ・御殿場の水や食材を利用したパン屋さん
- ・水車、水車を回して何かをつくる

子供の学習・遊び について

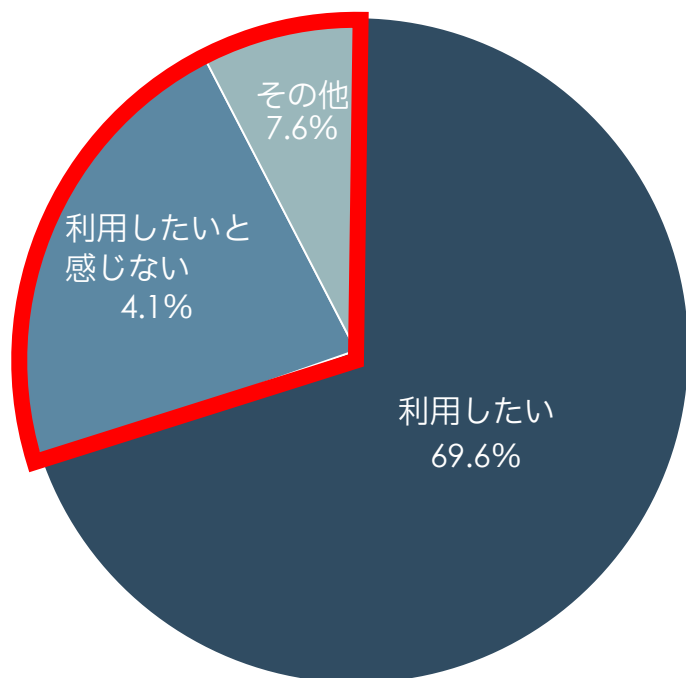
- ・子供の遊べる公園のような場所
- ・雨天でも遊べる室内の遊び場やアスレチック場
- ・小学校高学年~高校生の子供だけで遊べる場所
- ・子供の勉強場所(Wi-Fi機能付き)

ペット について

- ・ドッグラン
- ・ペットと室内で食事など楽しめる場所

『利用したいと感じない』と回答した方の自由回答では、山のイメージをより強く感じる、御殿場以外にも水がおいしい地域があると感じる、抽象的である、交通渋滞の促進といった意見がみられました。

自由回答：【利用したいと感じない(4.1%)】



コンセプト・機能 について

- 山のイメージをより強く感じる
- 米や茅などの風土、歴史、特産品をPRできる施設にしてもらいたい
- 自衛隊の駐屯地をアピールしてもらいたい
- 水以外にさらに強く御殿場をイメージせるものを活かしてもらいたい

施設・設備 について

- 綺麗なトイレ
- 外国人観光客向けの観光案内所
- 大型リゾートホテル
- 映画館

不安・懸念点 について

- 交通渋滞の促進
- 将来の人口減少に対応できる施設が欲しい

自由回答：【その他(7.6%)】

コンセプト について

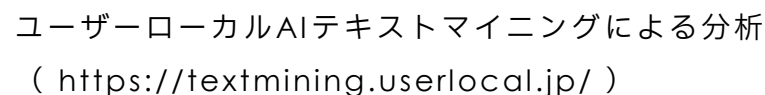
- 御殿場以外にも水がおいしい地域があると感じる
- 抽象的である

施設・設備 について

- 温泉施設
- 豪華なトイレ
- 登山用具販売コーナー
- 空飛ぶ車を活用したエアベース
- 美術館等のアートに触れられる施設

収集した42件の自由回答意見について、AIでの文章要約・ワードクラウド作成によって以下のまとめを作成しました。

特に、他施設との差別化と地域固有の特徴を活かした施設に向けた調査や計画の再検討を望む声が多く、市の新しいイメージ創出とシビックプライド向上が求められています。



8.2 企業・団体ニーズ調査結果（詳細）

（1）アンケート調査

■ アンケート概要

対象者 : 御殿場市内外の企業・団体

御殿場市内外で公共施設整備+運営管理者または運営管理者としての実績のある企業・団体
想定される導入機能に関連する店舗等の運営実績のある企業・団体
関連施設へのアドバイザリー・コンサルティング実績のある企業・団体 など

実施手法 : 郵送またはMicrosoft Formsを使用したwebアンケート

実施期間 : 2024年11月25日 ~ 12月25日

収集サンプル数 : 105サンプル

設問内容 : Q1 計画地の魅力度（地区のポテンシャルの有無等）とその理由を教えてください。

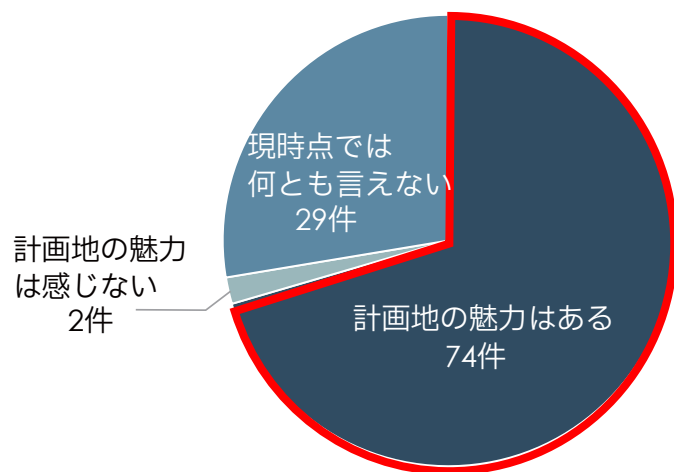
Q2 コンセプト（案）への魅力度とその理由を教えてください。

※ Q3 貴社が御殿場市沿道利便施設の事業に参画する場合、どのような関わり方が想定されるかを教えてください。

Q4 その他、自由にご意見・ご要望等を記載してください。

※本編に結果を掲載しています。

■ アンケート結果：Q1 計画地の魅力度（地区のポテンシャルの有無等）とその理由を教えてください。



魅力はある(74件)

周辺観光施設・観光客

- ・ 近隣に観光資源が豊富で、一年を通じて閑散期をあまり想像させない立地である
- ・ とらや工房、東山旧岸邸、ゴルフ場などの観光施設からのアクセスが良い
- ・ アウトレットに近いので回遊と誘客が見込める
- ・ 周辺に富士山、富士五湖、御殿場PO、芦ノ湖、箱根、沼津港、伊豆等の観光地が豊富で富士観光のメインストリートであるR138に面する
- ・ 観光客、インバウンド、地元利用者など集客の見込める立地である
- ・ 観光客にわかりやすい場所である
- ・ 主目的だけでなく、観光の行き帰りの立ち寄りスポットとしても機能するため

交通・アクセス性

- ・ 東名、新東名高速の御殿場、新御殿場ICの至近にある
- ・ メイン国道と高速道路が交差し、それぞれの方向に観光要素が存在する交通の要衝である
- ・ 山梨と箱根の県境で観光ハブ都市である
- ・ 道路幅も広いので利便性の高い立地である
- ・ 関東圏、東海圏からの利便性が高い
- ・ 都心から日帰り可能な至近の距離に位置する
- ・ 鉄道駅（御殿場）からも徒歩可能圏である
- ・ 周辺は居住市街地エリアであり、地元市民利用や参加促進の可能性が期待される

魅力はある(74件)

交通・アクセス性

- 市の中心市街地も近く、市内および周辺自治体からのアクセスも良好である
- 東田中エリアで多くの市民が来るところ
- 週末、連休以外は渋滞がない場所である

富士山・景観・自然環境

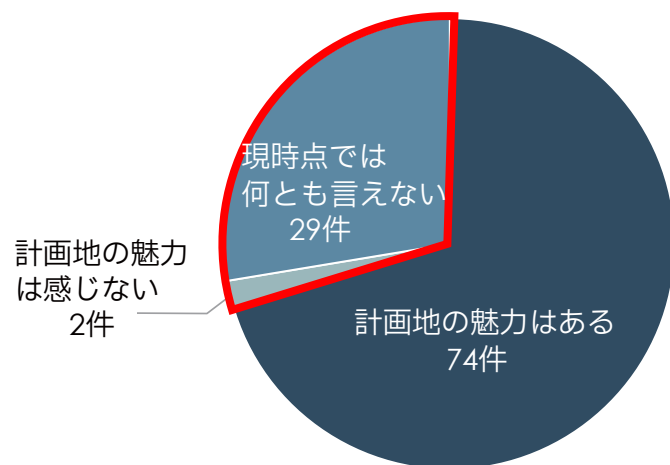
- 富士山の眺望がすばらしい
- 自然を活かした空間の開発が進み魅力が高いエリア
- 自然の資源が豊富
- 計画地の北側に田が広がり、自然を感じられ開放感がある

コンセプト

- コンセプトがこの富士の麓の地域とマッチしていると感じる

その他

- 4 haあり様々なコンテンツを導入した複合開発が可能である
- 大型観光施設はあるが、御殿場の地場産の魅力を発信する施設が少なく国道沿いに、地場産の農産物や御土産が充実した道の駅的施設がある
とよい
- 御殿場駅から富士山側は、発展していると言いがたく雇用が増える事を期待する
- 積雪時の大型車等車両待機場所として活用出来るロケーションである



魅力は感じない(2件)・現時点では何とも言えない(29件)

交通・アクセス性（魅力は感じない）

- ・ 休日など特に混雑が予想される
- ・ 駅前の市街地から遠いので経済効果はアウトレットと同様に目的地のみに限定されると思われる

交通・アクセス性（現時点では何とも言えない）

- ・ 足柄SAのすぐそばであることから、遠方から来た人々にとっては通過地点となりやすい場所であると思われる
- ・ 国道138号沿いではあるがアウトレット帰りの方には裏の方からの抜け道を使わないとこちら側の車道に出れないのと、山梨（山中湖等）からの帰りの方にしか利用されないかもしれない立地であると感じる
- ・ 国道側では、高速道路のインターが上りしかないため、下りを利用するお客様は利用しづらい
- ・ 山梨方面からの車は新御殿場ICを将来利用するのではないかと心配
- ・ 交通量が心配
- ・ 進入経路の検討が必要
- ・ 現時点で新東名の車の利用台数が増加している。新東名が厚木までの開通した場合、車の流れはさらに変化されると思われることから現在の計画地について疑問も生ずる

魅力は感じない(2件)・現時点では何とも言えない(29件)**周辺施設（現時点では何とも言えない）**

- ・マーケットポテンシャルはありますが、隣接するマーケットの既存店舗とのバランスを調査する必要がある
- ・アウトレットが中心で他施設に買い回らないのではないか
- ・計画地の立地はいいが、近接する観光施設と差別化できるかが魅力度のポイントとなる

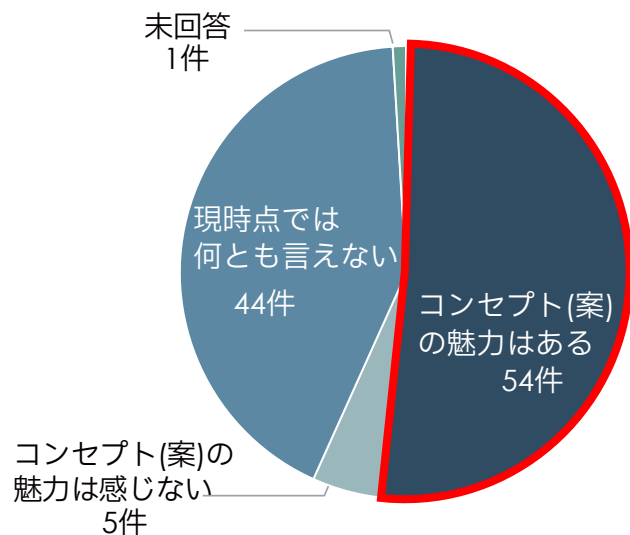
周辺観光施設・観光集客（現時点では何とも言えない）

- ・人口密集地に遠くない場所であることから、市内及び近市からは日常的な利用を、遠方からは合宿や遠征での立ち寄りが期待できるような施設機能を持たせられればにぎわう施設になる可能性もある
- ・アウトレット以外にパッと思いつく目的地が他にない

その他（現時点では何とも言えない）

- ・施設の整備や運営スキームが未定
- ・現時点での計画の面積は少ない気がする
- ・立地による混雑は近隣住人への影響が心配される

■ アンケート結果：Q2 コンセプト（案）への魅力度とその理由を教えてください。



魅力はある(54件)

御殿場市の水の魅力への共感

- ・「水」をメインとしていることが良く、現物の水が展示、体験、販売され販促に活かされると良いと考える
- ・富士山と水のすばらしさを、これらを未来につなげてくコンセプトは、SDGs等の現代社会に求められる課題に合致している
- ・セルフうどんを検討したく、おいしいうどんづくりに欠かせない水はコンセプト案と相性が良いと感じた
- ・富士山の水の恵みをコンセプトとした街づくりは、県外の方に好まれると感じる
- ・当該エリアの地場の魅力から派生した水のコンセプトはわかりやすい
- ・富士山麓を源泉とし国内有数の「美味しい水」であり、当該地の特徴を十分に発揮できるコンテンツである
- ・富士山の伏流水を活用した自然の恵や製品の生産なども含め、違和感なく賛同できる
- ・御殿場は水がきれい、かつ豊富で、「ごてんば水麗プレイス」というコンセプトはぴったりだと思う
- ・富士山麓の水資源を活かしたコンセプトは、イメージが広がりやすく、共感しやすい

機能・施設について

- ・コンセプトは大変よく、御殿場市に無い新たな企画をして欲しい
- ・魅力ある店等の施設が必要

魅力はある(54件)

機能・施設について

- 日本や世界を代表する富士山を望む地に施設を建設する事には、大きな夢と責任があり、すべての日本人が”ふるさと”を実感するような場所、世界の人々が平和の素晴らしさを感じられる場所にしてほしい
- 水の恵みや SPORTS TOWN など、御殿場にとって欠かすことの出来ない要素だが、近隣でも謳っている要素のため他のエリアと差別化できる要素も必要である
- 御殿場は、お米の評価、わさびの評価、茅の生産、等の農産物に加え、スイーツやパンといった重要な集客要素を持つキラーコンテンツでも日本一に輝いているため、プランに盛り込んだほうが、施設及び御殿場の活性化に繋がると思う
- 御殿場には名産の御殿場コシヒカリをはじめ、みくりやそば、新鮮な農産物、ハムなど観光客にとって魅力的なお土産が豊富である。しかし現状ではそれらの名産品を観光客相手に全くアピールできていないため、道の駅のように地域の魅力を発信できる場があると、より多くの観光客に御殿場の魅力を周知できる
- 具体的な機能（例えば飲食や体験型施設など）がもう少し明確になってくれば、さらに魅力的になると感じた
- 「水」というコンセプトを魅力のある具体的な場になるように計画してほしい
- 御殿場の文化紹介する場所があると良い

地域とのつながり

- 地域との連携の可能性を感じる
- 県外の方に向けても良いコンセプトだが、地元民の使いやすい施設になると更に良いと思う
- 御殿場の水というところに着目し、新たな御殿場としての需要を生み出すとともに、地域との連携、子どもの遊び場などの創出を実現できる
- 地域にあった内容である

魅力はある(54件)

地域とのつながり

- 開発をする際には水資源を守ることの重要性も意識し、環境面に配慮した施設計画が必須かと思われる（高耐久な木造、地熱利用等）
- 「コミュニティづくり」を重視した点は、弊社のエリアマネジメントの考え方に共通する方向性であると感じる

事業計画への魅力

- 具体的に何を計画するかによるが、アプローチは悪くないと感じる
- 多種多様な人々が交流できる拠点ができることは御殿場市の活性化にも寄与すると思う
- 色々な面で利便性を感じ楽しさも感じられそうである
- 水の動きを統一テーマに据えたコンテンツ開発は面白いかと思います
- 富士山と自然を活かした体験、地場産マルシェの活用の魅力を感じる

コンセプトキーワード

- 富士山の湧き水を彷彿とさせる水麓という言葉に魅力を感じた
- コンセプトは魅力があるが、具体的なイメージを伝えきれていない気がする。自然を生かした中で「憩」「遊び」「食」「お土産」より明確に伝えたい
- 御殿場＝水のイメージが定着するかが重要
- コンセプトの魅力はありながら、内容やサービス、体験など他の施設との優位性や「行きたくなる理由」があればもっと良いかと思う
- 水の動きに着目した五つの設備検討案はわかりやすく、具体的に実現すれば魅力度は高いと思う
- もっとわかりやすく富士の麓を前面に出すべきだと思う
- 水というキーワードはいいと思う

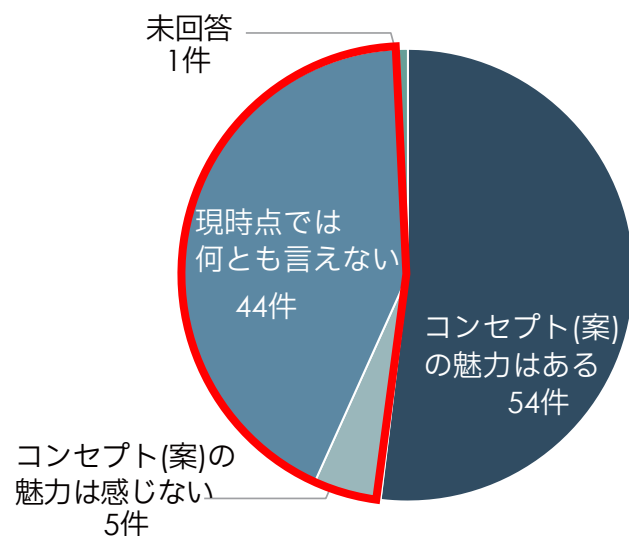
魅力はある(54件)

コンセプトキーワード

- 水麓という言葉が、きれいな水や空気、そこでの食事の美味しさなど、健康的でリラックスできる空間施設となることが感じられる
- わきでる、ながれる、ゆらめく、うるおう、しみこむといったキーワードから、そこは、単なる商業的観光施設と異なり、大自然の恵みを感じられる施設であり、創造と交流を育み、地域社会の発展に寄与できる施設なる可能性を感じる
- 「富士山と水」というコンセプトは未来に対して大切なポイントだと思います。そのコンセプトを中心にして広げていけば、多くの方々の共感を得られると思う
- 「水」をテーマにしたコンセプトと5つのキーワードは、地域の特徴が反映され、地域資源を活かしながら地域と外部の交流を生む視点が良いと感じる
- 水という大キーワードと、そこから派生する5つのキーワードに紐づく体験がわかりやすかった

その他

- 観光ハブになるから
- 御殿場市に食についてもっと多く提供出来ればと考えます
- 御殿場の農作物にとっても可能性を感じる（米、水かけ菜、水）。その他、魅力的な加工食品やアルコールなど
- 場所と広さ



魅力は感じない(5件)・現時点では何とも言えない(44件)

抽象度の高さ（魅力は感じない）

- 抽象度が高すぎてよく分からない

『水』と御殿場市の繋がり（魅力は感じない）

- 「水」の価値を想起させる場所、ファクトが少ないと思う
- 山梨の忍野八海の湧水や、富士山の源流が現地にある訳ではない

抽象度の高さ（現時点では何とも言えない）

- 計画図やテナント構成、行政との協業が見えてきた後、より具体的な状態で検討したい
- 具体的な事が書かれていないので何とも言えない
- イメージのみだとターゲットや規模などの細かい部分がイメージしにくい
- コンセプトはよいと思うが、それを実現するための具体策がないため判断し難い
- どのような物になるか具体的な構想が見えていない
- 沿道利便施設を利用する顧客属性をどのように設定するか、どのような価値や機能を提供するのが最適か、平日休日 時間帯ごとにどのような利用シーンをつくるかによって、最適なコンセプトは変化する

魅力は感じない(5件)・現時点では何とも言えない(44件)**『水』と御殿場市の繋がり（現時点では何とも言えない）**

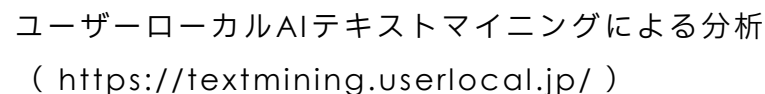
- 「水麓＝湧水が豊富に沸く場所」という感覚が強く、湧水に関して圧倒的に強い周囲の観光地がある上で、敷地にそのような場所がない
- 御殿場が水の街というイメージがない

コンセプトキーワード（現時点では何とも言えない）

- 広義で様々な要素につなげやすいワードの方が様々なコンテンツ導入や業態誘致の可能性を拡げやすいと感じた
- コンセプトをキーとして提案を作成していくのは中々難しいと感じた

収集した46件の自由回答意見について、AIでの文章要約・ワードクラウド作成によって以下のまとめを作成しました。

建設には地元の工事業者を活用し、将来的な施設の拡大を視野に入れた計画が必要で、具体的なマスタープラン提示が期待されています。



(2) ヒアリング調査

企業・団体へのヒアリングで得られた意見を示します。

計画地の魅力・ポテンシャル について

- ・ 立地的にはとても良い。アウトレットの休憩場所や帰路の経由先になるのではないかな。
- ・ 地元住民以外に観光客を引き込むことが可能である。整備予定地を起点としてバスなどで富士山や伊豆方面への観光も可能であり、アクティビティ拠点としても魅力的である。
- ・ かつて交通の要衝と呼ばれた歴史からもわかるように、交通量という点で魅力的である。多くの観光流入者数もありポテンシャルがある。
- ・ 御殿場IC が近く、広域で集客できると感じたため利便性が高い。
- ・ 国道138号は観光動線であり、周辺にアウトレットもあり文句のない動線である。アウトレットに何十台ものインバウンド向けのバスが来ることを考えると、インバウンドも含めて魅力的な立地といえる。
- ・ 外国人客は富士山を好む傾向があり、アウトレットもあるので客を引き込みやすい。現在、外国人客の富士山登山の入口は富士吉田となっているが、御殿場がインバウンドのゲートになるポテンシャルはある。
- ・ 観光客誘致の面で地理的ポテンシャルがある。富士山新5 合目は1,440m で低いため、御殿場口だけは常に開放され、交通規制がなく訪れやすいためツアーを組むことなども可能である。

コンセプト策定の考え方 について

- ・ 誰に対してどんな価値を提供したいかを起点にしたコンセプトではないと感じている。まちに密着した場づくりをしていく中で、具体的な対象者のイメージのもと、どのような場所であってほしいなどの思いが重要である。
- ・ 客層とするターゲットに対してしっかり誘客できるコンセプト、想起しやすいキーワードで深度化させることが大事である。

御殿場の水に着目したコンセプト について

- ・ 水をテーマに色々な産物などを話せるようにしておく、とても魅力的な場所になると感じる。
- ・ 実際の水を使うこと以外に、周辺の水に関する施設や水を感じられる場所を巡る拠点という考え方もできる。
- ・ 御殿場の水を活かした様々なメーカーや種類のお酒が生産されているだけでなく、蛇口から富士山の天然水が飲むことはできるのはこの周辺だと御殿場しかない。
- ・ 水というキーワードに対して、具体的にどのようなコンテンツを提案してコンセプトとして魅力あるものにしていくかが重要である。
- ・ 観光客を期待する場合は「日本一の〇〇水」のような分かりやすさも必要ではないかな。
- ・ 市内を流れる水のイメージという印象は低い。御殿場の水の価値を再認識させることも重要である。
- ・ 周辺の忍野や富士吉田との差別化が重要であると感じる。他地域と差別化するために水を使った農産物や農作物等と絡めるといいと考える。
- ・ 御殿場には有名な川や滝がなく、水はイメージしづらいと感じた。山梨には忍野八海があり、三島には東洋一といわれる柿田川がある。
- ・ 近隣地域に観光資源として水をイメージしやすい三島などがある中で、御殿場＝水の裏付けが薄い。

交通・駐車場・アウトレットとの連携 について

- ・ オーバーツーリズム問題に対処するためにどれだけ回遊させるかは重要である。
- ・ インバウンドはシャトルバスを取り込めば可能性があると思う。外国人客は車がないと誘客が難しいため、シャトルバスの運行整備は重要である。
- ・ 最も重視すべきはアウトレット客を取り込むこと。御殿場ICを使う人にハブ的に使ってもらうのが良いと思う。
- ・ アウトレット周辺で地元野菜を購入できる場所がない。
- ・ アウトレットとは交通面を含めて連携が必要不可欠であり、お互いに相乗効果があると考えている。現在の御殿場市での移動手段は車中心だが、歩行空間の充実により回遊性が広がることが重要である。
- ・ アウトレットに来るだけで疲れてしまう。疲れをとれるコンテンツは必要ではないか。
- ・ 駐車場、渋滞対策はしっかりしておく必要があると思う。駐車場は余分に整備したほうがよいだろう。
- ・ 駐車場が少ない印象である。一般車が計画地内を周回して各ゾーンにアクセスできる構内道路や駐車場を分散させても良いのではないか。

ゾーニング・導入機能の考え方 について

- ・ 買う行為だけでなく、コトが行われて場所や時間を過ごせるような滞在できるイメージが重要である。
- ・ 観光客をターゲットにするのであれば、イメージが乖離しているように感じる。「癒しのゾーン」も都会にあるからこそ意義がある。
- ・ とても広い敷地で様々なコンテンツがあることで、次回来た際にほかの場所を楽しみたいと思える。一度で沿道利便施設の全体を回りきらずに、リピーターを作るという視点も考えられる。
- ・ 東京～大阪間のインバウンド向け「ゴールデンルート」に組み込めると良い。

ゾーニング・導入機能のアイデア について

- ・ 「御殿場こだわり推奨品」を揃えて販売できるコーナーがあると良い。
- ・ 御殿場市の魅力として発信できるよう購入場所の整備が必要である。
- ・ バレルサウナやテントエリアは良いが、海や森に近い場所で既に多くの施設があり、平坦な計画地にポテンシャルがあるかわからない。
- ・ 観光農園の可能性はあるかもしれない。
- ・ 富士山登山の起点にする場合は宿泊機能があっても良いかもしれない。
- ・ 一つのテーマパークと捉えた宿泊施設も面白いと思う。
- ・ 音の問題はあるが、ライブ会場のニーズはあると思う。
- ・ ドッグランで水景がある場所は少なく、水を利用して犬が遊べるような場所があると一つのキラーコンテンツになる。
- ・ 水をテーマにすること、都心からの近さ、という点から、スパやエステなど、理美容のコンテンツが合うように感じた。
- ・ フィットネスなどスタジオ機能であれば地域からの集客もある。
- ・ 他事例で大規模な子どもの遊び場を整備し、多くの集客があると聞いている。車関連の施設ではニーズがあると思う。
- ・ 静岡県のおさび農家の衰退している現状の解決とポテンシャルを活かして、地域に密着した観光おさび田を作ってもよいのではないか。
- ・ 富士山樹空の森で春・夏・秋に三大太鼓まつりを開催しており、地域の文化活動発表会の場となっている。発表の場が定期イベントとして開催できると良いと思う。

事業スキーム について

- 基本設計の前までにある程度の事業体制や運営方針を決定し、建物の設計者と共にコミュニケーションが取れるとよりいい施設になる。
- DとB で切り離して指定管理や業務委託にするより、EOI のように設計に関われる方式の方が良い。ただ、PFI やDBO もしくは定期借地権制度なども考えるべきではないか。
- PFI であると民主導で行うため、防災拠点などの公共の部分が投資されない可能性がある。
- 施設は民でデザインから計画し、完成した際に公共が買い取り、その後に民が運営権を支払って運営していくBT コンセッション混合型は、公共団体にも優しく、運営団体もマネタイズできると考えている。
- 行政とリスク分担されることが望ましいと考える。自社のみがリスクをとるのではなく、地域のプレイヤーが少しずつリスクを取りながらつながりを作ってみることで成功するような事業スキームが良いと考えている。
- 施設規模が小さくて採算合いづらい道の駅であれば、指定管理料を出さないと運営事業者は手を挙げてくれないが、今回は立地がよいため、指定管理料なしとしても手が挙がるのではないかと。
- 沿道利便施設で生み出した利益の一部は観光振興や地域活性化に寄与できるようなスキームをつくってもらいたい。観光協会を中心としたDMO のような組織を組み込むなどして利益を地域に波及する仕組みを考えてもらいたい。

整備・運営計画 について

- 道の駅登録することで、テレビの道の駅特集に取り上げられたり、るるぶの特集に組まれたりメディアへの露出も大きく変わる。
- 大規模なので維持管理は大変だと思う。隅々まで人が入るような施設管理が必要である。
- 拡張計画も含め、将来計画まで見据えたゾーニングが必要である。
- 敷地が広いので、1 期2 期で分割整備として、まずは収益が取れるところを1 期で整備して、その後のニーズに合わせて2 期以降を整備することも考えられるのではないかと。
- 収益確保のための料金体系が地域性とマッチしない価格帯になる懸念もある。収益性とサービス対価のバランスを整えることもポイントである。集客したい場合は自治体側も一定の覚悟が必要である。
- 土日にイベントを開催したが、道の駅が繁盛しすぎてイベントに参加する人が駐車場に止められないという事象が生じるので、ある程度イベントの種別も方向性を検討しておいた方がよい。

8.3 沿道利便施設庁内検討委員会

■ 庁内検討委員会メンバー

委員長：

未来プロジェクト課長

委員：

管財課長、農林整備課長、商工振興課長、観光交流課長、
都市計画課長、道路河川課長、危機管理課長、企画課長、
財政課長、農政課長、建築住宅課長

■ 委員会の様子



■ 第1回 庁内検討委員会概要

日時：

令和6年11月20日（水）15：00～16：00

会場：

御殿場市役所 東館 201会議室

要旨：

- ・建設候補地の考え方について問題ないことを確認した。
- ・整備予定地を決定した。
- ・市役所職員・アウトレット従業員アンケート結果を確認し、水を中心とした御殿場市の魅力を確認した。
- ・「御殿場の水」に関連したコンセプト（案）にて、市民や観光客、企業・団体に対して、基本構想（案）としての意見収集を広く行うことを確認した。

■ 第2回 庁内検討委員会概要

日時：

令和7年3月18日（火）15：00～16：00

会場：

御殿場市役所 東館 206会議室

要旨：

- ・沿道利便施設基本構想（案）の内容を確認した。
- ・来年度以降の検討事項として、事業手法や都市計画上の位置づけ等の課題を確認した。
- ・今後の事業スケジュールについて、庁内各課が一体となって整理していくことを確認した。

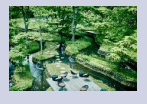
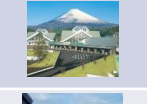
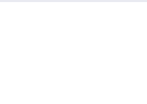
8.4 画像出典元リスト

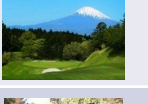
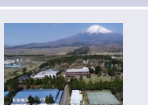
ページ 番号	使用した画像の 項目	画像	出典	URL
全般	ベースマップ		地理院地図 vector	
4	道の駅の基本コンセプト		国土交通省 ホームページ	https://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/outline.html
6	第2世代交付金		内閣府地方創 生推進事務局 ホームページ	https://www.chisou.go.jp/tiiki/kankyo/pdf/02_kouhukingaiyou.pdf
7	旅の駅 kawaguchiko base		旅の駅 kawaguchiko base ホーム ページ	https://www.kawaguchikobase.com/
	fumotto 南アルプス		fumotto 南ア ルプス ホーム ページ	https://fumotto.jp/
13	吾妻神社 御殿の記載ある西 田中村絵図		御殿場デジタ ル資料館 ホーム ページ	https://www.city.gotemba.lg.jp/museum/museum-cat-005/19.html
15ほか	御殿場コシヒカリ		静岡県ホーム ページ	https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norin/imusho/tobunorin/1004172/1033924.html
15	水かけ菜		静岡県ホーム ページ	https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norin/imusho/tobunorin/1004172/1033928.html
	わさび		静岡県ホーム ページ	https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/shokuseikatsu/kaju/1003330/1027385.html

ページ 番号	使用した画像の 項目	画像	出典	URL
15	鶏卵		御殿場市ホーム ページ	https://www.city.gotemba.lg.jp/appeal/pfurusatotax/%E3%81%95%E3%81%8F%E3%82%89%E7%8E%89%E5%AD%90_%E4%BA%94%E5%88%86%E5%92%B2%E3%81%8D_%EF%BC%93%EF%BC%90%E5%80%8B%E5%85%A5%E3%82%8A
16	御殿場こだわり推奨品		御殿場こだわ り推奨品ホーム ページ	https://kodawari.gotenba.jp/
16	御殿場ものづくりブランド		御殿場ものづ くりブランド ホームページ	https://www.gotemba.or.jp/gotemba-mb/
19	富士山御胎内清宏園 駒門風穴 秩父宮記念公園 富士八景の湯 木の花の湯 富士山樹空の森 春の馬遊び 御殿場プレミアム・ アウトレット 御殿場高原時之栖		御殿場市観光 ガイド「御殿 場日記」	https://www.city.gotemba.lg.jp/appeal/kanri/assets/uploads/2024/12/c1408c29fe1229ff752ed95938fc8abc.pdf
28	道の駅「湘南ちがさき」コンセプト画像		茅ヶ崎市ホーム ページ	https://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/machidukuri/1013542/index.html
29	道の駅・川の駅「伊豆 ゲートウェイ函南」		函南町ホーム ページ	https://www.town.kannami.shizuoka.jp/soshiki/1013/1/3/1/728.html

ページ 番号	使用した画像の 項目	画像	出典	URL
32	富士山		静岡県ホームページ	https://www.city.gotemba.lg.jp/appeal/appeal-1/26.html
	快適・冷涼な空気		静岡県ホームページ	https://www.city.gotemba.lg.jp/appeal/ij/%E5%AD%90%E8%82%B2%E3%81%A6
	国道138号		静岡県ホームページ	https://www.city.gotemba.lg.jp/gyousei/kanri/assets/uploads/2016/01/keikan1.pdf
	湧水 (沼田、二子)		御殿場市観光協会ホームページ	https://gotemba.jp/information/1439/
	富士山を含む広域の景観		静岡県ホームページ	https://www.pref.shizuoka.jp/sangyoshigoto/norinjimusho/tobunorin/1033918.html
33	御殿場の水		御殿場市ホームページ	https://www.city.gotemba.lg.jp/suido/%E3%81%8A%E5%AE%A2%E3%81%95%E3%81%BE/%E5%BE%A1%E6%AE%BF%E5%A0%B4%E3%81%AE%E6%B0%B4%E8%B3%AA
	ハム		御殿場市ホームページ	https://www.city.gotemba.lg.jp/appeal/pfurusatotax/%E5%BE%A1%E6%AE%BF%E5%A0%B4%E3%83%8F%E3%83%A0%E3%82%BB%E3%83%83%E3%83%88%EF%BC%88%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%83%8F%E3%83%A0%E3%83%BB%E3%83%99%E3%83%BC%E3%82%B3%E3%83%B3%E3%83%BB%E7%84%BC%E3%81%8D/

ページ 番号	使用した画像の 項目	画像	出典	URL
33	わさび		静岡県ホームページ	https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/shokuseikatsu/kaju/1003330/1027385.html
	地酒		ハローナビ静岡Blogホームページ (静岡県観光公式サイト)	https://shizuoka.hellonavi.jp/craftbeer
	水菜の漬物		小山町観光協会ホームページ	http://kanko-oyama.jp/info/3614/
	馬刺し		山崎精肉店ホームページ	https://www.kinkaton.co.jp/ecorder/%e5%85%83%e7%a5%96%e7%89%b9%e9%81%b8%e9%a6%ac%e3%81%95%e3%81%97
37	基本理念 「ゆらめく」		軽井沢観光協会ホームページ	https://karuizawa-kankokyokai.jp/spot/1398/
45ほか	整備予定地周辺航空写真 整備予定地と富士山の位置関係		地理院地図vector	
48	整備予定地周辺への交通アクセス		御殿場市ホームページ	https://www.city.gotemba.lg.jp/appeal/iju
53	多目的芝生広場		fumotto 南アルプス ホームページ	https://fumotto.jp/event/250320_minami-alps-fes/

ページ 番号	使用した画像の 項目	画像	出典	URL
53	交通と情報発信の 拠点		奥三河観光 協議会ホーム ページ	https://www.okuminavi.jp/search/detail.php?id=1016
			三菱地所設計 ホームページ	https://www.mjd.co.jp/projects/58773/
	樹林を生かした場 づくり		軽井沢観光協 会ホームペー ジ	https://karuizawa-kankokyokai.jp/spot/1398/
82	アウトレット		静岡県ホーム ページ	https://www.pref.shizuoka.jp/kurashikankyo/1002406/1002408/1002441/1013337.html
	御胎内温泉		御殿場市観光 協会ホーム ページ	https://gotemba.jp/information/1118/
	木の花の湯		御殿場市観光 協会ホーム ページ	https://gotemba.jp/information/1109/
	御殿場駅		御殿場市ホーム ページ	https://www.city.gotemba.lg.jp/appeal/appeal-7/appeal-7-2/821.html
	足柄SA		ETC総合情報 ポータルサイ ト	https://www.go-etc.jp/gosmartic/120_ashigara/index.html
	時之栖		時之栖ホーム ページ	https://www.tokinosumika.com/howtospend/outdoor/
83	富士山樹空の森		御殿場市ホーム ページ	https://www.city.gotemba.lg.jp/appeal/category/appeal-1#jp-carousel-140

ページ 番号	使用した画像の 項目	画像	出典	URL
83	遊RUNパーク玉穂		御殿場市ホーム ページ	https://www.city.gotemba.lg.jp/appeal/appeal-7/12815.html
	秩父宮記念公園		御殿場市観光 協会ホーム ページ	https://gotemba.jp/information/1141/
	富士仏舎利塔平和 公園		御殿場市観光 協会ホーム ページ	https://gotemba.jp/information/1143/
	ゴルフ場		富士カント リ倶楽部 ホームページ	https://golfdigest-play.jp/course/17213209
	84			
84	神場山神社		御殿場市観光 協会ホーム ページ	https://gotemba.jp/information/1396/
	東山日岸邸		御殿場市観光 協会ホーム ページ	https://gotemba.jp/information/1146/
	新橋浅間神社		御殿場市観光 協会ホーム ページ	https://gotemba.jp/information/1387/
	二岡神社		御殿場市ホーム ページ	https://www.city.gotemba.lg.jp/appeal/appeal-7/12550.html
	秩父宮邸		御殿場市ホーム ページ	https://www.city.gotemba.lg.jp/museum/muse-cat-004/170.html
	中央青少年交流の家		国立中央青少 年交流の家 ホームページ	https://fujinosato.niye.go.jp/

ページ 番号	使用した画像の 項目	画像	出典	URL
85	とらや工房		とらや工房 ホームページ	https://www.toraya-kobo.jp/landscape/
	キリンディスティラリー		キリンホーム ページ	https://www.kirin.co.jp/experience/factory/gotemba/
	Maison KEI		Maison KEI ホームページ	https://www.maisonkei.jp/esprit_c/
	ベックファン		ブランジェ ベックファン ホームページ	http://www.becfin.co.jp/
	白虎		つけ麺白虎 ホームページ	https://www.tukemen-byakko.com/
	山崎精肉店		山崎精肉店 ホームページ	https://www.kinkaton.co.jp/

（仮称）富士山の恵み産業パーク 基本構想（案）

令和 7 年 3 月 発行



御殿場市企画戦略部未来プロジェクト課

〒412-8601 御殿場市萩原 4 8 3

Tel 0550-82-4349

Fax 0550-84-1661

E-mail mirai@city.gotemba.lg.jp